デジタルビデオカメラ
型名 GR-D200

取扱説明書

Mini DV NTSC

今日から楽しいビデオライフがスタート!

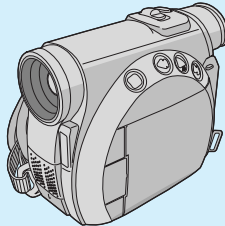
お楽しみガイド
（P9～P40）

このページで
使い方、楽しみ方の
基本がわかります!

撮影
（P69～P76）

電源スイッチを
「撮影」に合わせれば
全自動で撮影できます。

編集
（P143～P161）

ダビング、アフレコ編集、
インサート編集などで
より楽しい映像に!

再生
（P77～P98）

撮影してすぐに
液晶画面で再生!
TVにつないで
迫力ある画面を!

デジカメ
（P99～P126）

メモリーカードに静止画を
撮って、ハガキやメールで
画像を送ることができます。

ご使用の前に

この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
特に「安全上のご注意」（42～43、177～181ページ）は、必ずお読みいただき、安全にお使いください。
お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。
※製造年は、本体底面に表示されています。

LYT1173-001D

お楽しみガイド　目次

ここだけ読めば
すぐ使える！
すぐ楽しい！

取扱説明編　目次

ページ

はじめに

1 準備

2 撮影

3 再生

付属品については、6ページをご覧ください。

4 デジタルカメラ

5 手動

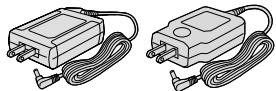
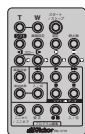
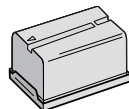
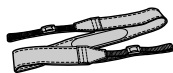
6 編集

7パソコン

8メニュー設定

9他

付属品について

本機の付属品をお確かめください。

ACアダプター
AP-V13またはAP-V11
(どちらか1つ)

ワイヤレスリモコン
RM-V717

バッテリー
BN-V416-H

ショルダーストラップ

単4乾電池(2本)
(リモコン動作確認用)

専用USBケーブル
Aタイプ-ミニBタイプ
長さ：約1.3m

CD-ROM

大：1個
中：1個
小：2個

フェライトコア
(取り付け方は ☞7ページ)

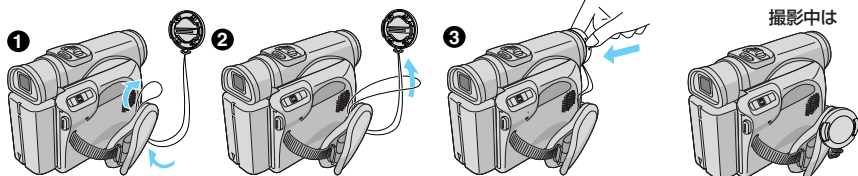
メモリーカード(8MB)
(ビデオカメラに入って出荷されています。☞63ページ)

レンズキャップ
(取り付け方は ☞ 下記をご覧ください。)

S／AV／編集コード
長さ：約1.5m
ビデオカメラとテレビ、
またはビデオデッキ接続用

編集延長コード

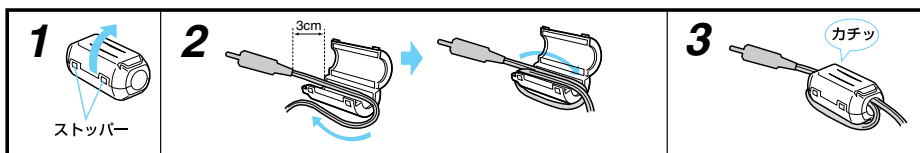
◆レンズキャップの取り付け方

レンズ保護のために付属のレンズキャップを取り付けてください。

コードやケーブルをお使いになるときは、フェライトコアを必ず取り付けてください。
ビデオカメラと外部機器を接続したときに発生するノイズを軽減することができます。

◆コード（ケーブル）別使用フェライトコア

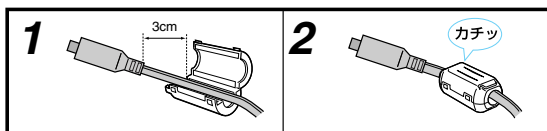
使用コード	使用フェライトコア
USBケーブル	（中）
S／AV／編集コード ACアダプター	（小）

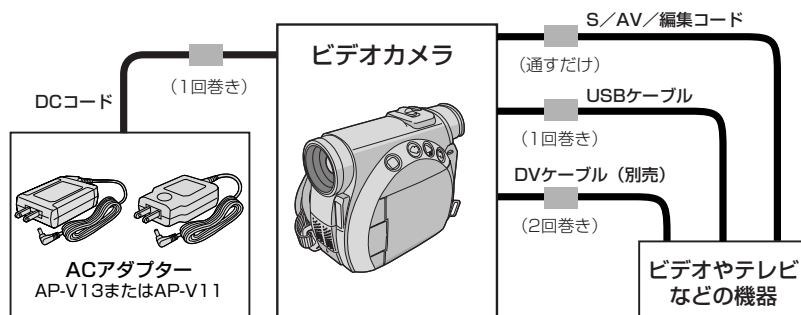
使用コード	使用フェライトコア
DVケーブル（別売）	（大）

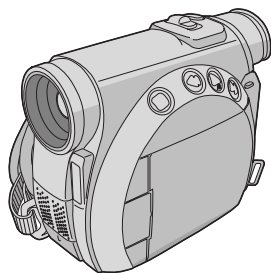
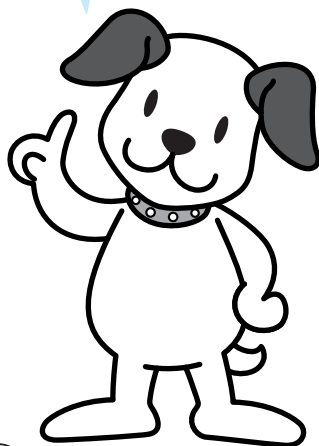
◆フェライトコアの取り付け方（イラストは1回巻きの説明です。 ）

1 両端のストッパーをはずして開く

2 フェライトコアにコードを指示された回数巻く（位置と回数は下図を参照）
●端子から約3cmの位置にフェライトコアを取り付けます。

3 コードをはさみ､カチッと音がするまで閉じる

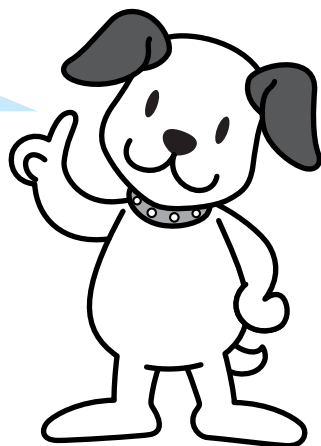
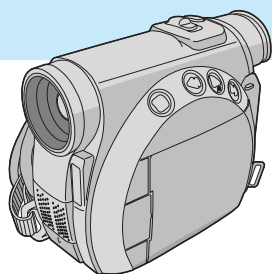
◆S／AV／編集コードにフェライトコアを取り付ける

「◆フェライトコアの取り付け方」の手順2で、コードを巻かずに通すだけにして、カチッと音がするまで閉じる

◆フェライトコアの取り付け位置

フェライトコアの付いている側の端子をビデオカメラ側に接続してください。

次のページから、「お楽しみガイド」です。このページを読めば基本的な使い方や、楽しみ方がすぐわかります。もっと詳しい内容が知りたいときは、41ページからの取扱説明編をお読みください。

「お楽しみガイド」のページには、「知ってお得するコラム」があります。ちょっとしたコツや得する情報を紹介していますので、ぜひお読みください。

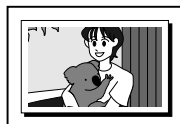
お楽しみガイド

このデジタルビデオカメラの楽しみかたを、僕がご紹介します。

便利な機能や、楽しい使いかたを覚えて、あなたのビデオライフをエンジョイしてくださいね。

この「お楽しみガイド」では、本機の使いかたの簡単操作ガイドや、ビデオライフの楽しみかたなどをご紹介しています。まずはじめにお読みください。

特長を知りたい

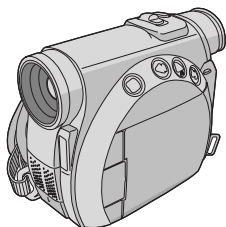
メモリーカードやテープに静止画（記念写真）が残せる

静止画（記念写真）が、テープやメモリーカードに記録できます。パソコンに接続して静止画を取り込めば、ハガキやメール、ホームページなどに活用して楽しめます。また、テープに撮影するときはフル、ネガ、ピンナップ、フレームモードの中からお好きなモードを選べます。☞74、100ページ

ピンナップモード

映画みたいに場面と場面をつないで演出できる

ビデオの撮り始めと撮り終わりの映像に変化をつけると、まるで映画のように演出できます。
フェーダーやワイプなど9種類の場面切替があります。
☞136ページ

フェードイン

このデジタルビデオカメラは、こんなに便利で楽しい機能がいっぱい！

フラッシュで暗い場所でもバッチリ撮れる

内蔵フラッシュが自動的に発光するため、暗い場所でも失敗することなく撮影できます。
☞128ページ

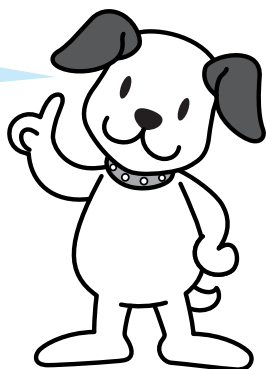
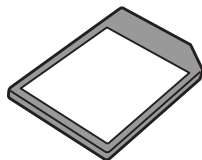
スポーツモードで運動会もOK

走っている人などを撮る場合に、シャッター速度を自動的に調節して、ブレなく鮮明に撮れます。
☞138ページ

楽しい機能がいっぱい！

メモリーカードに動画を記録できる（動画メモリー）

メモリーカードに記録した動画をパソコンに取り込めば、メールに添付して友人などへ手軽に送ることができます。また、ホームページなどに活用すれば、リアルな映像を伝えることができます。

☞104ページ

逆光を補正してきれいに撮れる

太陽などで背景が明るい場合に被写体が暗く写ります。逆光補正ボタンを押すだけで暗くならないように補正できます。

☞76ページ

DVナビで頭出しラクラク

頭出しをするためのデータをメモリーカードに記録しておくと、テープを再生するときに、頭出しができて便利です。

☞90ページ

セルフタイマーつきでみんなが楽しい

みんなで写りたい場合には、セルフタイマーが役立ちます。約15秒後に撮影が始まります。

☞134ページ

カセットテープにいますぐ撮影したい

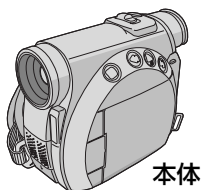
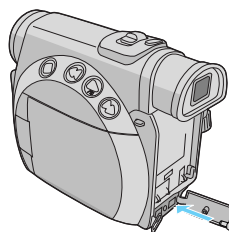
必要なもの

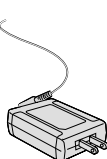
本体

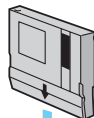
ACアダプター

Mini DV（ミニ）
カセットテープ（別売）

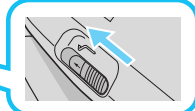
①電源をつなぐ

②テープを入れる

1 スライドさせたまま

2 カバーを開く
中のホルダーが自動的に開きます。

3 カセットテープを奥まで入れる

4 ここを押す を押す
ホルダーが自動的に閉じます。

5 カバーを閉じる

ご注意

カセットテープを逆向きに入れないでください。
故障の原因になります。

③電源を入れる

④撮る

1 撮影ボタンを押す

・撮影が始まります。（画面表示：録画）
・撮影中ランプが点灯します。

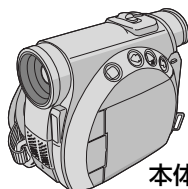
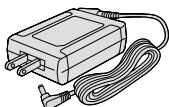
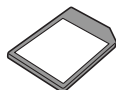
2 再度撮影ボタンを押すと、撮影一時停止になります

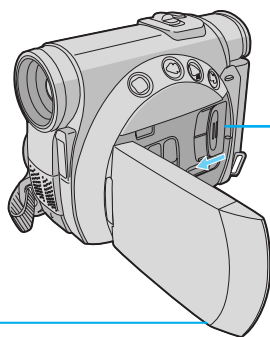
知って得するコラム

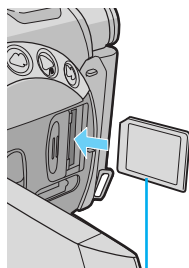
〈クイックパワーオフ〉

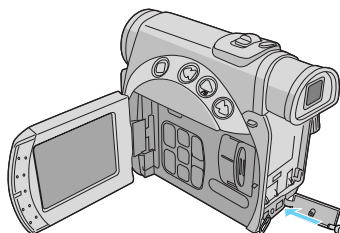
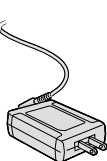
電源スイッチを「撮影」または「M」にしたまま、液晶画面を閉じると、自動的に電源オフになります。再び開くと電源オンになりますので、すぐに撮影したいときに便利です。

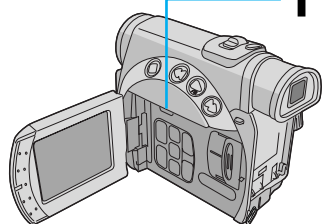
メモリーカードにいますぐ撮影したい

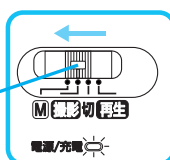
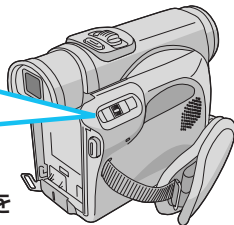
必要なもの

本体

ACアダプター

メモリーカード
（ご購入時は、ビデオカメラに入っています。）

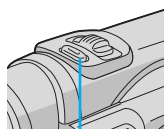
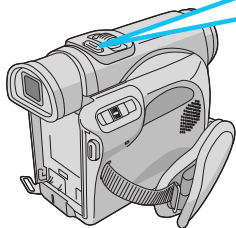
①メモリーカードを入れる

1 この部分に指をかけて液晶画面を開く

2 メモリーカードカバーを開く

3 メモリーカードを入れる

②電源をつなぐ

1 DC入力端子に差し込む

2 コンセントに差し込む

③電源を入れる

1 ビデオ/メモリースイッチを「メモリー」に合わせる

3 電源スイッチを「撮影」に合わせる
電源／充電ランプが点灯し、画面に被写体が映ります。

2 ロック解除ボタンを押しながら

④撮る

1 静止画ボタンを押す
静止画像がメモリーカードに記録されます。

付属のメモリーカードに記録できる静止画の枚数

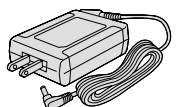
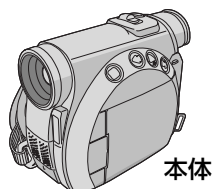
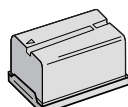
画像サイズ	画　質	SDメモリーカード 8MB(付属)
640×480	ファイン	約47枚
	スタンダード	約160枚
1024×768	ファイン	約21枚
	スタンダード	約65枚

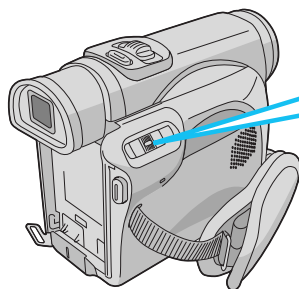
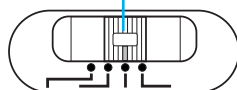
画像サイズ	画　質	SDメモリーカード 8MB(付属)
1280×960	ファイン	約13枚
	スタンダード	約45枚
1600×1200	ファイン	約8枚
	スタンダード	約28枚

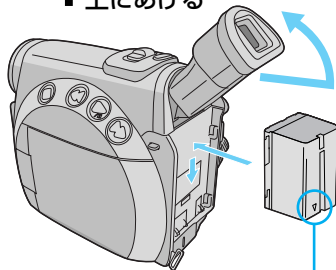
画像サイズ／画質を変更するには☞66ページ

バッテリーを充電してビデオカメラを使いたい

必要なもの

本体

ACアダプター

バッテリー

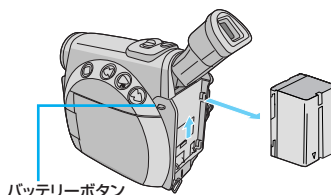
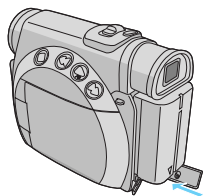
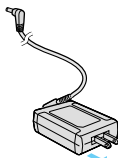
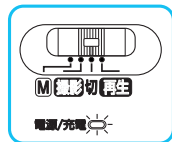
①電源スイッチを「切」にする

ロック解除ボタンを押しながら
電源スイッチを「切」に合わせる

②バッテリーを取り付ける

1 ファインダーを引き出して上にあげる

2 バッテリーを取り付ける

バッテリーの矢印を下向きにして
ビデオカメラに押しつけるようにしながら
下にスライドさせてください。

バッテリーの取りはずしかた

バッテリーボタンを押したまま、バッテリーを取りはずす

下から上へスライドさせて手前に引いて取りはずしてください。

③ACアダプターをつなぐ

1 DC入力端子に差し込む

2 コンセントに差し込む

- 充電ランプが点滅します。
- 点滅から消灯に変わったら充電完了です。ACアダプターをはずしてください。

充電時間の目安

付属のバッテリー（BN-V416-H）で約3時間

撮影時間の目安だよ！

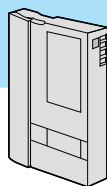
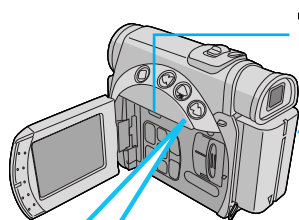
連続撮影時間の目安

バッテリー	ファインダー使用時	液晶画面使用時
BN-V416-H（付属）	約2時間40分	約2時間10分

実撮影時間の目安

バッテリー	ファインダー使用時	液晶画面使用時
BN-V416-H（付属）	約1時間20分	約1時間5分

長時間の撮影には、別売のバッテリーをおすすめします。☞38ページ

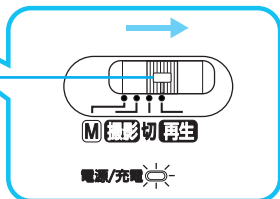
カセットテープに撮った映像をすぐ見たい

カセットテープを再生する

1 ビデオ／メモリースイッチを「ビデオ」に合わせる

2 ロック解除ボタンを押しながら電源スイッチを「再生」に合わせる

ロック解除ボタン

M 撮影 切 再生

電源/充電

逆光補正　フォーカス　明るさ　ナイトアイ

停止ボタン

3 巻戻しボタン（巻戻し）を押してテープを巻戻す

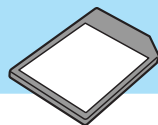
4 再生/一時停止ボタン（再生）を押す

再生をやめたいときは、停止ボタン（停止）を押します。

知って得するコラム　ズーム再生

付属のリモコンを使うと、ビデオカメラでテープやメモリーカードを再生しているときに、画面をズームすることができます。

☞82ページ

メモリーカードに撮った静止画をすぐ見たい

メモリーカードを再生する

1 ビデオ／メモリースイッチを「メモリー」に合わせる

2 ロック解除ボタンを押しながら電源スイッチを「再生」に合わせる

静止画が表示されます。

3 巻戻しボタン(巻戻し)を押して前の静止画を見る

4 早送りボタン（ 早送り ）を押して次の静止画を見る

編集して楽しみたい

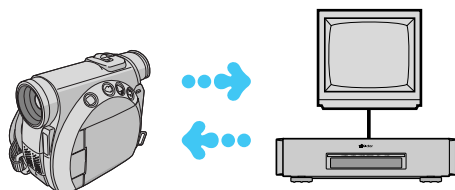
ダビングして両親や友人に見せよう！

ビデオデッキと本機を使ってダビングすることができます。また、ＤＶ端子付きのビデオ機器でデジタルダビングも可能です。

操作方法

ダビング

①電源を入れない状態で、本機のS／AV端子とビデオデッキの映像／音声入力端子をS／AV／編集コードで接続する

②本機を再生し、ダビングしたいところで、ビデオデッキの録画ボタンを押す

☞144ページ

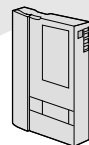
デジタルダビング

①電源を入れない状態で、本機のＤＶ端子とＤＶ端子付ビデオ機器をDVケーブルで接続する

②本機を再生し、ダビングしたいところで、ＤＶ端子付ビデオ機器の録画ボタンを押す

☞146ページ

知って得するコラム　テープの保存

Mini　DVカセットテープにはデジタル信号で記録されるため、画質や音声が劣化しにくいです。大切な記録を保存しておくには、デジタルダビングがオススメです。場所もとらず、コンパクトに収納できます。

Mini DV
カセットテープ（別売）

撮影したテープにナレーションなどを入れよう！（アフレコ編集）

録画モードＳＰで、音声モードを12bitで撮影しておくと、後でオリジナルテープにナレーションなどを追加することができます。

操作方法

①テープを再生し、アフレコ編集したい場面でビデオカメラを一時停止する
②リモコンのアフレコボタン（⊖）を押しながら、一時停止ボタン（❚❚）を押す
③再生ボタン（▶）を押し、ビデオカメラのマイクに向かってナレーションなどを吹き込む
④停止ボタン（■）を押して、アフレコ編集を終了する

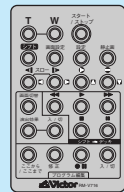
☞ 158ページ

タイトルなどを入れて編集しよう！（インサート編集）

録画モードＳＰで撮影済みのテープに、後でタイトルなどの別の場面を挿入することができます。

操作方法

①テープを再生し、インサート編集を終える場面でビデオカメラを一時停止する
・タイムコードを確認してください。
②インサート編集を開始する場面までビデオカメラを巻き戻し、一時停止ボタン（❚❚）を押す
③リモコンのインサートボタン（▶）を押しながら、一時停止ボタンを押す
④インサート編集するタイトルなどをカメラに映るようにしてリモコンの「スタート／ストップ」ボタンを押す
⑤リモコンの「スタート／ストップ」ボタンを押して、手順①で確認したタイムコードの位置でインサート編集を停止する
⑥リモコンの停止ボタン（■）を押して、インサート編集を終了する

☞ 160ページ

撮影の基本やコツが知りたい

撮影の基本

①わきをしめる

わきをしめて、左手もビデオカメラにそえる。

②ビデオカメラを安定させる

壁や柱によりかかり、安定させる。

③両手でカメラを持つ

低い姿勢で撮影するときも、わきをしめて、両手でビデオカメラを持つ。液晶画面を上に向けたり、ファインダーを上に向けて撮影すれば地面に咲いている花なども撮影できます。子供を撮るときは低い姿勢で子供の目線で撮りましょう。

④高い位置からの撮影

高い位置から撮影する場合は、液晶画面を下に向けて、撮影する。

⑤ビデオカメラを動かさない

安定した映像で撮影するためには、ビデオカメラを固定して撮ります。

左右に動かすとき（パンニング）や上下に動かすとき（チルディング）は、ゆっくり動かします。撮り始めと撮り終わりは、ピタッと止めます。

対面撮影

⑥いろいろなアングルで撮影する

正面からだけでなくいろいろなアングルで撮影すると、同じ被写体でも印象の違う映像を撮影できます。また、液晶画面を180°回転させて画面を被写体に見せながら撮影すると、より生き生きとした表情を撮影できます。

・対面撮影中は、ファインダーを引き出せばファインダーにも映像が表示されます。
・対面撮影中の液晶画面の映像は鏡に映ったように左右が反転しますが、撮影したビデオは左右が反転しません。
・対面撮影中のファインダーや液晶画面上の表示は簡略化されます。テープ走行表示と、ビデオカメラにトラブルが生じたときの警告表示のみ表示します。

⑦三脚を使う

三脚（別売）に取り付けると、安定した撮影ができます。

撮影のコツ 1 運動会編

1　入場門

始まる前に、校舎やタレ幕、はしゃいでいる子供達の様子を撮ります。

2　入場行進

入場門の横で低い位置に構えて待ちます。人物の動きに合わせてゆっくり撮影。

3　玉入れ

空を一緒に撮ると、子供達が暗く写るので、高い位置からねらいます。

4　徒競走

ゴールに近い位置からズームインし、ズームアウトしながらゴールを。

5　お昼の休憩

お弁当を食べている様子も撮りましょう。三脚を使うと全員入ります。

6　綱引き

まず全員をズームアウトして撮り、お子様の顔や勝利の瞬間をアップで。

7　リレー

バトンタッチの少し手前で構え、走っている様子を追いかけます。

8　表彰式

喜びの表情、くやしい表情など、子供達の表情や全体を撮ります。

知って得するコラム　運動会撮影のポイント

①プログラムは事前にチェックして、演技の順番や場所、スタートの位置などを確認しておきます。

②遠くから撮影する場合に、オートでピントが合わないときは、手動で撮影する方法もあります。☞130ページ

撮影のコツ 2 海外旅行編

1　タイトルを作る

これから撮影するビデオのタイトルをつくり、5秒程度撮影します。

2　旅行前の様子

旅行用ビデオのシナリオを考えます。旅行のポイントを押さえておきます。

3　出国／入国

出国・入国の際には、ビデオカメラの日時を現地時間に設定しましょう。

4　観光

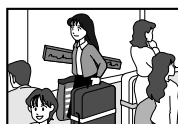
観光スポットでは記念写真を撮影。ズームインして、迫力をもたせます。

5　ディナーも記念に

旅行先での豪華な食事。接写してもきれいに撮影できます。

6　買い物風景

ストリートショップでおみやげを購入。撮影禁止場所に注意しましょう。

7　帰国

帰国した様子を最後とし、シナリオを締めくくりましょう。

「海外でお使いになるときは」（186ページ）もお読みください。

知って得するコラム　運動会撮影のポイント

①楽しいビデオアルバムを作るには、撮影前にシナリオを考えておきます。

②ズームイン、ズームアウトをうまく使ってメリハリをつけましょう。

③人物だけではなく、周囲の様子も撮影し、雰囲気を残しましょう。

撮影のコツ ③ 結婚式編

1　会場

フェードインなどを利用して会場の入口や立て札を撮影しましょう。

2　入場シーン

入場の少し前から撮影をスタート。入場の瞬間をしっかり狙います。

3　来賓の様子

新郎・新婦だけではなく、来賓の喜びの表情なども撮影しておきます。

4　ケーキカット

ウエディングケーキに入刀の際は、手元のアップも忘れずに。

5　余興

余興はズームアウトした全体イメージと、表情のアップを撮ります。

6　キャンドルサービス

ローソクのアップ、2人の表情、手元のアップ、来賓の顔などを撮ります。

7　花束贈呈

花束のアップ、受け取っている様子、父親の涙などをズームインして。

8　送賓（お見送り）

お送りしている2人の表情からフェードアウトしてエンド。

知って得するコラム　結婚式撮影のポイント

①式次第を事前に確認して、式の流れを把握しておきます。

②出来れば会場を下見して、広さや照明、明るさ、電源などをチェックしておくと安心です。

③長時間の撮影になるので、ACアダプターや三脚などを用意しましょう。

海外で使いたい

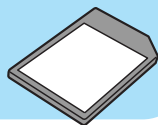
現地のテレビでも再生できる

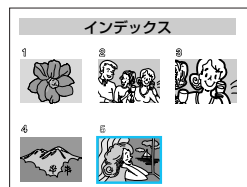
海外旅行に欠かせないビデオカメラ。撮影したら、すぐ見たいものです。ホテルに帰ってビデオカメラの液晶画面で再生したり、現地のテレビに接続して見ることもできます（NTSC方式の映像、音声入力端子付きテレビなら可能☞186ページ）。

また、付属のACアダプターは、海外でも使用でき、バッテリーを充電したり、直接電源を確保できます。海外旅行の際には、訪問国のコンセントに合った変換プラグをご用意ください。

（詳細は、旅行代理店またはビクターサービス窓口☞188ページにご相談ください）。

コンセントの形状					
使用する変換プラグ	ACパワーアダプターのプラグを直接、差し込みます。 主に北米、南米など	主にオーストラリア	主にヨーロッパ		

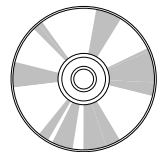
デジタルカメラで楽しみたい

メモリーカードに静止画や動画を記録して、メールやホームページで遊べる！

デジタルカメラ機能で、メモリーカードに静止画や動画を記録できます。再生するときには、インデックス画面ですぐに見たい静止画や動画を探せます（☞108ページ）。

パソコンに映像を取り込んで楽しみたい

USBケーブルで簡単に動画や静止画を取り込める！

　付属のソフトウェアをインストールすると、メモリーカードに記録した静止画はもちろん、テープに撮影した動画もパソコンに取り込めます。パソコンに取り込んだ画像は、メールに添付したり、年賀状やホームページなどでも活用して楽しめます。

　また、パソコンに取り込んだ動画を編集してVideo　CDに書き込むと（650MBのCDで１枚に最大64分の動画を記録）、メールでは送りにくい長時間の作品も気軽に送ることができます。

（詳しくは、別冊のソフトウェア取扱説明書をご覧ください）。

インターネットＴＶ電話も可能に！

　USBケーブルを接続すれば、パソコンへリアルタイムに動画を転送することができます。つまり、インターネットＴＶ電話も可能というわけです。

（詳しくは、別冊のソフトウェア取扱説明書をご覧ください）。

便利で楽しい機能が知りたい

照明をつけなくても撮影できる！

照明をつけたくない暗い場所でも、被写体を明るく撮影することができます。

操作方法

①液晶画面を開く
②ロック解除ボタンを押しながら、電源スイッチを「M」に合わせる
③「ナイトアイ」ボタンを押す ☞141ページ

こんなとき

暗い場所で眠っている赤ちゃんやペットをそっと撮影したいときに最適です。ライトがつかないから、眠りの邪魔をしません。

逆光でも簡単に補正できる！

太陽などで背景が明るい場合に被写体が暗く写ります。逆光補正ボタンを押すだけで暗くならないように補正できます。

操作方法

①液晶画面を開く
②ロック解除ボタンを押しながら、電源スイッチを「撮影」または「M」に合わせる
③「逆光補正」ボタンを押す

☞76ページ

こんなとき

運動会など被写体が移動して、逆光でも撮影したいときに便利です。

ビデオで記念写真（静止画）が撮れる！

ビデオ映像の中に静止画を４つのモード（フル、ネガ、ピンナップ、フレーム）で撮影できます。

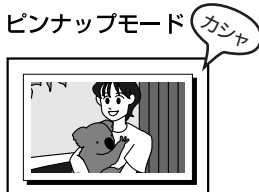
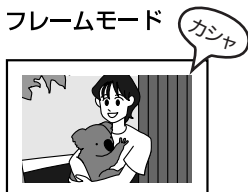
操作方法

①液晶画面を開く
②ビデオ／メモリースイッチを「ビデオ」に合わせる
③ロック解除ボタンを押しながら、電源スイッチを「M」または「撮影」に合わせる
④「静止画」ボタンを押す

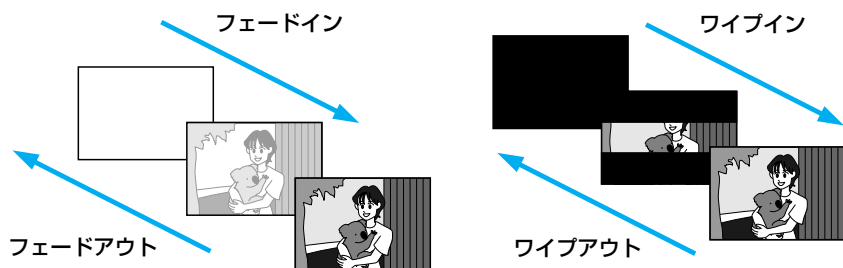
■モードの選択は、メニュー画面で行います。　☞74〜75ページ

フルモード

ネガモード

ピンナップモード

フレームモード

遊園地での素敵な笑顔や、旅行先でのスナップを動画の中に入れておくと、再生したときに楽しめます。
もちろん、メモリーカードにも静止画を撮影することができます。
ただし、フルモードでのみの撮影となります。

映画みたいな演出をしたい

フェードイン、フェードアウトで場面をつなごう！

場面と場面のつなぎ目に変化を入れることによって、映画やドラマのような映像を楽しむことができます。

操作方法

①ロック解除ボタンを押しながら、電源スイッチを「M」に合わせる
②「メニュー」ボタンを押して、メニューを表示し、「決定」ボタンを押す
③「＋」・「－」ボタンを押して使用する場面切替を選び、「決定」ボタンを押す
④「決定」ボタンを押して撮影画面に戻る

☞ 136〜137ページ

知って得するコラム　場面切替のコツ

結婚式や紹介ビデオなどの、はじまりやおわりには、フェードを、日付や場所が変更になったところでワイプを使うと素敵な演出ができます。

アイコン	機能名称	効　果
—	切	「場面切替」を使用しないときに選択します。
白	フェーダー：白	白い画面でフェードイン、フェードアウトします。
黒	フェーダー：黒	黒い画面でフェードイン、フェードアウトします。
白黒	フェーダー：白黒	白黒画面からカラー画面にフェードインし、カラー画面から白黒画面にフェードアウトします。
	ワイプ：コーナー	黒い画面の右上から左下に向かって映像が徐々にワイプインし、左下から右上に向かってワイプアウトします。
	ワイプ：ウィンドウ	黒い画面の中央から外に向かって映像が徐々にワイプインし、画面の外から中央に向かってワイプアウトします。
	ワイプ：スライド	黒い画面の右から左に向かって映像が徐々にワイプインし、左から右に向かってワイプアウトします。
	ワイプ：ドア	黒い画面の中央から左右にドアを開けるように映像が徐々にワイプインし、閉めるようにワイプアウトします。
	ワイプ：スクロール	黒い画面の下から上に向かって映像が徐々にワイプインし、上から下に向かってワイプアウトします。
	ワイプ：シャッター	黒い画面の中央から上下に向かって映像が徐々にワイプインし、上下から中央に向かってワイプアウトします。

デモンストレーションを見てみよう！

本機には、場面切替やプログラムAEなどの機能を確認するための実演（デモンストレーション）モードがあります。ビデオカメラをお使いになる前に、是非一度ご覧になってください。
お買い上げ時は、「デモモード」の設定が「入」になっていますので、カセットテープを入れずに電源ダイヤルを「撮影」、または「M」に合わせてから約3分間なんの操作もしないと自動的にデモモードが始まります。
デモモードを見終わったら、「デモモード」の設定を「切」にしてください。

☞172ページ

映像に変化をつけて演出しよう！

被写体をセピア色や白黒で撮影したり、コマ落としの効果をつけて撮影することなどができます。

操作方法

①ロック解除ボタンを押しながら、電源スイッチを「M」に合わせる
②「メニュー」ボタンを押してメニューを表示する
③「＋」・「－」ボタンを押して「　」を選び、「決定」ボタンを押す
④「＋」・「－」ボタンを押して使用するプログラムAEを選び、「決定」ボタンを押す
⑤「決定」ボタンを押して撮影画面に戻る

☞138〜140ページ

いろいろな演出効果（プログラムAE）の中からお好きなメニューを選んで使ってください。

アイコン	機能名称	効　果
—	切	「プログラムAE」を使用しないときに選択します。
1/60	シャッター1/60	シャッタースピードを1/60に固定します。テレビ画面などを撮影するときに出る黒い帯は細くなります。
1/100	シャッター1/100	シャッタースピードを1/100に固定します。蛍光灯や水銀灯の光で撮影するときに出るちらつきは少なくなります。(50Hz地域のみ)
	スポーツ	被写体の明るさに合わせてシャッタースピードを1/250から1/4000まで自動的に調節して撮影します。スポーツをしている人物やモータースポーツなど、動きの速い被写体を1コマ1コマ鮮明に撮ることができます。
	スノー	晴れた日の雪原など周囲が明るい場所で撮影するときに、被写体を明るく補正することができます。効果としては「逆光補正」（☞76ページ）と同じですが、こちらの方がやや弱い効果になるので「逆光補正」では効果が強すぎる場合に便利です。
	スポットライト	スポットライトなどがあたって被写体（人物）が明るく写りすぎるときに、被写体を暗く補正することができます。
	夜景	夜景などを撮るとき、映像がザラザラせず、自然な感じで記録することができます。「白バランス」は ☀ になりますが、お好みの設定に変えることができます（☞132ページ）。ピントは、10m〜無限遠の間では自動的に合います。10m以内の間では手動で合わせてください。

ズームしたり、演出をしながら再生しよう！

付属のリモコンを使うと、再生しているときに、画面をズームしたり、映像に演出効果を加えることができます。

操作方法

ズーム

①テープまたはメモリーカード再生中にリモコンの「T」ボタンを押す

②拡大した状態で画面を移動するには、シフトボタンを押しながら上下左右（▲▼◀▶）ボタンを押す

演出効果（テープ再生時のみ）

①テープ再生中にリモコンの演出効果ボタンを押す

②「演出効果」ボタンを押して使用する演出効果を選ぶ　☞82ページ

アイコン	機能名称	効　果
	セピア	古い写真のようなセピア色で映像を記録します。「ワイド効果」の「ワイド」や「シネマ」（☞170ページ）と合わせて使うと、古い白黒映画のような雰囲気をお楽しみいただけます。
B/W	白黒	映像を白黒で記録します。「ワイド効果」の「ワイド」や「シネマ」と合わせて使うと、白黒映画のような雰囲気をお楽しみいただけます。
	映画効果	速いコマ落とし効果をつけて映像を記録します。（ビデオモードのみ）
	ストロボ	コマ落としの効果で、連続写真のように記録します。（ビデオモードのみ）
	ミラー	画面の左半分に通常の被写体が撮影され、右半分には左右反転した被写体が撮影されます。（ビデオモードのみ） 撮影時のビデオカメラの傾きに対応して、下図のように画像が傾きます。画像を平行にするには液晶画面、またはファインダーを確認しながら調整してください。 ビデオカメラが傾いていないときの画像 ビデオカメラが右に傾いているときの画像

テープ再生時の演出効果は、セピア、白黒、映画効果、ストロボが使用できます。

困ったときはどうしたらいいの？

操作できない、どうしてかな？と思ったら

このビデオカメラはマイコンを使用しています。
雑音や妨害ノイズにより正常に動作しないことがあります。そんなときはビデオカメラから電源（バッテリー、ACアダプターなど）をはずし、あらためてご使用ください。それでも不具合があり、以下の処置をしても改善されない場合は、お買い上げの販売店、またはビクターサービス窓口にご相談ください。（☞188～189ページ）

電　源

こんなとき	ご確認ください	参照ページ
電源が入らない	● 電源は正しく接続されていますか？ ● バッテリーは充電されていますか？	12、60 14、60

撮影中

こんなとき	ご確認ください	参照ページ
デモンストレーションが表示される	●「デモモード」が「入」になっていませんか？「切」にしてください。	172
撮影できない	● テープの誤消去防止用つまみが「SAVE」側になっていませんか？ ●「テープ終り」になってませんか？ ● 電源スイッチが 再生 になっていませんか？ ● カセットカバーが開いていませんか？	183 53 70 62
映像が出ない	● 電源をもう一度入れ直してみてください 。	
メニューの機能が使えない	● 電源スイッチを M にしてください。	–
自動でピントが合わない	● 電源スイッチを 撮影 にしてください。 M のまま撮影するときは「フォーカス」ボタンを押してマニュアルフォーカスを解除してください。 ● 暗いところや明暗差のないものを撮影していませんか？ ● レンズにゴミや水滴などが付いていませんか？	130 130 185
撮影中、画面に日時が出ない	●「日時表示」を「切」にしていませんか？	173

こんなとき	ご確認ください	参照ページ
撮影したビデオの縦に明るい線が出る	●強い光の当たる被写体を撮影しませんでしたか？ 被写体に強い光が当たると、コントラストの違いで線が出ることがあります。故障ではありません。	–
太陽光が映ると、画面が一瞬赤くなったり、黒くなったりする	●故障ではありません。	–
記念写真で撮影した画像の色がおかしい	●照明の色や被写体に白い部分がない場合または被写体の背後にいろいろな光源がある場合に色がおかしくなるときがあります。	–
撮影した映像が明るすぎたり、白つぶれする	●逆行補正がはたらいていませんか？ ●明るさ補正がマニュアルに設定されていませんか？	76 131
デジタルズームできない	●「ズーム」が「10倍」に設定されているときは10倍ズームまでしかできません。 ●ビデオ／メモリースイッチが「メモリー」になっているときは、10倍ズームまでしか使えません。	168 –
手振れ補正が働かない	●手振れ補正が「切」になっていませんか？ 「入」にしてください。	170
「プログラムAE」や「場面切替」機能が使えない	●電源スイッチを Ⓜ にしてください。	–
「白バランス」が設定できない	●「プログラムAE」の「セピア」や「白黒」を選択していませんか？	138
液晶画面の映像が暗い、または白くなる	●液晶画面の角度や明るさを調節してください。 ●寒い場所で再生していませんか？　寒い場所では、多少液晶画面が暗く見えます。故障ではありません。 ●液晶画面の寿命が短くなっている可能性があります。お買い上げの販売店、またはお近くのビクターサービス窓口にご相談ください。	72 – –
液晶画面の裏側が熱くなる	●液晶画面を長時間使用していませんか？　長時間使用すると、液晶画面裏の蛍光管が温かくなります。液晶画面を切るか電源を切ってしばらく放置しておくと元に戻ります。	–
液晶画面に表示ムラが出る	●液晶画面やそのまわりを押しませんでしたか？　液晶画面を圧迫すると映像ムラが生じます。手を離してしばらく放置しておくと元に戻ります。	–

撮影中

こんなとき	ご確認ください	参照ページ
画面のアイコン表示が点滅する、または表示されない	●「場面切替」「プログラムAE」「手ぶれ補正」機能など、同時に使用できない機能を選択しているときは各機能のアイコンが点滅、または表示されません。	136 138 170

再生中

こんなとき	ご確認ください	参照ページ
画面の映像が乱れる	●テープの無記録部分の再生、早送り／巻戻し再生、スロー再生および静止画再生中は画面の映像が乱れることがあります。故障ではありません。	79
テープの再生、巻戻し早送りができない	● 電源スイッチが 撮影 M になっていませんか？	–
テープは回っているが再生されない	● カセットカバーが開いていませんか？ ● テレビのチャンネルがビデオ用になっていますか？	–
映像にモザイク状のノイズが出る	● 別売のデジタルビデオヘッドクリーニングカセットでヘッドを掃除してください。	39
映像が映らず青い画面になる	● 別売のデジタルビデオヘッドクリーニングカセットでヘッドを掃除してください。	39
メモリーカードの再生ができない	● ビデオ/メモリースイッチが「ビデオ」になっていませんか？	102

その他

こんなとき	ご確認ください	参照ページ
「露が付きました」と表示される	● メッセージが消えてから使用してください。	40
「ヘッドが汚れています」と表示される	● 別売のデジタルビデオヘッドクリーニングカセットでヘッドを掃除してください。	39
画面に「E01」または「E02」、「E06」と表示される	● なんらかのエラーが発生しています。この間ビデオカメラは操作できません。バッテリーと電源を取り外してつけなおし、表示が消えてからお使いください。2、3度くり返しても表示が消えないときはお買い上げの販売店、またはビクターサービス窓口（☞188ページ）にご相談ください。また、テープに傷が付きますのでテープは取り出さないでください。	–
画面に「E03」または「E04」と表示される	● なんらかのエラーが発生しています。この間ビデオカメラは操作できません。テープを取り出して入れなおし、表示が消えてからお使いください。2、3度くり返しても表示が消えないときはお買い上げの販売店、またはビクターサービス窓口（☞188ページ）にご相談ください。	–
液晶画面に映像が表示されない	● 液晶画面の明るさを調節してみてください。	72
ファインダーに映像が表示されない	● 液晶画面を閉じてみてください。 ●「優先設定」を「ファインダー」にしてください。	– 172
テープが入らない	● テープの向きが間違っていませんか？ ● バッテリーの容量が少なくなっていませんか？	62 53
プリンターで印刷したら画面の下に黒い線が出る	● 故障ではありません。 手振れ補正「入」で撮影すると、黒い線は出なくなります。	–
液晶画面とファインダーに黒、赤、青、緑の点が出る	● 故障ではありません。	182
DVケーブルで接続しているとき、操作ができない	● 電源が入った状態でDVケーブルを抜き差ししませんでしたか？ 一度電源を切り、接続をやり直してから操作してください。	–
メモリーカードが入らない	● メモリーカードの向きを確かめてください。	63
メモリーカードが出てこない	● メモリーカードを2〜3回押してみてください。	63
メモリーカードの画像を削除できない	● プロテクトを解除してください。	114

困ったときはどうしたらいいの？

長時間撮影できるバッテリーはありますか？

長時間の撮影を可能にするベルトホルダータイプのバッテリーキットVU-V840KITとVU-V856KITの２種類があります（別売）。バッテリーキットには、バッテリー、充電器、バッテリーポーチが付属されています。バッテリーをビデオカメラに直接取り付けることはできません。

VU-V840KIT

VU-V856KIT

連続撮影時間の目安

バッテリーキット	ファインダー使用時	液晶画面使用時
VU-V840KIT	約6時間40分	約5時間25分
VU-V856KIT	約9時間30分	約7時間50分

実撮影時間の目安

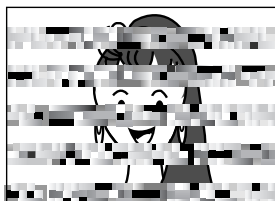
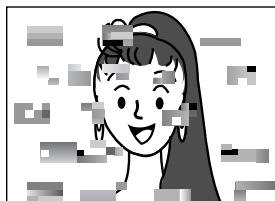
バッテリーキット	ファインダー使用時	液晶画面使用時
VU-V840KIT	約3時間20分	約2時間40分
VU-V856KIT	約4時間45分	約3時間55分

連続撮影時間はズームを使ったり、撮影一時停止を繰り返すなどで短くなります。
実撮影時間は、撮影、撮影一時停止、電源の入/切、ズームなどを繰り返したときの撮影時間です。実際はこれよりも短くなることがあります。

バッテリーキットをお買い求めの際は、専用のDCコードVC-VBN856も合わせてお買い求めください。

映像にノイズが出たり、音声が途切れたら

ビデオヘッドが汚れると、撮影時や再生時に以下の症状が出ます。汚れがひどくなると、正常な録画や再生ができなくなりますので、ヘッドをクリーニングしてください。大切な撮影をするときは、クリーニングカセットを持ち歩かれることをお勧めします。

- 再生すると映像がモザイク画（ブロック状のノイズ）が出たり、音声が途切れる。
- 再生すると映像に黒色やモザイク画の横しまが出る。
- 再生しても音や映像が出ない（青い画面になる）。
- 撮影や再生をすると「⊗ ヘッドが汚れています　クリーニングカセットを試して下さい」と表示される。
- 再生しても音や映像が出ない（青い画面になる）

クリーニングが終わったら、撮影・再生して上記の症状が消えていることを確認してください。

ミニDVヘッドクリーナーM-DVSCLを長時間繰り返し再生すると、ヘッド摩耗の原因になりますのでご注意ください。（ビデオカメラでM-DVSCLを再生すると、20秒後に自動的に再生を停止します）

詳しくはM-DVSCLの取扱説明をご覧ください。

ミニDV ヘッドクリーナー
M-DVSCL（別売）

クリーニングを数回しても正常に再生ができないときは

撮影時にヘッドが汚れていたために正常に記録できなかったと考えられます。撮影時、液晶画面やファインダーには記録前の映像が表示されるため、記録時の映像ノイズや音声の途切れは確認できません。新たに撮影してみて、正常に再生ができれば、ヘッドはきれいになっています。大切な撮影をするときは、必ず試し撮りをお勧めします。

定期点検を行ってください

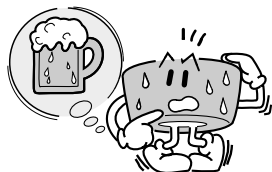
1カ月に1度程度は、電源を入れてお使いになることをお勧めします。また、ビデオカメラの性能を維持し、いつも美しい画面をご覧いただくために、およそ使用時間1000時間を目安に定期点検に出されることをお勧めします。定期点検は、お買い上げの販売店、またはビクターサービス窓口（☞ 188ページ）にご相談ください。

困ったときは どうしたらいいの？

「露が付きました」と表示されたら

よく冷えたビールをコップに注ぐと、コップのまわりに徐々に水滴が付着します。この状態を「つゆつき」と言います。ビデオカメラでつゆつきが発生すると、心臓部のヘッドドラムのまわりに水滴が付着し、テープが貼り付いてしまいます。

■ つゆつきはこんなときに起こります

- ビデオカメラを寒いところから急に暖かいところに移動したとき
- 湿気の多い場所でビデオカメラを使用しているとき
- 暖房した直後の部屋や、エアコンなどの冷風がビデオカメラに直接当たるとき

■ つゆつきが発生すると

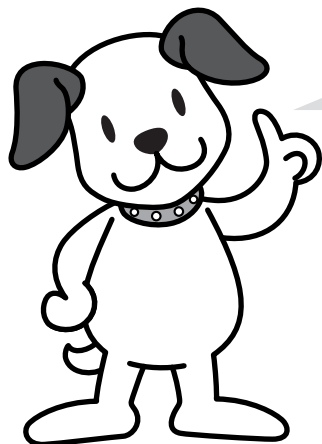
- 液晶画面に「露が付きました」と「しばらくお待ち下さい」が交互に表示され、ビデオカメラが停止します。カセットの出し入れはしないでください。
- 通常、つゆつきは徐々に発生するため、10〜15分間はメッセージが表示されないことがあります。メッセージが表示される前でもレンズや保護ガラスに水滴が付いているときはヘッドドラムにも水滴が付着している可能性がありますので、カセットカバーを開けないでください。
- つゆつきはレンズにも発生します。レンズに水滴が付着しているときれいに撮影できませんので、つゆつきがなくなってから撮影してください。

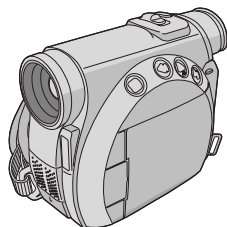
■ つゆつき後再び使い始めるときは

- メッセージが消えてからご使用ください。メッセージが消えないときは点検が必要です。お買い上げの販売店にご相談ください。
- 寒冷地帯では露が凍結し、霜になることがあります。寒冷地帯ではメッセージが消えるまでに、さらに時間がかかることがあります。

■ つゆつきのトラブルを防ぐには

- 寒いところから暖かいところ、冷風の効いたところから温度、湿度の高い場所に移動したときは、ビデオカメラとテープをしばらく放置して、使用する環境になじませてからご使用ください。
- 例えばスキー場で撮影後、暖房の効いた部屋に入るときは、ビニール袋などにビデオカメラを入れて空気を抜き、密封してください。しばらくその状態で室温になじませてからご使用ください。

取扱説明編

ここからは「取扱説明編」です。手順は大きな文字でわかりやすく書かれています。

手順にしたがって操作すれば、簡単にビデオライフが楽しめます。

操作はココ！を見れば、どこを操作すればいいかがわかります。また、ご注意には、大切なことが書かれていますので、お読みください。

安全に使っていただくために

安全のために必ずお守りください

⚠危険	⚠警告	⚠注意
この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容を示しています。	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または傷害を負う可能性が想定される内容を示しています。	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的傷害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵記号について

この取扱説明書と製品には、いろいろな絵記号が記載されています。これらは、製品を安全に正しくお使いいただき、人への危害や財産への損害を未然に防止するための表示です。絵記号の意味をよく理解して本文をお読みください。

●注意（危険、警告を含む）が必要なことを示す記号

一般的注意

手がはさまれる

高温に注意

●してはいけない行為（禁止行為）を示す記号

禁止

水場での使用禁止

接触禁止

分解禁止

ぬれ手禁止

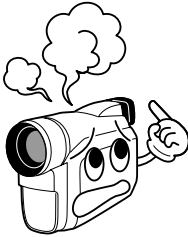
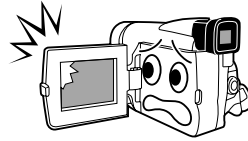
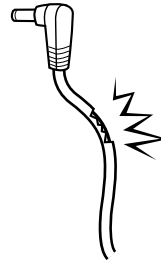
水ぬれ禁止

●必ずしてほしい行為（強制、指示行為）を示す記号

一般的指示

プラグをコンセントから抜く

⚠警告

こんなときはバッテリーをはずすか、電源プラグを抜いてください。

煙が出たり、へんな臭いがするとき	落としたり、壊れたとき
内部に水や異物が入ったとき	ACアダプターのコードが傷んだとき

・販売店に修理を依頼してください。
・そのまま使用すると火災や感電の原因となります。
・お客様ご自身による修理は危険です。絶対におやめください。

177～181ページの「安全上のご注意」もお読みください。

ご使用の前に

大切な撮影の前に

- 本機はデジタルビデオカメラとデジタルカメラの機能を搭載しています。
  （ Mini DV ）マークの付いたデジタルビデオテープをご使用ください。
  （MultiMediaCard）マーク、または（SD™）マークのついたメモリーカード（マルチメディアカードまたはSDメモリーカード）をご使用ください。
- 大切な録画の場合は、必ず事前に試し撮りをし、正常に録画・録音されていることを確かめてください。
- 万一、デジタルビデオカメラ、テープ等の不具合により、正常に録画、録音や再生できなかった場合、内容の補償についてはご容赦ください。
- 本機のマイクやカメラセンサー部分に手や指をかけないようにしてください。雑音が入ったり正しい明るさで撮影できなかったりすることがあります。

著作権について

あなたがビデオカメラで録画、録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。（なお、鑑賞や興行、展示物などのうちには、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場所がありますのでご注意ください。）

注釈のみかた

ご注意

ACアダプターが温かくなることがあります。

ご注意マーク：
操作上の注意などが書かれています。

静止画再生を約３分以上続けると自動的に停止します。

文字のみ：
機能や操作の補足説明などが書かれています。

撮影中に記念写真を撮影したときは

静止画像が約６秒間記録され通常の撮影に戻ります。

薄いアミと黒文字：
機能や操作のワンポイントアドバイスや、操作に困ったときの対処法が書かれています。

静止画を１枚ずつ自動で再生するには（オートプレイ）

濃いアミと白抜き文字：
知っているとちょっと便利な内容が書かれています。

☞ 70ページ

指マーク：
参照ページや参照項目を示しています。

準備

屋外で撮影する前には、バッテリーを充電しておきましょう。長時間の撮影には、ベルトホルダータイプのバッテリーキットが別売されています。
（☞38ページ）
また、ミニDVカセットテープも何本か用意しておきましょう。

1

ページ

各部のなまえ 使い方については（　）内の参照ページをご覧ください。

ビデオカメラ

※撮影中は手や指をかけないようにしてください。

停止/逆光補正ボタン
（☞78、76ページ）
巻戻し/フォーカスボタン
（☞78、102、130ページ）
USB端子
（☞164ページ）
DV端子（i-LINK*）
（☞146ページ）
*i-LINKは、IEEE1394-1995仕様およびその拡張仕様です。
はi-LINKに準拠した商品につけられるロゴマークです。
再生/一時停止/明るさボタン
（☞78、102、131ページ）
早送り/ナイトアイボタン
（☞78、102、141ページ）
ビデオ/メモリースイッチ
（☞70、78、100、102ページ）
ビデオ
メモリー
バッテリー取り付け部
（☞60ページ）
液晶画面を閉じるときは、この部分を押して完全に閉じてください。
端子カバー
液晶画面
（☞70、78ページ）
液晶画面を開くときは、この部分に指をかけて開いてください。
DC端子
（☞60ページ）
S/AV端子
（☞80、144ページ）
メモリーカードカバー
（☞63ページ）
動画メモリー/インフォボタン
（☞104、110ページ）
メニューボタン
（☞169ページ）
動画メモリー
インフォ
メニュー
選択
決定
モニター明るさ
ナビ書込み
インデックス
ナビ
「+」・「−」ボタン
（☞169ページ）
選択/決定ボタン
（☞103、169ページ）
ナビ書込みボタン
（☞94ページ）
インデックス/ナビボタン
（☞109、96ページ）

各部のなまえ

ボタンを押しながら、
電源スイッチのモード
を切り替えます。

M　**マニュアル撮影モード**
撮影方法を細かく設定できます。
（☞127、167ページ）

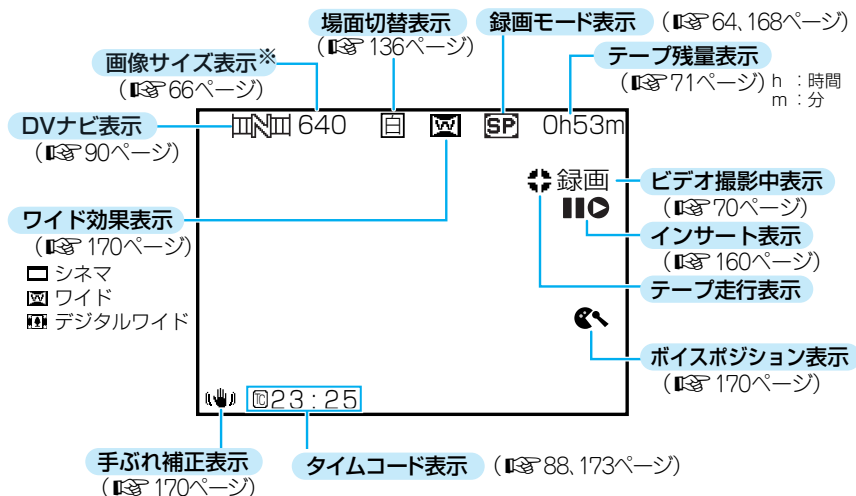
撮影　**フルオート撮影モード**
全自動で撮影ができます。（☞70、100ページ）

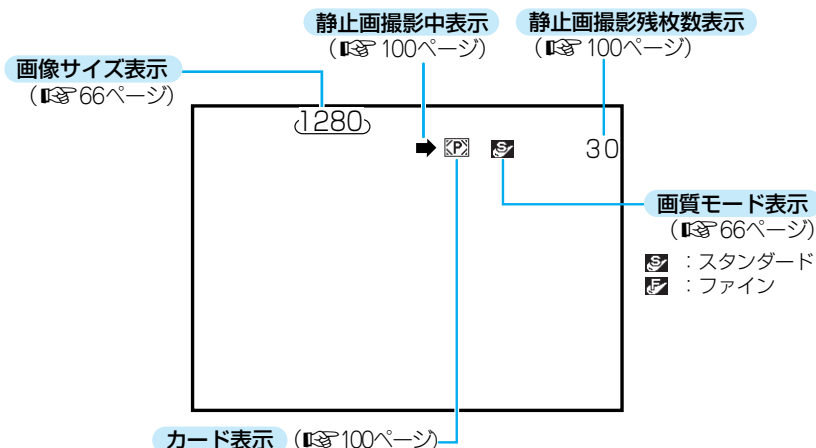
切　**・電源が切れます。**
・充電するときに合わせます。（☞60ページ）

再生　**再生モード**
撮った映像を見るときに、切り替えます。
（☞78、102ページ）

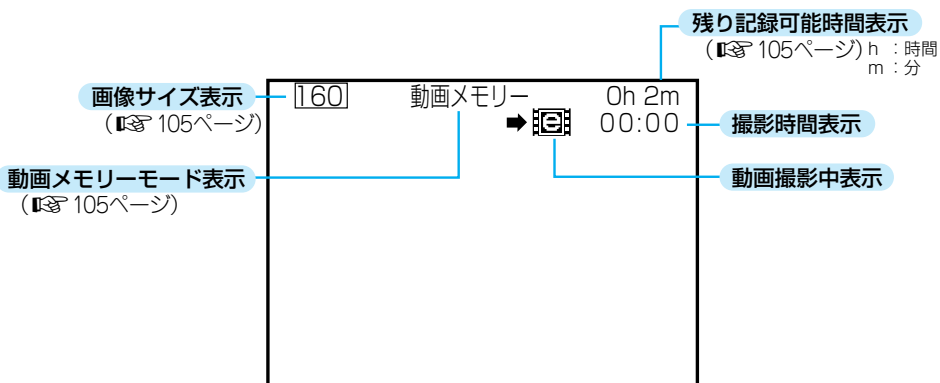
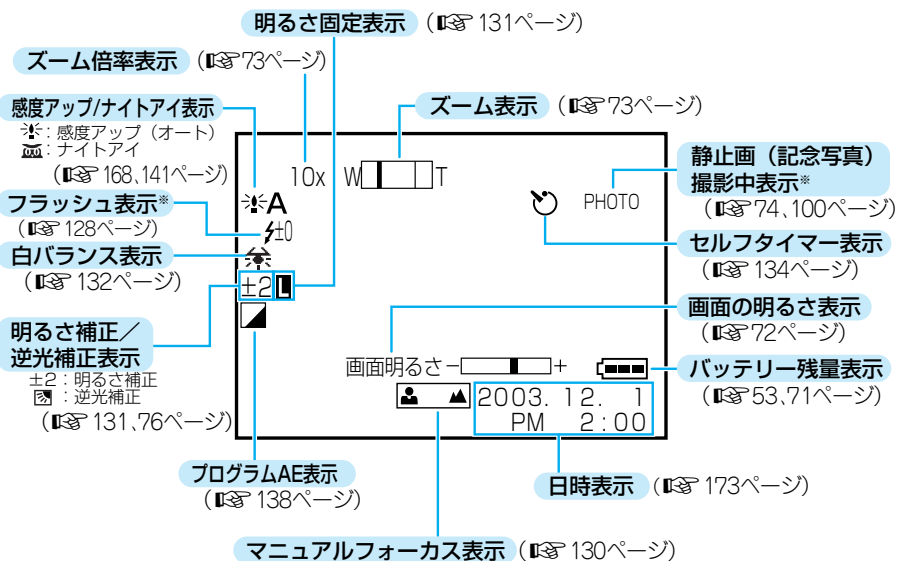
電源スイッチが M および撮影のときは
液晶画面を開く、またはファインダー
を引き出したときに電源が入ります。

撮影時の表示

■ビデオ撮影時の表示（テープに撮影）

※「記録選択」で「➡ ／➡ 」を選択しているときのみ表示されます。

■静止画撮影時の表示（メモリーカードに撮影）

• カードが入っていないと点滅します。
  ：カードを入れたとき
• カード情報を読み込んでいるときは、黄色く点滅します。
（DVナビ、動画メモリー、記念写真など）

各部のなまえ

■動画撮影時の表示（メモリーカードに撮影）

■ビデオ／静止画／動画撮影に共通の表示

※動画撮影時は表示されません。

再生時の表示

■ビデオ再生時の表示

■静止画再生時の表示

1 準備 各部のなまえ（画面表示）

■動画再生時の表示

動画メモリー
DVC00002.ASF
ファイル名表示
（☞107、110ページ）
動画画面
（☞107ページ）
バッテリー残量表示
（☞53、107ページ）
動画再生表示
▶ 再生
❚❚ 静止
（☞107ページ）
スピーカ音量表示
ズーム/音量スイッチを
スライドさせて操作できます。

お知らせ表示

表示	表示内容	参照ページ
(バッテリー表示)	バッテリーの残量を表示します。 残量多い → → → 残量なし バッテリーが少なくなると が点滅します。 バッテリーがなくなると自動的に電源が切れます。	71
(テープ表示)	テープが入っていないときや、テープの誤消去防止用ツマミが「SAVE」側にあるときに表示されます	183
テープを入れて下さい！	テープが入っていないときに撮影ボタンや静止画ボタンを押すと表示されます。	—
テープ終り	録画や再生中に、テープが終わると表示されます。	—
レンズキャップ	電源を入れたときにレンズキャップがレンズについていると表示されます。または暗い場所で表示されます。	—
日時を設定して下さい	内蔵の時計用電池の容量がなくなり、日時情報が失われると表示されます。ビデオカメラにバッテリーやACアダプターなどの電源を24時間以上接続してください。時計用電池が充電されます。その後に日時を設定しなおしてください。	182
テープへ記録できません テープの誤消去防止ツマミを確認して下さい	誤消去防止用ツマミが「SAVE」側のテープで録画しようとしたときに表示されます。	183
撮影中は変更できません	撮影中に変更できないメニューを表示すると表示されます。	—
コピーガードがかかっています	コピーガードがかかった信号を本機でダビング（録画）しようとしたときに表示されます。	—
音声16bit（12bit）	電源スイッチを「撮影」または「M」に合わせて電源が入ると、音声モードが約5秒間表示されます。	—
DV入力、A/V入力、S入力	DV入力、またはアナログ入力状態で録画一時停止または録画中に表示されます。	145 147
メモリーカードを入れて下さい！	メモリーカードが入っていないときに静止画ボタンを押すと表示されます。	—
メモリー容量がありません	メモリーカードのメモリー（容量）がいっぱいになったときに表示されます。	—

次ページへつづく

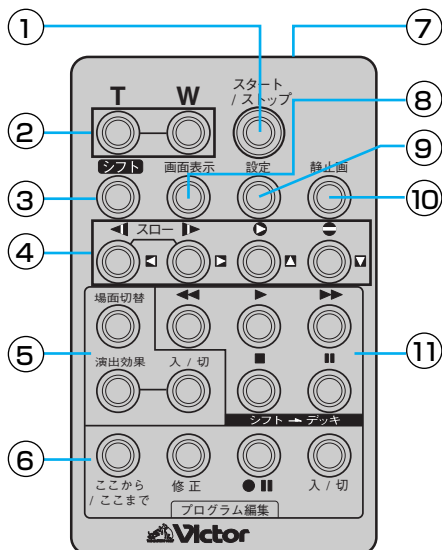
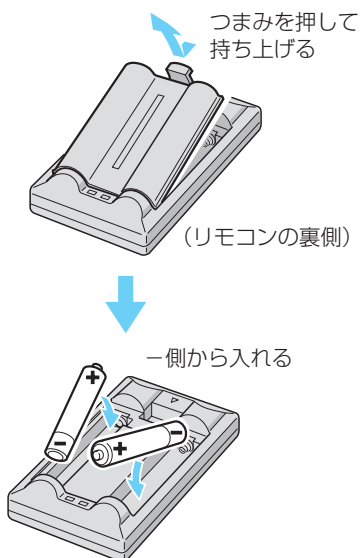
各部のなまえ

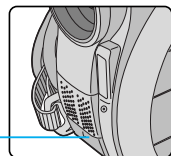
表示	表示内容	参照ページ
メモリーカードエラー	メモリーカードの認識ができなかったときに表示されます。メモリーカードを入れなおしてください。数回くり返しても表示が消えないときはメモリーカードのデータがこわれています。	—
静止画（動画）がありません	静止画または動画が記録されていないメモリーカードを再生したときに表示されます。	—
このメモリーカードではできません（ナビ画像がありません）	テープを撮影したときに入れていたメモリーカードではないメモリーカードで頭出しをしようとしたとき、または頭出しデータを追加しようとしたときに表示されます。	96
ナビできません	本機で撮影していないテープで頭出しをしようとしたとき、または頭出しデータを追加しようとしたときに表示されます。	96
検出できませんでした	頭出しをしたときに頭出しデータを検出できないと表示されます。	96
撮影を一時停止しナビ書込みボタンを押してください	撮影中に「ナビ書込み」ボタンを押したときに表示されます。	94
メモリーカードへ記録できません	テープからメモリーカードへ静止画をコピーするとき、メモリーカードが入っていない、メモリーカードの容量がない、メモリーカードがフォーマットされていない、またはSDメモリカードのライトプロテクトがかかっているときに表示されます。	118
未対応のファイルです	本機で対応していないファイル形式の画像を再生しようとしたときに表示されます。	
メモリーカードをフォーマットして下さい	フォーマットされていないメモリーカードを入れたときに表示されます。	125
ライトプロテクトがかかっています	ライトプロテクトのかかったSDメモリカードで撮影しようとしたときに表示されます。	—
音声アフレコできません	テープの無記録部分でアフレコ編集しようとしたときに表示されます。	158
音声アフレコできません <LPモードで記録されています> <16bitで記録されています> <テープの誤消去防止ツマミを確認して下さい>	• LPモードで記録されたテープでアフレコ編集しようとしたときに表示されます。LPモードで記録されたテープにはアフレコ編集できません。 • 16bit音声で録音されたテープでアフレコ編集しようとしたときに表示されます。16bit音声で録音されたテープにはアフレコ編集できません。 • 誤消去防止用ツマミが「SAVE」側のテープでアフレコ編集しようとしたときに表示されます。	158

表示	表示内容	参照ページ
インサート録画できません	テープの無記録部分でインサート編集しようとしたときに表示されます。	160
インサート録画できません <LPモードで記録されています> <テープの誤消去防止ツマミを確認して下さい>	• LPモードで記録されたテープでインサート編集しようとしたときに表示されます。LPモードで記録されたテープにはインサート編集できません。 • 誤消去防止用ツマミが「SAVE」側のテープでインサート編集しようとしたときに表示されます。	160
E01、E02、E06　保護回路が働きました バッテリーを外して付け直して下さい	ビデオカメラに生じたトラブルを判断するための表示です。 バッテリーと電源をはずして付けなおしてください。 動作させて同じメッセージが表示されなければ問題ありません。 2、3度くり返しても表示が消えないときはお買い上げ販売店またはビクターサービス窓口（☞188）にご相談ください。	—
E03、E04　保護回路が働きました テープを取り出し、入れ直して下さい	ビデオカメラに生じたトラブルを判断するための表示です。 テープを取り出して入れなおしてください。 動作させて同じメッセージが表示されなければ問題ありません。 2、3度くり返しても表示が消えないときはお買い上げ販売店またはビクターサービス窓口（☞188）にご相談ください。	—
⊗ ヘッドが汚れています クリーニングカセットを試して下さい	ヘッドが汚れているときに表示されます。 クリーニングカセットを再生して、ヘッドを清掃してください。	39
露が付きました しばらくお待ち下さい	つゆつきが発生したときに表示されます。 表示が消えるまで1時間以上お待ちください。	40

各部のなまえ

リモコン

付属のリモコンを使って、ビデオカメラを離れたところから操作することができます。
ビデオカメラのリモコン受光部に向けて使用します。

リモコン電池の入れかた

リモコンの操作方法

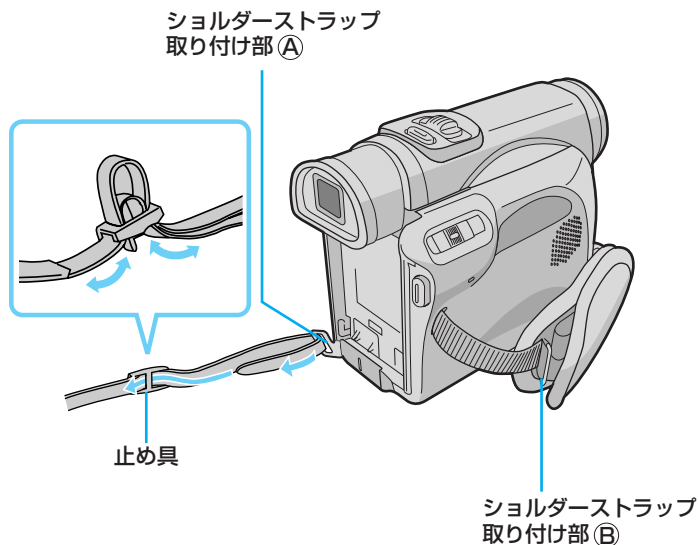
操作範囲は屋内で約5mです。
ビデオカメラのリモコン受光部に向けて操作してください。角度によっては操作できない場合があります。また、ビデオカメラのリモコン受光部に直射日光や照明の強い光が当たるとビデオカメラが誤動作したり、動作しないことがあります。

ビクターのビデオカメラを使う人が近くにいるときは

運動会など、半径5m以内にビクターのビデオカメラをリモコンで操作する人がいる場合、ビデオカメラがつられて動作してしまうことがあります。このようなときは、システムメニューの「リモコン」（☞172ページ）を「切」に設定することをお勧めします。

ボタン名			ボタンの機能	参照ページ
①		スタート/ストップボタン	撮影をスタートまたはストップする。 セルフタイマーをスタートまたはストップする。	70、134
②	T W	ズームボタン ズームボタン	静止画や映像が大きくなる。 大きくした静止画や映像が元に戻る。	73、82
③		シフトボタン	拡大した静止画や再生映像を上下左右に動かす。	82、148
④	◀❚	スロー(逆転)ボタン/左ボタン	テープをスローで巻き戻し再生する*。 再生ズームした静止画や映像を左に動かす。	79、82
	❚▶	スロー(正転)ボタン/右ボタン	テープをスローで再生する*。 再生ズームした静止画や映像を右に動かす。	79、82
	▶	インサートボタン/上ボタン	インサート編集を行う。 再生ズームした静止画や映像を上に動かす。	82、160
	⊖	アフレコボタン/下ボタン	アフレコ編集を行う。 再生ズームした静止画や映像を下に動かす。	82、158
⑤		場面切替ボタン	自動編集中、場面切替効果を選択する。	150、151
		演出効果ボタン	再生中や自動編集中、プログラムAEの効果を選択する。	83、151
		演出効果　入/切ボタン	再生映像にプログラムAEの効果を加える。	83
⑥		ここから／ここまでボタン	自動編集の開始と終了を指定する。	150、151
		修正ボタン	自動編集を終了する。	153
	●❚❚	ビデオ準備ボタン	自動編集でビデオデッキを録画一時停止にする。	152
		入／切ボタン	自動編集表示画面を表示する。	150
⑦		リモートポーズ(入力)端子	編集コードを接続する。	150
⑧		画面表示ボタン	テレビに出てくる日時表示を出したり、消したりする。	144、173
⑨		設定ボタン	編集に使用するビデオデッキのメーカーを設定する。	148
⑩		静止画ボタン	静止画を撮影する。 セルフタイマーをスタートまたはストップする。	74、100、134
⑪	◀◀	巻戻しボタン	テープを巻き戻す。 前の静止画を再生する。	79、102
	▶	再生ボタン	テープを再生する。 オートプレイを開始する。	79、102
	▶▶	早送りボタン	テープを早送りする。 次の静止画を再生する。	79、102
	■	停止ボタン	テープを停止する。 オートプレイをやめる。	79、102
	❚❚	一時停止ボタン	テープを一時停止する。	79

＊ 1回ずつ押すことでコマ送り再生になります。スロー再生するには、約2秒間押し続けます。

ショルダーストラップを取り付ける

移動中、落下したりしないようにしっかりと取り付けます。

1 ショルダーストラップ取り付け部Ⓐに通す

- ショルダーストラップの先をショルダーストラップ取り付け部Ⓐに通します。
- バッテリーやDCコードは、はずしておきます。

2 止め具に通す

- ショルダーストラップの先を長さ調整用の止め具に通します。

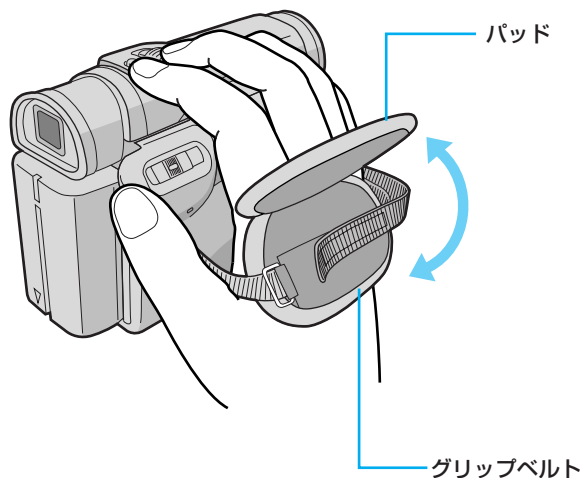
3 長さを調節する

- 調整用バックルに通っているショルダーストラップを少しゆるめて、長さを調節します。

4 ショルダーストラップ取り付け部Ⓑについても同様に2～3を繰り返す

- ショルダーストラップを引っぱり、確実に取り付けられたか確認します。

グリップベルトを手に合わせる

手の大きさに合わせて、グリップベルトを調節します。

❶ パッドをはがす

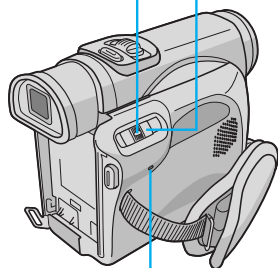
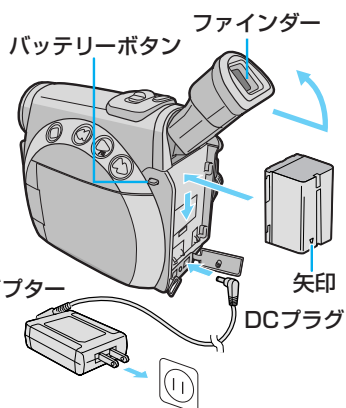
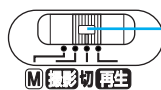
❷ グリップベルトを調節する

- 手を入れてズームスイッチと撮影ボタンが操作しやすいように調節します。

❸ パッドをはりつける

バッテリーを充電する/コンセントの電源を使う

バッテリーを充電する

バッテリーをビデオカメラに取りつけ、ACアダプターを使用して充電します。
バッテリーをビデオカメラに取りつけるときは、バッテリーのキャップをはずしてください。

1 ロック解除ボタンを押しながら電源スイッチを「切」に合わせる

2 ファインダーを引き出してから上にあげる

- 完全に上まであげてください。

3 バッテリーを取りつける

- バッテリーの矢印を下向きにしてビデオカメラに押しつけるようにしながら下にスライドさせます。

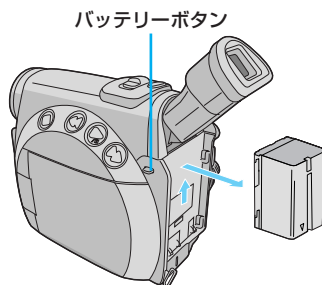
❹ ACアダプターのDCプラグを ビデオカメラのDC端子に差し込む

❺ ACアダプターの電源プラグをコンセントに差し込む

- 電源／充電ランプが点滅します。
- 点滅から消灯に変わったら充電完了です。ACアダプターをはずしてください。

バッテリーの取りはずし

バッテリーボタンを押したまま、バッテリーを取りはずす

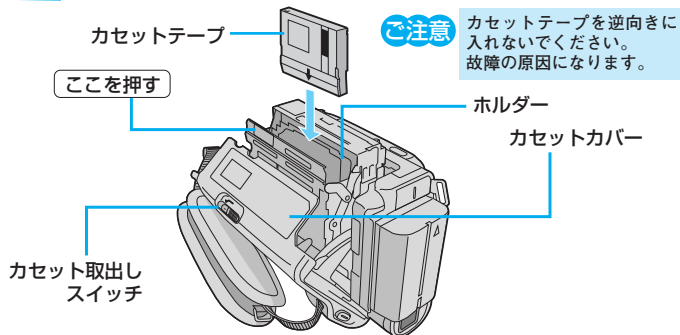
- 下から上へスライドさせて手前に引いて取はずしてください。

コンセントの電源でビデオカメラを動かす

室内で使うときは、ACアダプターを使ってコンセントから電源をとると便利です。変換プラグを使用すると海外でもご利用できます。（☞186ページ）
「バッテリーを充電する」の手順❹、❺を行ってください。

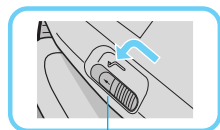
- **充電時間の目安（室温10℃〜35℃）** ➡ バッテリー(BN-V416-H:付属)で約3時間
  バッテリー(BN-V408-H:別売)で約1時間30分
  バッテリー(BN-V428:別売)で約5時間
- **充電しても撮影時間が短い** ➡ 寿命です。新しいバッテリーに交換してください。
- **充電できない** ➡ 電源が入っているときは、充電できません。
- **バッテリーについて** ➡ 184ページもご覧ください。

ご注意
- AC アダプターが、温かくなることがあります。

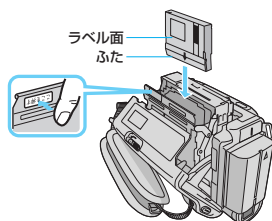
カセットテープを入れる・取り出す

電源（バッテリーまたはACアダプター）がつながれていれば、電源スイッチが「切」のままでもホルダーを開けることができます。

1 カセット取出しスイッチを矢印方向にスライドさせて、手でカセットカバーを開く

- 自動的に、ホルダーが開きます。

ご注意 ● 内部の部品を直接手でさわらないでください。

2 カセットテープをホルダーに入れ ここを押す を押す

- カセットテープは奥まで確実に入れてください。
- 自動的にテープが収納されます。

ご注意 ● ここを押す 以外は押さないでください。

3 カセットカバーを「カチッ」と音がするまで閉める

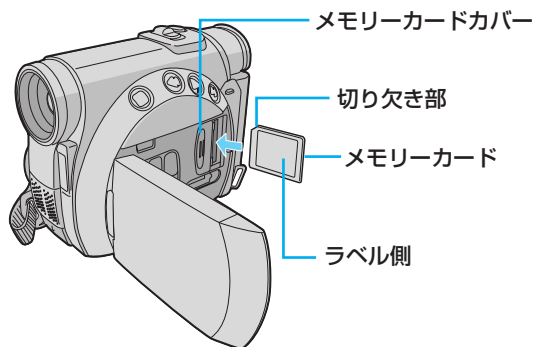
- テープが収納されない場合は、カセットカバーを一度完全に開いて、カセットを取り出し、少し待ってからカセットを入れ直してください。

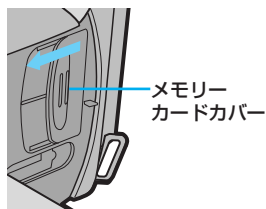
ご注意
- ホルダーに指をはさまないようにご注意ください。
- テープがからまるなど、一度トラブルのあったテープをご使用になると、ビデオカメラの故障の原因となりますので、使用しないでください。

カセットテープを取り出す

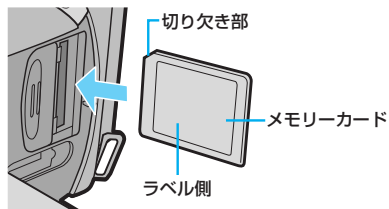
上の手順 1 のあとでカセットテープを引き上げて取り出す

メモリーカードを入れる・取り出す

本機をデジタルカメラとして使用するときは、メモリーカードを使用します。

❶ メモリーカードカバーを開く

- メモリーカードカバーをスライドさせて開きます。

❷ メモリーカードを入れる

- 奥までしっかり入れてください。

ご注意
- 必ず電源を切ってから入れてください。
- 電極に手を触れないでください。

❸ メモリーカードカバーを閉める

- メモリーカードが正しく入っていても、本機がカードを認識するまでに多少時間がかかることがあります。

メモリーカードを取り出す

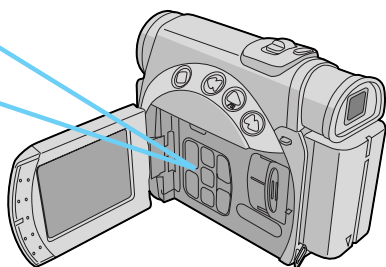
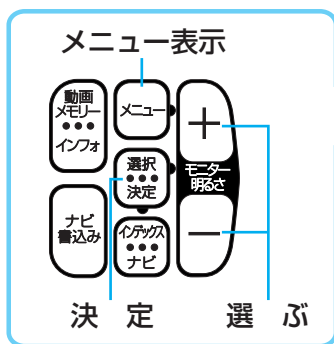
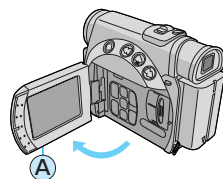
上の手順 ❶ のあとでメモリーカードを押すと出てきます。

ご注意
- メモリカードはマルチメディアカード（MultiMediaCard）、またはSDメモリーカード（SD Memory Card）をご使用ください。
- 新たに購入したメモリーカードを使用するときは、本機で初期化してください。（☞ 125ページ）

テープへ記録する録画モードを選ぶ

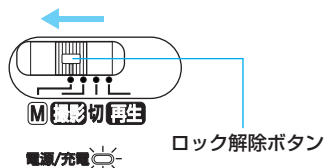
録画モードとは

●SPモード：標準、LPモード：1.5倍

SPモードとLPモードの2種類の録画モードがあります。LPモードではSPモードに比べ1.5倍長く撮影することができます。ただしLPモードにするとアフレコ編集（☞158ページ）とインサート編集（☞160ページ）ができなくなります。

❶ 液晶画面を開く

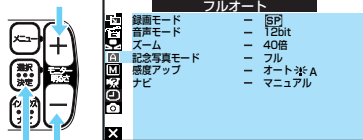
● Ⓐの部分に指をかけて液晶画面を開いてください。

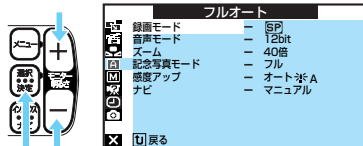
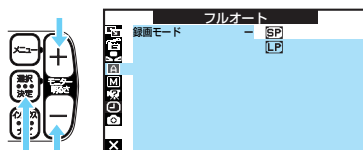
❷ ロック解除ボタンを押しながら電源スイッチを「Ⓜ」に合わせる

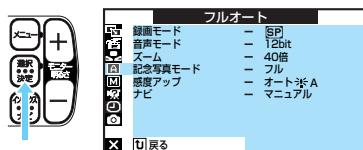
● 電源／充電ランプが点灯し電源が入ります。

❸ 「メニュー」ボタンを押す

● メニュー画面が表示されます。

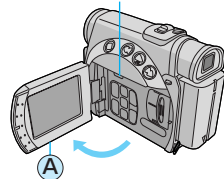
4 「＋」・「－」ボタンを押して「A」を選び、「決定」ボタンを押す

● フルオートメニューが表示されます。

5 「＋」・「－」ボタンを押して「録画モード」を選び、「決定」ボタンを押す

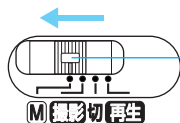
● 「SP」と「LP」が表示されます。

6 「＋」・「－」ボタンを押して「SP」または「LP」を選び、「決定」ボタンを押す

7 「決定」ボタンを2回押す

● 撮影画面に戻ります。

メモリーカードへ記録する画質／サイズを選ぶ

メモリーカードに記録する静止画の使用目的に応じて画質と画像サイズを選ぶことができます。画質は良い順にファイン、スタンダードの2種類があります。
画像サイズは大きい順に1600×1200ドット、1280×960ドット、1024×768ドット、640×480ドットの4種類があります。

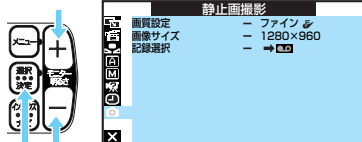
1 液晶画面を開き、ビデオ／メモリースイッチを「メモリー」にする

● Ⓐの部分に指をかけて液晶画面を開いてください。

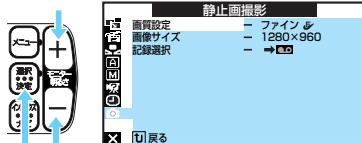
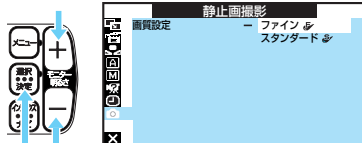
2 ロック解除ボタンを押しながら電源スイッチを「Ⓜ」に合わせる

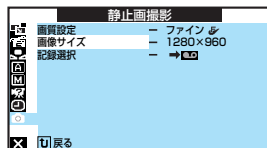
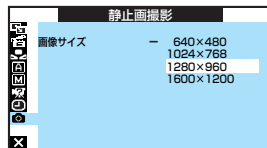
● 電源／充電ランプが点灯し電源が入ります。

3 メニューボタンを押す

● メニュー画面が表示されます。

4 「＋」・「－」ボタンを押して「[カメラ]」を選び、「決定」ボタンを押す

● 静止画撮影メニューが表示されます。

5 「＋」・「－」ボタンを押して「画質設定」を選び、「決定」ボタンを押す

● 「スタンダード[S]」と「ファイン[F]」が表示されます。

6 「＋」・「－」ボタンを押して「スタンダード」または「ファイン」を選び、「決定」ボタンを押す

7 「＋」・「－」ボタンを押して「画像サイズ」を選び、「決定」ボタンを押す

● 「640×480」「1024×768」「1280×960」「1600×1200」が表示されます。

8 「＋」・「－」ボタンを押して使用する静止画のサイズを選び、「決定」ボタンを押す

9 「決定」ボタンを2回押す

● 撮影画面に戻ります。

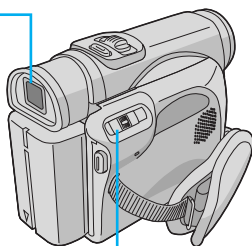
撮影可能枚数の目安

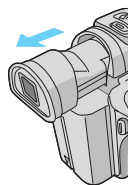
画像サイズ	画質モード	マルチメディアカード		SD メモリーカード			
		16MB（別売）	32MB（市販）	8MB（付属）	16MB（市販）	32MB（市販）	64MB（市販）
640×480	ファイン	約105枚	約215枚	約47枚	約95枚	約205枚	約425枚
	スタンダード	約320枚	約645枚	約160枚	約295枚	約625枚	約1285枚
1024×768	ファイン	約50枚	約100枚	約21枚	約47枚	約95枚	約200枚
	スタンダード	約160枚	約320枚	約65枚	約145枚	約310枚	約640枚
1280×960	ファイン	約32枚	約60枚	約13枚	約29枚	約60枚	約125枚
	スタンダード	約105枚	約215枚	約45枚	約95枚	約205枚	約425枚
1600×1200	ファイン	約21枚	約42枚	約8枚	約19枚	約41枚	約80枚
	スタンダード	約65枚	約135枚	約28枚	約60枚	約130枚	約275枚

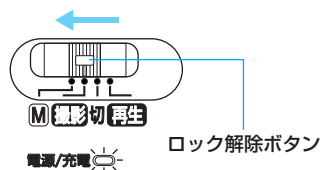
● 動画をメモリーカードに記録すると、静止画の撮影枚数は少なくなります。
● 使用するメモリーカードや撮影する被写体の画像内容などによって撮影可能枚数は変化します。
● 撮影画面では、ファインモードは F、スタンダードモードは S と表示されます。

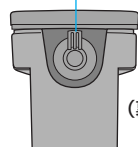
ファインダーを調節する

視力とファインダー表示が合わないとき

ファインダー内の表示が見やすくなるように調節します。

1 ファインダーを引き出す

● 液晶画面は閉じておいてください。

2 ロック解除ボタンを押しながら電源スイッチを「撮影」または「Ⓜ」に合わせる

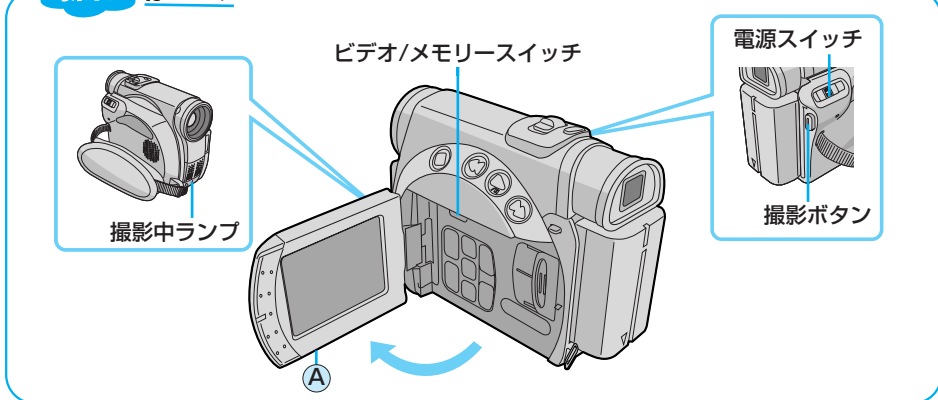
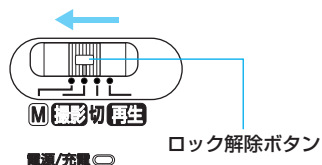
● 電源／充電ランプが点灯し電源が入ります。

3 ファインダーをのぞいてレバーを動かす

● ファインダー内の表示が良く見えるように調節します。

撮影

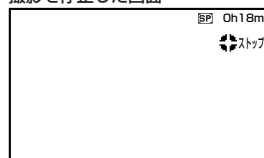
**電源スイッチを「撮影」に合わせておけば、全自動で撮影ができます。
また、ズーム撮影、記念写真撮影、逆光補正機能なども簡単に操作できます。**

ページ

テープに撮影する

ピントや露出合わせも自動（フルオートモード）で、簡単に撮影できます。

1 ロック解除ボタンを押しながら電源スイッチを「撮影」に合わせる

2 液晶画面を開き、ビデオ／メモリースイッチを「ビデオ」に合わせる

- 電源／充電ランプが点灯し電源が入ります。
- 撮りたい被写体に合わせます。
- Ⓐの部分に指をかけて液晶画面を開いてください。

撮影を停止した画面

3 撮影ボタンを押す

- 録画が始まります。
- 撮影中ランプが点灯します。
- 再度押すと録画一時停止になり、ストップ表示がでます。

撮影中の画面

連続撮影時間の目安

バッテリー	ファインダー使用時	液晶画面使用時
BN-V416-H（付属）	約2時間40分	約2時間10分
BN-V408-H（別売）	約1時間20分	約1時間5分
BN-V428（別売）	約4時間50分	約3時間55分
VU-V840KIT*（別売）	約6時間40分	約5時間25分
VU-V856KIT*（別売）	約9時間30分	約7時間50分

＊ VU-V840KITおよびVU-V856KITは、バッテリーを付属のバッテリーポーチに入れ、DCコードでバッテリーポーチと本体を接続して使用します。バッテリーをビデオカメラに直接取り付けることはできません。（☞ 38ページ）

実撮影時間の目安

バッテリー	ファインダー使用時	液晶画面使用時
BN-V416-H（付属）	約1時間20分	約1時間5分
BN-V408-H（別売）	約40分	約30分
BN-V428（別売）	約2時間25分	約1時間55分
VU-V840KIT*（別売）	約3時間20分	約2時間40分
VU-V856KIT*（別売）	約4時間45分	約3時間55分

連続撮影時間は、ズームを使ったり、撮影一時停止を繰り返すなどで短くなります。バッテリーは撮影予定時間の約3倍分をご用意されることをおすすめします。
実撮影時間は撮影、撮影一時停止、電源の入/切、ズームなどを繰り返したときの撮影時間です。実際にはこれよりも短くなることがあります。

●5分以上撮影を一時停止したときは

ビデオカメラの節電とテープ保護のため、自動的に電源が切れます。再び撮影したいときは、液晶画面を一度閉じて再び開いてください。または、ファインダーを一度入れ再び引き出してください。

●液晶画面が見づらいときは

光の反射などで液晶画面が見づらいときは、液晶画面を閉じてファインダーをのぞいて撮影することをおすすめします。液晶画面とファインダーは同時に使用できません。

●テープの残量を確認するには

撮影中は、自動的にテープの残量が表示されます。テープ残量は目安としてお使いください。使用するテープによっては正しく表示されないことがあります。また、80分テープの巻き始めでは、正しい残量表示をするまでに時間がかかったりすることがあります。テープの残量が残り2分となると表示が点滅し、テープが終わると「テープ終り」と表示されます。

●バッテリー残量表示（▭）が点滅したら

バッテリーの残量が少なくなっています。バッテリーの残量がなくなると自動的に電源が切れます。電源が切れる前にバッテリーを交換してください。

次ページへつづく

テープに撮影する

● 正常に録画できないときは

ビデオヘッドが汚れているかもしれません（☞39ページ）。大切な撮影の前には試し撮りをして、正常に録画、録音されていることをご確認してください。

● 液晶画面とファインダーは同時に使えません

液晶画面とファインダーに同時に映像を表示することはできません。液晶画面を開いた状態でファインダーも引き出されている場合は、液晶画面が優先されます。
ファインダーを優先したい場合は、システムメニューの「優先設定」を「ファインダー」に変更してください。（☞172ページ）

● 画面の明るさを調節したいときは

液晶画面やファインダーの映像が見づらいときは、明るさを調節してから撮影や再生を行います。
画面の明るさは撮影時と再生時に「＋」・「－」ボタンで調節できます。
ここでは、撮影時に調節する方法を説明します。

① ロック解除ボタンを押しながら、電源スイッチを「撮影」または「Ⓜ」に合わせる

② 液晶画面を開く

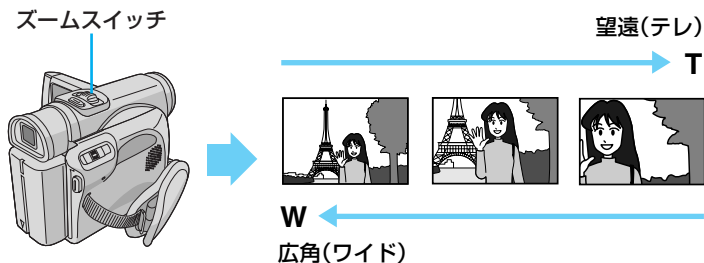
ファインダーの明るさを調節するときは、システムメニューの「優先設定」を「ファインダー」に変更してから、ファインダーを引き出します。（☞172ページ）

③「＋」・「－」ボタンを押す

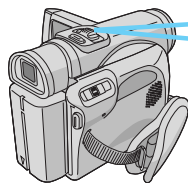
見やすい明るさに調節します。

ズームして撮影する

●被写体が遠いところにいるときや、画面に変化をつけたいとき

被写体をズームして撮影することができます。

ご注意 ● 使いすぎると見づらい映像になります。

1 ズームスイッチを動かす

● 軽く動かすとゆっくりズームし、強く動かすと早くズームします。

● **最大ズーム倍率** ➡ 何倍までズームを可能にするか変更できます。（☞168ページ）

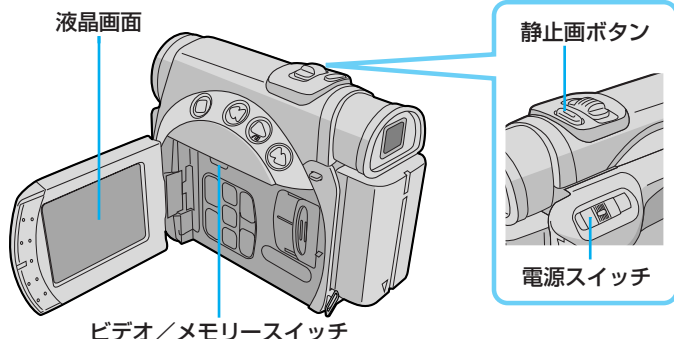
● **接写したいとき（マクロ撮影）** ➡ W側にいっぱいまで押すとレンズから約5cmまで被写体に近づいて撮影可能。T側のときは、約1m。（テレマクロ"入"のときは約60cm）（ピントが合わない距離では、▲、▲、▼、👤 が点滅して自動的にズームがW側になります。）

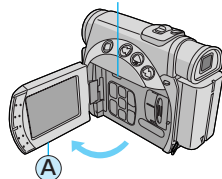
● **10倍以上のズーム（デジタルズーム）** ➡ 10倍までの映像に比べて多少映像品質が劣化します。（デジタル処理をするため）

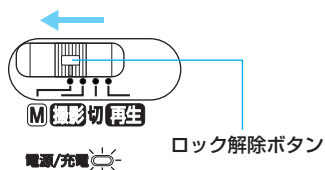
● **10倍以上のズームが使用できない** ➡ ● 映像をデジタル処理する機能との併用はできません。
● ビデオ／メモリースイッチが「メモリー」のときは使用できません。

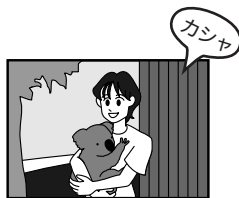
テープに静止画（記念写真）を撮る

●被写体の表情などをワンポイントで記録したいとき

ビデオテープの中に写真のような映像を挿入することができます。

1 液晶画面を開き、ビデオ／メモリースイッチを「ビデオ」に合わせる

● Ⓐの部分に指をかけて液晶画面を開いてください。

2 ロックを解除ボタンを押しながら電源スイッチを「Ⓜ」または「撮影」に合わせる

● 電源／充電ランプが点灯して電源が入ります。

静止画ボタンを押す

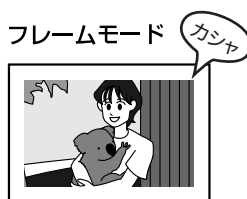
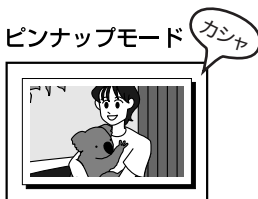
- 静止画像が約6秒間記録されます。
- 押し続けると静止画像が約1秒ごとに連写されます。
- 画面に「⚡」が表示されているときは、フラッシュが発光します。（☞128ページ）

記念写真（静止画）モードについて

記念写真モードには、4つのモードがあります。
これらのモードはメニュー画面で選択することができます。（☞169ページ）

フルモード

ネガモード

ピンナップモード

フレームモード

● 撮影中に記念写真を撮影したときは

静止画像が約6秒間記録され通常の撮影に戻ります。

● 記念写真撮影ができないときは

静止画ボタンを押したとき画面に「PHOTO」が点滅してお知らせします。またはメッセージ表示が出ます。（☞53ページ）

● S／AV端子にコードが接続されているときは

「カシャ」音は出ません。ただし、テープには記録されます。

● 「静止画撮影」メニューの「記録選択」が「➡ 📼／➡ Ⓜ」のときは

テープだけでなくメモリーカードにも静止画が記録されます。テープが入っていないときは、メモリーカードにのみ記録されます。また、連写はできません。（☞175ページ）

● 演出効果を設定していても記念写真撮影時に働かないものがあります。

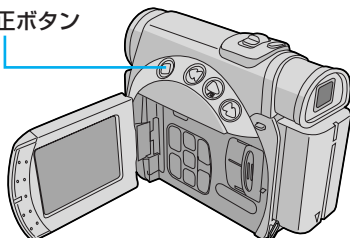
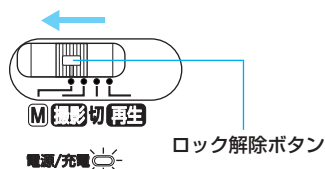
このようなときは、演出効果アイコンが点滅してお知らせします。

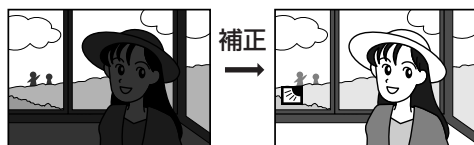
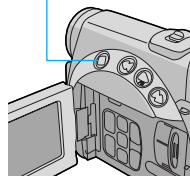
● 再生中も記念写真モードを使えます

「ビデオ再生モード」メニューの「📼 ➡ Ⓜ コピー」を「切」にしてご使用ください。（☞194ページ）
「カシャ」音は出ません。

逆光を補正する

●太陽などで背景が明るすぎて被写体が暗くなるとき

逆光補正ボタンで被写体が暗くならないように補正します。

1 ロック解除ボタンを押しながら電源スイッチを「撮影」または「Ⓜ」に合わせる

2 逆光補正ボタンを押す

- 画面に逆光補正マークが表示されます。
- 再度押すと、逆光補正を解除します。

●逆光補正ボタンを使うと

被写体の周囲が明るくなりすぎて白くなることがあります。

●より適切な明るさに調節するときは

手動で明るさ補正してください。（☞131ページ）

●手動で明るさ補正しているときは

逆光補正ボタンは、使えません。

再生

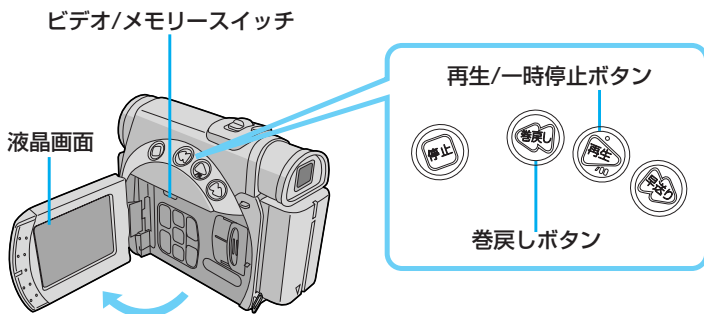
撮影した映像を、液晶画面ですぐに見ることができます。また、テレビやビデオデッキにつないで見れば、迫力ある映像を楽しめます。
さらに、リモコンを使えば、ズーム再生することも可能です。

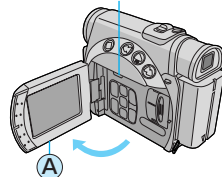
3

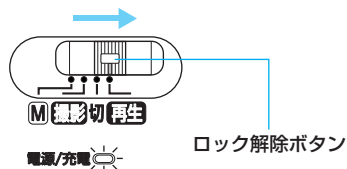
ページ

ビデオカメラの画面で見る

●撮ったその場で映像を確認したいとき

ビデオカメラの液晶画面で再生映像を見ることができます。

1 液晶画面を開き、ビデオ／メモリースイッチを「ビデオ」に合わせる

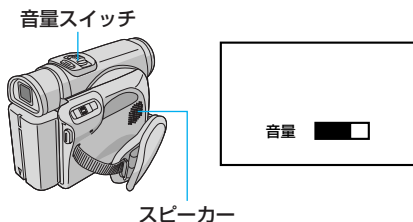
Ⓐの部分に指をかけて液晶画面を開いてください。

2 ロック解除ボタンを押しながら電源スイッチを「再生」に合わせる

- 電源／充電ランプが点灯し、電源が入ります。

3 巻戻しボタン（巻戻し）を押してテープを巻戻す

4 再生/一時停止ボタン（再生）を押す

- 画面に再生映像が映り、音声がスピーカーから出ます。ただし、S/AV/編集コード接続時は音声が出ません。
- 再生をやめたいときは、停止ボタン（停止）を押します。

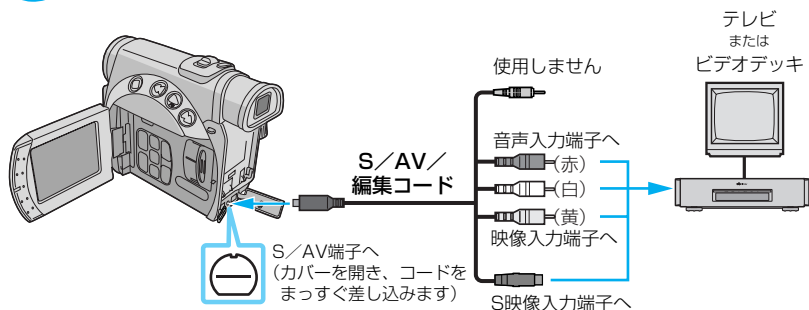
音量調節するには

音量スイッチをスライドさせます。

色々な再生

こうして見たい	このボタンを押す		ふつうの再生に戻す
・画面を見ながら早送りして探し見したい（早送り再生）9倍速	再生中に 早送り	1度ポンと押す	再生 再生ボタンを押す
		押し続ける	指を離す
・画面を見ながら巻戻しして探し見したい（巻戻し再生）9倍速	再生中に 巻戻し	1度ポンと押す	再生 再生ボタンを押す
		押し続ける	指を離す
・画面を一時停止させて見たい（静止画再生）	再生中に 再生		再生 再生ボタンを押す
・スローで再生したい（スロー再生）	通常再生または静止画再生中に（リモコンで操作） スロー どちらか一方を2秒以上押す		ビデオカメラまたはリモコンの再生ボタンを押す 正転スロー再生を約5分、または逆転スロー再生を約1分（80分テープのときは20秒）続けると自動的に通常再生に戻ります。
・コマ送りで再生したい（コマ送り再生）	通常再生または静止画再生中に（リモコンで操作） スロー どちらか一方を押すたびにコマ送りします		ビデオカメラまたはリモコンの再生ボタンを押す

● 静止画再生を約3分続けると自動的に停止します。
● 早送り／巻戻し再生、スロー再生中は映像が乱れることがあります。また、音声は出ません。
● スローボタンを押すと数秒間静止画になり、その後青い静止画（ブルーバック）が数秒間表示されるときがあります。故障ではありません。
● 停止状態を5分以上続けると電源が自動的に切れます。ただし、電源ダイヤルが「再生」で、ACアダプターからの電源供給時は、電源が切れません。
● モザイク状のノイズが出たり、青い画面のまま映像が出ないときは、ヘッドを清掃してください。（☞39ページ）

テレビまたはビデオデッキにつないで見る

みんな揃ってビデオを楽しみたいときなど、ビデオカメラをご家庭のテレビやビデオデッキにつないで再生することができます。S映像端子付きのテレビまたはビデオデッキと本機をS映像コードを使ってつなぐと、より高画質の映像をお楽しみいただけます。

1 電源を切った状態で、ビデオカメラをテレビまたはビデオデッキに接続する

2 テレビ、またはビデオデッキの電源を入れる

3 テレビのチャンネルやビデオデッキの入力モードを設定する

● **ビデオカメラをテレビに接続したとき**
テレビの入力モードをビデオカメラを接続した端子に切り替えます。
（例えば「ビデオ1、ビデオ2、ムービー」など）。

● **ビデオカメラをビデオデッキに接続したとき**
テレビをビデオを見るチャンネルに合わせ、ビデオデッキの入力モードを外部入力に切り替えます。

4 再生する（☞78ページ）

● ご使用になるテレビやビデオデッキによって、入力モードの設定方法は異なります。詳しくはテレビやビデオデッキの取扱説明書を参照してください。

● テレビから「ピー」「ウワーン」というノイズ音が出るときは、テレビからビデオカメラを離すか、テレビの音量を下げてください。

●テレビに映る文字や表示を消すには

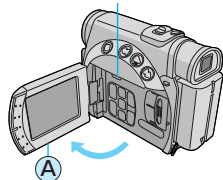
再生日時/表示メニューで、次のように設定してください。（☞173ページ）

・画面表示切替→「モニター」または「切」
・日時表示→「切」
・タイムコード→「切」

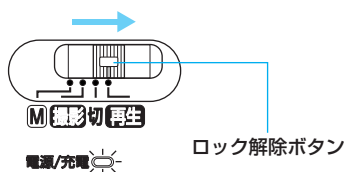
テープの録画されていない部分を探す（ブランクサーチ）

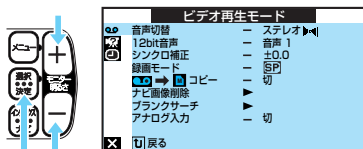
●テープの途中から撮影したいとき

ビデオテープの中にある5秒間以上録画されていない部分を探します。途中まで記録したビデオテープを取り出したり、再生したあとなどに撮影開始点を効率よく見つけることができます。

1 液晶画面を開き、ビデオ／メモリースイッチを「ビデオ」に合わせる

● Ⓐの部分に指をかけて液晶画面を開いてください。

2 ロック解除ボタンを押しながら電源スイッチを「再生」に合わせ、「メニュー」ボタンを押す

● メニュー画面が表示されます。

3 「＋」・「－」ボタンを押して「📼」を選び、「決定」ボタンを押す。

● ビデオ再生モードメニューが表示されます。

4 「＋」・「－」ボタンを押して「ブランクサーチ」を選び、「決定」ボタンを押す

5 「＋」・「－」ボタンを押して「実行」を選び、「決定」ボタンを押す

● ブランクサーチがスタートします。
5秒間以上の無記録部分を見つけると、約3秒手前で自動的に停止します。

● ブランクサーチを中止するには、「停止」ボタン（停止）を押します。

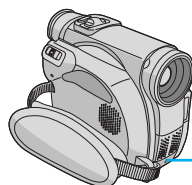
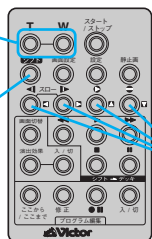
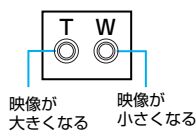
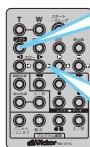
● すでに映像が記録されている部分でも、5秒間以上の録画されていない部分があると停止します。停止した位置以降に記録されている部分がないか、録画を開始する前によく確認してください。

● 録画されていない部分から約3秒手前まで巻き戻して停止しますので、そこから録画をスタートすると、約3秒間映像が上書きされてしまいます。必要に応じて再生し、スタート位置を確認してください。

● ブランクサーチを映像の記録された部分からスタートすると早送り方向に、録画されていない部分からスタートすると巻き戻し方向にブランクサーチを行います。

ズームして再生する

●再生中に画面をズームしたいとき

付属のリモコン（☞56ページ）を使うと、ビデオカメラでテープを再生しているときに、画面をズームすることができます。また、ズームした映像の中のお好きな場所に画面を移動させることができます。

1 再生中に画面をズームするには、リモコンの「T」ボタンを押す

2 拡大した状態で画面を移動するには、シフトボタンを押しながら上下左右ボタンを押す

●ズームをやめたいときは

通常の再生画面の大きさに戻るまで「W」を押します。または、リモコンの停止ボタンを押した後に再生ボタンを押します。

● **ズームしたときの映像は**

通常の再生画面よりも多少再生映像が粗くなります。

● **メモリーカードの静止画再生時もズームすることができます。**

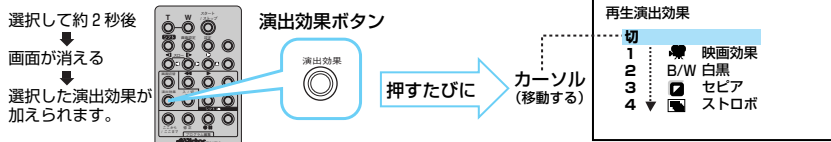
ただし「ズーム」が「10倍」または「40倍」に設定されているときは、4倍までのズームになります。

演出効果を加えて再生する

●●再生中に効果を加えて楽しみたいとき

付属のリモコンを使うと、テープを再生しているときの映像に演出効果（プログラムAE☞138ページ）を加えることができます。

1 ビデオカメラの再生中にリモコンの演出効果ボタンを押す

2 演出効果ボタンを押して演出効果を選ぶ

●演出効果入／切ボタンで選んだ演出効果をいつでも入／切できます。

再生音声を切り替える

●テープを再生するとき、ステレオ音声または左右どちらかの音声のみで再生するか設定するとき（音声切替）
●アフレコ編集したテープを再生するとき、撮影時の音声を再生するか、アフレコ音声を再生するか設定するとき（12bit音声）

アフレコ編集（☞158ページ）したテープでは、撮影時の音声とアフレコ時に録音した音声（アフレコ音声）のどちらを再生するか選択できます。また、ビデオカメラは常にステレオ音声で録音しますが、片方のスピーカの音声のみを再生することもできます。

❶ 液晶画面を開き、ビデオ／メモリースイッチを「ビデオ」に合わせる

● Ⓐ部分に指をかけて液晶画面を開いてください。

❷ ロックを解除ボタンを押しながら電源スイッチを「再生」に合わせ、「メニュー」ボタンを押す

● メニュー画面が表示されます。

3 「＋」・「－」ボタンを押して「📼」を選び、「決定」ボタンを押す

● ビデオ再生モードメニューが表示されます。

4 「＋」・「－」ボタンで「音声切替」、または「12bit音声」を選び、「決定」ボタンを押す

5 「＋」・「－」ボタンでお好みのモードを選び、「決定」ボタンを押す

● 「音声切替」のモードについて

ステレオ　：　ステレオ音声で聞きたいとき
音声L　：　左の音声のみ聞きたいとき
音声R　：　右の音声のみ聞きたいとき

● 「12bit音声」のモードについて

ミックス　：　撮影時の音声とアフレコ音声を同時に聞きたいとき
音声1　：　撮影時の音声を聞きたいとき
音声2　：　アフレコ音声を聞きたいとき

6 「決定」ボタンを 2 回押す

● メニューを終了し、通常の再生画面に戻ります。

● 再生中の音声モード（12bit/16bit）を確認するには

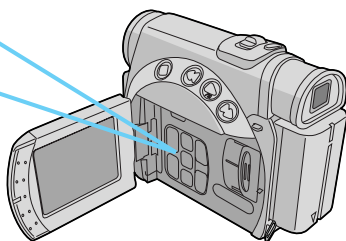
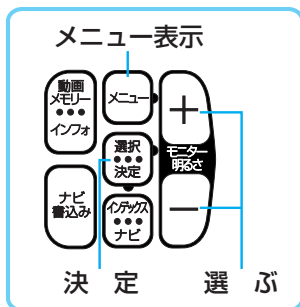
ビデオカメラは、ビデオの音声モードを自動判別して再生します。ビデオを再生すると、画面の左上端に再生中の音声モードが表示されます（早送り/巻戻し再生中は自動判別できません）。

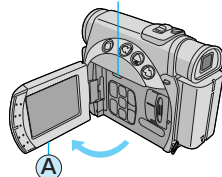
● 12bit/16bit音声について

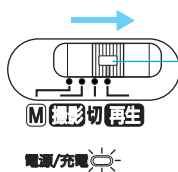
従来のビクター製ビデオカメラでは、12bit音声を32kHz音声、16bit音声を48kHz音声と表現しています。

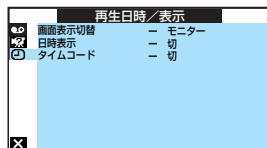
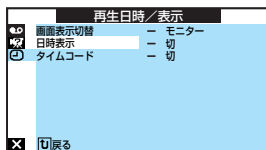
日時表示を切り替える

●日時表示を出したり、消したりしたいとき

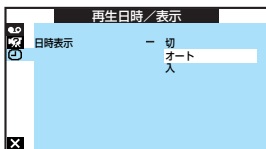
テープに撮影すると、撮影した日時が自動的にテープに記録されます。テープを再生するときに日時表示を出したり消したりすることができます。

1 液晶画面を開き、ビデオ／メモリースイッチを「ビデオ」に合わせる

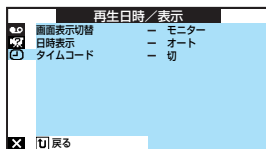
● Ⓐ部分に指をかけて液晶画面を開いてください。

2 電源スイッチを「再生」に合わせ、「メニュー」ボタンを押す

● メニュー画面が表示されます。

3 「＋」・「－」ボタンで「🕘」を選び、「決定」ボタンを押す

● 再生日時/表示メニューが表示されます。

4 「＋」・「－」ボタンで「日時表示」を選び、「決定」ボタンを押す

5 「＋」・「－」ボタンでお好みのモードを選び、「決定」ボタンを押す

● 「日時表示」のモードについて

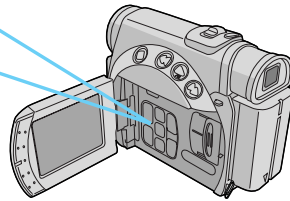
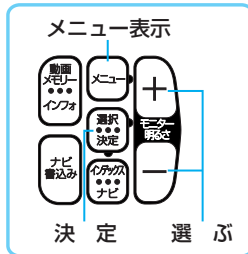
切　　：　日時表示を出したくないとき
オート：　日時表示を再生開始から5秒間のみ出したいとき
　　　　　（撮影された日時が表示されます。）
入　　：　常に日時表示を出したいとき

6 「決定」ボタンを 2 回押す

● メニューを終了し、通常の再生画面に戻ります。

● 日時表示メニューは、電源スイッチが「M」のときも表示することができます。（☞ 173ページ）

● 「日時表示」の設定（入/切）はリモコンの画面表示ボタンでも切り替えることができます。

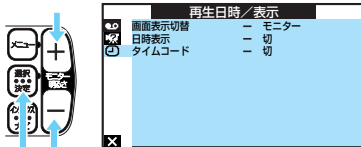
タイムコード表示を設定する

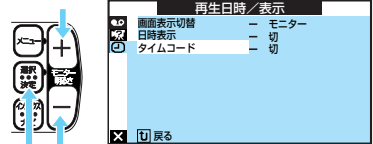
●テープの位置を確かめたいとき

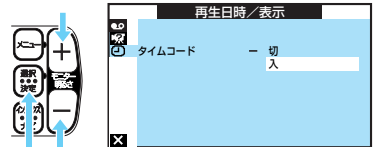
テープに撮影すると、タイムコード（ビデオ撮影開始からの「分:秒:フレーム」）が自動的にテープに記録されます。ビデオの再生、撮影の際にタイムコードを表示すると、テープの位置を確かめる目安となります。

例）「タイムコード」を「入」に設定する

1 ビデオ／メモリースイッチを「ビデオ」に合わせる

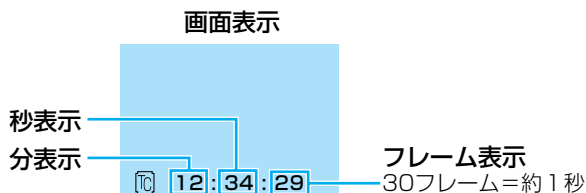
2 電源スイッチを「再生」に合わせ、「メニュー」ボタンを押す

3 「＋」・「－」ボタンで「[icon]」を選び、「決定」ボタンを押す

4 「＋」・「－」ボタンで「タイムコード」を選び、「決定」ボタンを押す

5 「＋」・「－」ボタンで「入」を選び、「決定」ボタンを押す

6 「決定」ボタンを2回押す

● メニューを終了し、通常の再生画面に戻ります。

日時表示メニューは電源ダイヤルが「M」のときも表示することができます。（☞173ページ）

タイムコードとは

撮影中、ビデオカメラはテープの1コマ1コマに「タイムコード」と呼ばれる数字を記録していきます。「タイムコード」はビデオの撮影、再生の際に、映像の位置を確かめる目安になります。
また、自動編集（☞148ページ）はタイムコードを利用して行います。

- 早送り、巻き戻し時のタイムコード表示は、ビデオカメラがテープの位置を確認するため、タイムコードが数秒間前後することがあります。
- 撮影中は、分と秒のみ表示されます。

テープの途中に無記録部分があると

テープに何も記録されていない部分を無記録部分と言います。同じテープの中の何も記録されていない部分から撮影を開始すると、タイムコードは「00:00:00」（分:秒:フレーム）から新たにタイムコードを記録していきます。1本のテープの中に複数の同一タイムコードが記録されるため、テープの位置を確かめることができなくなったり、自動編集時に誤動作の原因となります。

次のような場合は一度再生して、場面の終わりを確かめてから撮影してください。
- 撮影後に確認のため再生してみたテープで引き続き撮影するとき
- 撮影の途中で電源やバッテリーが切れたとき
- 使い切っていないテープをビデオカメラから出し入れして撮影するとき
- 途中まで撮影したテープを使って撮影するとき
- テープの途中にある無記録部分に撮影したいとき
- 撮影後にテープのテープカバーを開閉した後で撮影するとき

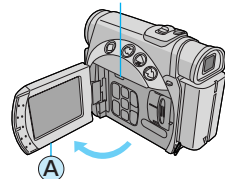
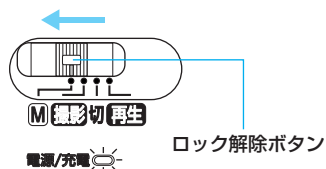
頭出しをするためのデータを記録する(DVナビ)

頭出しをするためのデータをメモリーカードに記録しておくと、再生時に撮影開始位置の頭出しが簡単にできます。頭出しするためのデータ（頭出しデータ）を記録するには、撮影時に自動的に記録する方法と、「ナビ書込み」ボタンを押して記録する方法があります。あとで再生しながら頭出しデータを追加することもできます（☞93、94ページ）。
カセットテープとメモリーカードの両方が入っていないと、頭出しデータは記録できません。あらかじめ、両方が入っていることを確認してください。

自動的に記録するように設定する

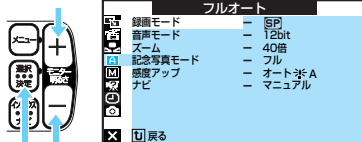
出荷時の設定では、撮影後に「ナビ書込み」ボタンを押したときだけ頭出しデータを記録します（☞93ページ）。撮影時に自動的に記録するには、フルオートメニューで設定を変更します。

1 液晶画面を開き、ビデオ/メモリースイッチを「ビデオ」に合わせる

● Ⓐの部分に指をかけて液晶画面を開いてください。

2 ロック解除ボタンを押しながら電源スイッチを「M」に合わせる

3 「メニュー」ボタンを押す

● メニュー画面が表示されます。

4 「＋」・「－」ボタンを押して「A」を選び、「決定」ボタンを押す

● フルオートメニューが表示されます。

5 「＋」・「－」ボタンを押して「ナビ」を選び、「決定」ボタンを押す

● 「マニュアル」「5秒」「15秒」「30秒」「60秒」が表示されます。

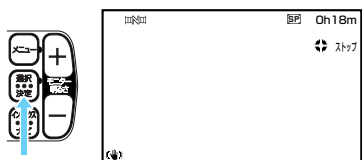
6 「＋」・「－」ボタンを押して秒数を選び、「決定」ボタンを押す

● 詳しくは、次ページの「秒数の選びかた」をご覧ください。

7 「決定」ボタンを2回押して撮影画面に戻る

● 画面上部に「N」マークが表示されます。

● マークが点滅している間は頭出しデータの記録ができません。点灯に変わるまでお待ちください。

● しばらくたってもマークが点滅しているときは、メモリーカードが入っていないことを示します。メモリーカードを入れてください（☞63ページ）。

頭出しをするためのデータを記録する（DVナビ）

秒数の選びかた

撮影を開始しても頭出しデータはすぐには記録されず、手順 6 で設定した秒数よりも長く撮影したときにだけ記録されます。次の2つの例を参考に、使い方に合わせて選択してください。

例1：どの場面も頭出しできるようにしたいとき
5秒に設定すると比較的短い場面でも頭出しデータが記録されます。そのため、ほとんどの場面をナビ機能で見つけだせます。
短い場面をたくさん撮影する場合は、大容量のメモリーカードを使用してください。

例2：メモリーカードの容量を節約したいとき
短い場面をたくさん撮影する場合、すべての場面の頭出しデータがメモリーカードに記録されると、頭出しデータでメモリーカードが一杯になることがあります。60秒に設定すると長さが60秒以上の比較的長い場面の頭出しデータだけが記録され、メモリーカードの容量を節約できます。

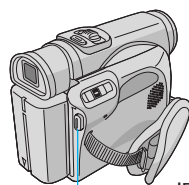
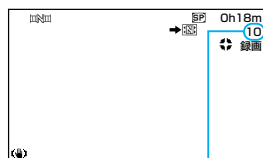
例3：特定の場面だけ頭出しできれば良いとき
「マニュアル」に設定すると、場面の長さに関わらず、撮影停止後に「ナビ書込み」ボタンを押した場面だけ頭出しデータを記録します。記録する場面を選べるので頭出しデータの数が少なくなり、再生するときに頭出しがより簡単になります。メモリーカードの容量の節約にもなります。

頭出しデータを記録する

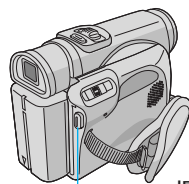
自動的に記録する

「自動的に記録するように設定する」（☞90ページ）の手順 ❻ で「5秒」～「60秒」に設定した場合、撮影時に頭出しデータが自動的に記録されます。

❶ 撮影ボタンを押して、ビデオを撮影する（☞70ページ）

● 撮影を開始してから91ページの手順 ❻ で設定した秒数がたつと「[N]」マークが画面に表示され、頭出しデータが記録されます。
- ・撮影時間が設定した秒数に満たない場合、頭出しデータは記録されません。
- ・メモリーカードに記録できる頭出しデータが10以下になると、画面に残数が表示されます。

撮影後に「ナビ書込み」ボタンを押して記録する（出荷時の状態）

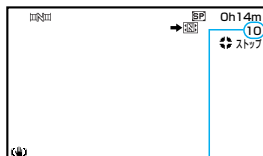
「ナビ」を「マニュアル」に設定しているときは、撮影後に「ナビ書込み」ボタンを押して頭出しデータを記録します。

❶ 撮影ボタンを押して、ビデオを撮影する（☞70ページ）

❷ もう一度撮影ボタンを押して、撮影を停止する

次ページへつづく

頭出しをするためのデータを記録する（DVナビ）

❸ 「ナビ書込み」ボタンを押す

- 「[N]」マークが表示され、頭出しデータが記録されます。
  ・メモリーカードに記録できる頭出しデータが10以下になると、画面に残数が表示されます。

頭出しデータの残数表示

好きな場面を選んで記録する

撮影後、ビデオの再生中に「ナビ書込み」ボタンを押して、頭出しデータを記録（追加）します。

❶ 再生/一時停止ボタン［再生］を押して、ビデオを再生する（☞78ページ）

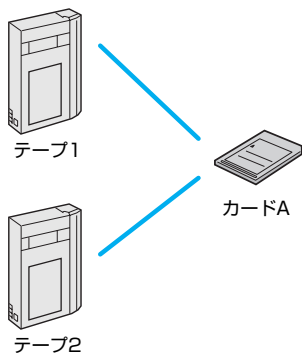
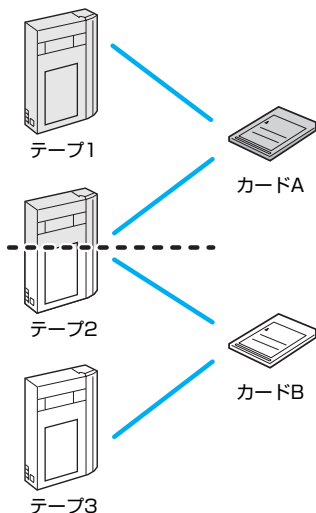
再生/一時停止ボタン

❷ 頭出しを行いたい場面で「ナビ書込み」ボタンを押す

- 選択した場面が頭出しをするためのデータとしてメモリーカードに記録されます。

頭出しをして再生するには

テープの再生中、または停止中に、「ナビ」ボタンを押します。詳しくは96ページをご覧ください。

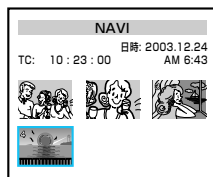
- 他社製のビデオカメラ、およびDVナビ機能がないビデオカメラで撮影されたビデオテープでは、頭出しデータを追加できません。
- 頭出しデータを追加するには、ビデオ撮影時に入っていたメモリーカードが必要です。
- DVナビを使用するときは無記録部分（テープに何も記録されていない部分）を作らないようにしてください。誤動作の原因になります。
- 頭出しデータを記録されたテープの上に新しく撮影しても、前に撮影した頭出しデータはメモリーカードに残っています。頭出しデータ（ナビ画像）を削除してから撮影してください。
- 液晶画面に黄色の「カード表示」（☞49ページ）が点滅するときは、カード情報を読み込んでいます。このときは頭出しデータは記録されませんが、カード読み込み完了後のデータを記録します。
- 他社製のビデオカメラ、およびDVナビ機能がないビデオカメラで撮影されたビデオテープでは、頭出しをすることができません。
- 「5S」または「アニメ」に設定されているときは、頭出しデータは記録されません。（☞170ページ）
- 「記録選択」（☞175ページ）を「➡ ／➡ 」に変更しているときは、静止画の撮影残枚数が表示されます。頭出しデータの残数は表示されません。
- 例1のように、1本のテープには1枚のメモリーカードが対応するようにご使用になることをお勧めします。
  1本のテープの撮影途中にメモリーカードを入れ替えると、例2のようにテープ2にカードAとカードBの2枚のメモリーカードが対応することになります。そのため、テープ2の前半を頭出しするときはビデオカメラにカードAを入れ、テープ2の後半を頭出しするときはカードBに入れ替えなくてはならなくなります。

頭出しをする（DVナビ）

●記録した頭出しデータ（☞90ページ）を使って、見たいシーンの頭出しをしたいとき

頭出しデータは、ビデオ撮影時または頭出しデータ追加時にセットされていたメモリーカードに記録されています。頭出しをするには、カセットテープに撮影したときまたは頭出しデータを追加したときにセットしていたメモリーカードが必要です。

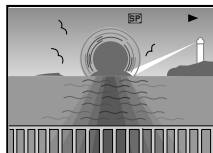
頭出しをして再生する

1 テープの再生中または停止中に、「ナビ」ボタンを押す

● ナビインデックス画面が表示されます。
・ 再生中の場合は、再生が自動的に停止します。

2 「＋」・「－」ボタンを押して頭出しをしたい場面を選ぶ

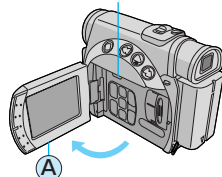
● 早送りボタン（早送り）または巻戻しボタン（巻戻し）を押すと、ナビインデックス画面のページを切り替えられます。
● 場面の選択をキャンセルするには、もう一度「ナビ」ボタンを押します。

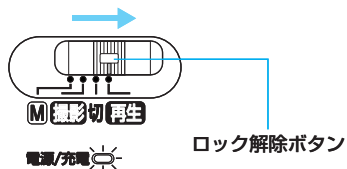
3 「決定」ボタンを押す

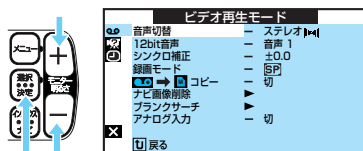
● 自動的に頭出しを行い、再生を開始します。
● 頭出しをキャンセルするには、ストップボタン（停止）または再生ボタン（再生）を押します。

● 記録した頭出しデータの位置と、頭出し再生したときの位置には、誤差がでることがあります。
● メモリーカード内の「NAVI」フォルダを、パソコンを使ってほかのメモリーカードにコピーしても、コピーしたメモリーカードでは頭出しはできません。

頭出しデータを削除する

1 液晶画面を開き、ビデオ/メモリースイッチを「ビデオ」の位置に合わせる

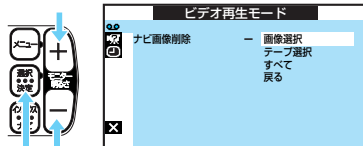
● Ⓐの部分に指をかけて液晶画面を開いてください。

2 ロック解除ボタンを押しながら電源スイッチを「再生」に合わせて、「メニュー」ボタンを押す

● メニュー画面が表示されます。

3 「+」・「−」ボタンを押して「📼」を選び、「決定」ボタンを押す

● ビデオ再生モードメニューが表示されます。

4 「+」・「−」ボタンを押して「ナビ画像削除」を選び、「決定」ボタンを押す

5 「+」・「−」ボタンで「画像選択」を選び、「決定」ボタンを押す

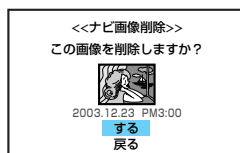
● 削除画面が表示されます。

・「画像選択」のかわりに「テープ選択」を選ぶと、同じビデオテープから作成したデータをすべて削除できます。

次ページへつづく

頭出しをする（DVナビ）

6 早送りボタン（早送り）または巻戻しボタン（巻戻し）を押して、削除する画像を選択する

7 「＋」・「－」ボタンで「する」を選び、「決定」ボタンを押す

- 選択した画像のデータが削除されます。

8 他のデータも削除したいときは、手順 6 ～ 7 を繰り返す

9 「戻る」が選ばれていることを確認して、「決定」ボタンを4回押す

- 再生画面に戻ります。

すべての頭出しデータを削除したいときは

手順 5 で「すべて」を選びます。表示された画面で「する」を選んで「決定」ボタンを押すと、メモリーカードの中にあるすべての頭出しデータが削除されます。

ご注意

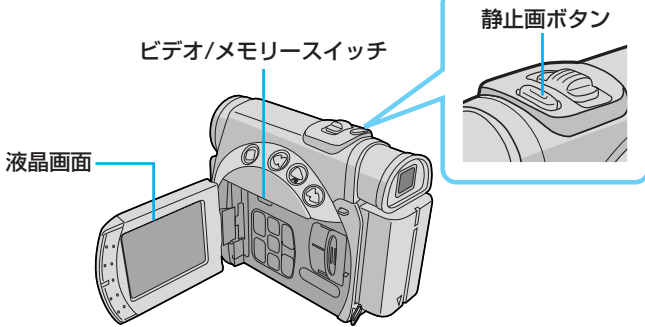
- SDカードのライトプロテクトスイッチを「LOCK」の位置に合わせていると、頭出しデータを削除できません。
- 削除中はメモリーカードを取り出したり、電源を切らないでください。故障の原因となることがあります。また、ACアダプターをお使いになることをおすすめします。途中でバッテリーがなくなると、故障の原因となることがあります。
- 削除した頭出しデータは元に戻せません。間違えて削除した場合は「好きな場面を選んで記録する」（☞94ページ）の手順でもう一度設定してください。

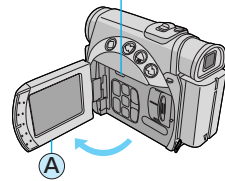
デジタルカメラ

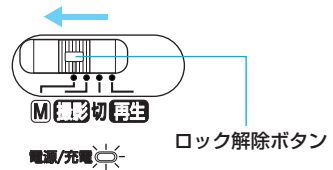
デジタルカメラ機能で、メモリーカードに静止画や動画を記録したり、再生して楽しむことができます。

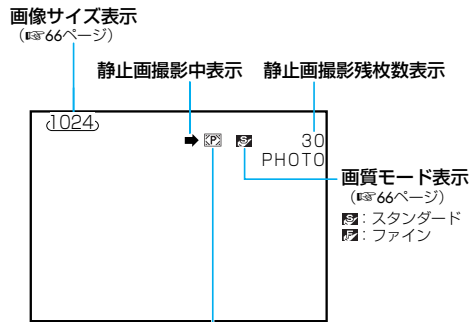
ページ

メモリーカードに静止画を撮る

本機をデジタルカメラとして使用することができます。撮影するとメモリーカードに静止画が記録されます。

1 液晶画面を開き、ビデオ／メモリースイッチを「メモリー」に合わせる

● Ⓐの部分に指をかけて液晶画面を開いてください。

2 ロック解除ボタンを押しながら電源スイッチを「Ⓜ」または「撮影」に合わせる

● 電源／充電ランプが点灯して電源が入ります。

静止画ボタンを押す

- フルモードで静止画が記録されます。
- 記録中は➡が点滅します。
- 画面に「⚡」が表示されているときは、フラッシュが発光します。(☞128ページ)

カード表示
: 静止画撮影中に表示します。
: カードが入っていないと点滅します。
• カード情報を読み込んでいるときは、黄色く点滅します。

● 撮影可能枚数の目安は

画像サイズ	画質モード	マルチメディアカード		SD メモリーカード			
		16MB(別売)	32MB(市販)	8MB(付属)	16MB(市販)	32MB(市販)	64MB(市販)
640×480	ファイン	約105枚	約215枚	約47枚	約95枚	約205枚	約425枚
	スタンダード	約320枚	約645枚	約160枚	約295枚	約625枚	約1285枚
1024×768	ファイン	約50枚	約100枚	約21枚	約47枚	約95枚	約200枚
	スタンダード	約160枚	約320枚	約65枚	約145枚	約310枚	約640枚
1280×960	ファイン	約32枚	約60枚	約13枚	約29枚	約60枚	約125枚
	スタンダード	約105枚	約215枚	約45枚	約95枚	約205枚	約425枚
1600×1200	ファイン	約21枚	約42枚	約8枚	約19枚	約41枚	約80枚
	スタンダード	約65枚	約135枚	約28枚	約60枚	約130枚	約275枚

● 演出効果を設定していても静止画撮影時に働かないものがあります。

このようなときは、演出効果アイコンが点滅してお知らせします。

● 記録された静止画像ファイルは

DCF (Design rule for Camera File system)に対応しています。DCF対応していない機器とは互換性がありません。

● SDメモリーカードについて

大切な画像を消してしまわないように、メモリーカードへ記録できなくすること（ライトプロテクト）ができます。ライトプロテクトをかけるには、メモリーカード側面のスイッチを「LOCK」の位置に合わせてください（スイッチを戻すと、再び記録できます）。

● 画質／サイズを変更したいときは（☞66ページ）

● 不要な静止画を削除したいときは（☞115ページ）

● 静止画撮影ができないときは

静止画ボタンを押したとき画面に「PHOTO」が点滅してお知らせします。または、メッセージ表示が出ます。

● 映像をズームしたいときは（☞73ページ）

● 逆光を補正したいときは（☞76ページ）

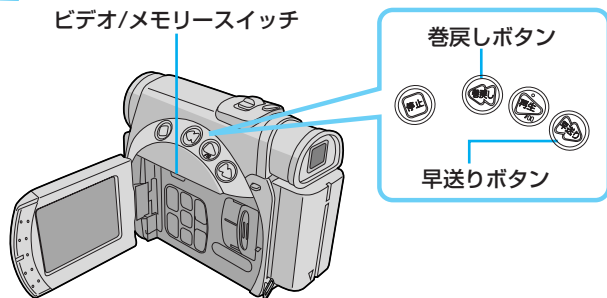
● バッテリー使用時に5分以上撮影を一時停止したときは

ビデオカメラの節電とテープ保護のため、自動的に電源が切れます。再び撮影したいときは、液晶画面を一度閉じて再び開いてください。または、ファインダーを一度入れ再び引き出してください。

● S/AV端子にコードが接続されているときは

「カシャ」音は出ません。

静止画を再生する

撮ったその場で静止画を確認することができます。

1 液晶画面を開き、ビデオ／メモリースイッチを「メモリー」に合わせる

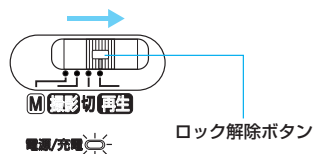
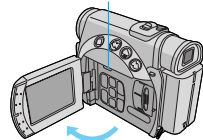
2 ロック解除ボタンを押しながら電源スイッチを「再生」に合わせる

- 電源／充電ランプが点灯し、電源が入ります。
- 静止画が表示されます。動画が再生されたときは（☞103ページ）

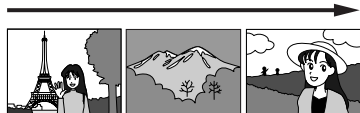
3 早送りボタン（再生）を押す

- 次の静止画が表示されます。

巻戻しボタン（巻戻し）を押す

- 前の静止画が表示されます。

静止画を1枚ずつ自動で再生するには（オートプレイ）

再生ボタン（再生）を押します

- 静止画が1枚ずつ自動で表示されます。
- オートプレイ中に巻戻しボタン（巻戻し）を押すと逆方向のオートプレイを実行します。
- 止めたいときには、停止ボタン（停止）を押します。

●本機に対応していない画像サイズの静止画を再生したときは

静止画が縮小されて表示されます。また、この静止画はパソコンに取り込めません。

●ズームして再生したいときは

ビデオテープ再生時のズーム再生と手順は同じです。（☞82ページ）

●DCF対応していない機器で記録された静止画を再生したときは

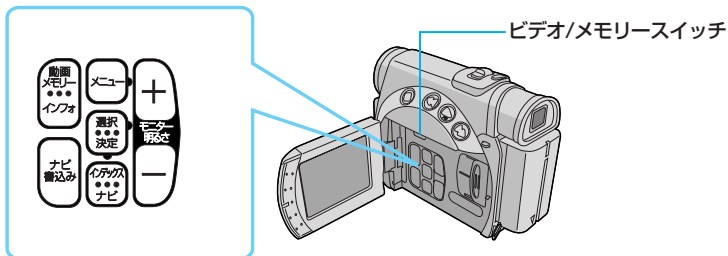
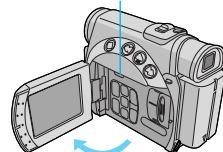
「未対応のファイルです。」と表示されます。

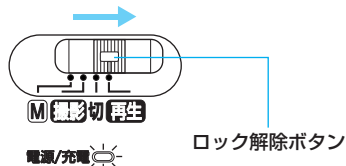
●テレビにつないで静止画を見たいときは

（☞80ページ）

再生するファイルの種類を選択する

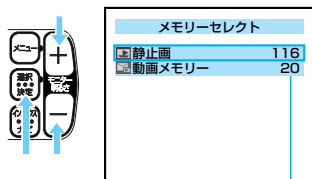
●再生したいファイル（種類）が表示されていないとき

メモリーカードの再生モードにすると、最後に再生されたファイルの種類（静止画、動画）が表示されます。再生したいものが表示されていないときは、以下の手順で選択します。

1 液晶画面を開き、ビデオ／メモリースイッチを「メモリー」に合わせる

2 ロック解除ボタンを押しながら電源スイッチを「再生」に合わせる

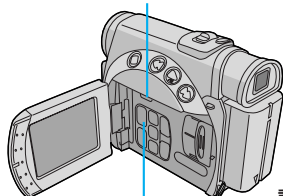
● 電源/充電ランプが点灯し、電源が入ります。

3 「選択」ボタンを押す

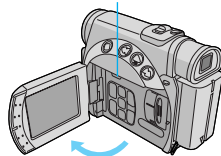
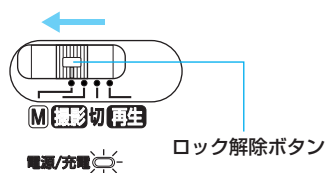
● メモリーセレクト画面が表示されます。画面の数字はそれぞれのファイル数を表示しています。

4 「＋」・「－」ボタンで再生したいファイルの種類を選び、「決定」ボタンを押す

● 選んだファイルの種類が表示されます。

メモリーカードに動画を撮る（動画メモリー）

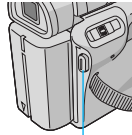
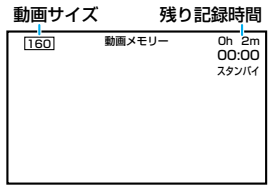
●動画をパソコンに取り込みメールに添付して送りたいときなど

160×120ドットのサイズで動画をメモリーカードに記録することができます。テープに記録した映像だけでなく、カメラ映像を直接記録することもできます。

カメラ映像を直接メモリーカードに記録する

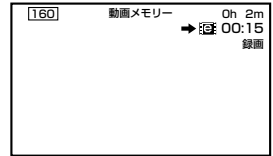
1 液晶画面を開き、ビデオ／メモリースイッチを「メモリー」に合わせる

2 ロック解除ボタンを押しながら電源スイッチを「撮影」または「M」に合わせる

3 「動画メモリー」ボタンを押す

- 画面に「動画メモリー」が表示され、動画メモリーモードになります。
- 動画メモリーモードを中止するには、再度動画メモリーボタンを押します。

❹ 撮影ボタンを押す

- 記録がはじまります。
  記録中は「→」表示が点滅します。
- 1回の最大記録時間は約3分です。

❺ 記録をやめるには、再度撮影ボタンを押す

- 画面に「保存中」と表示され、手順 ❸ の画面状態に戻ります。

撮影中の画面

❻ 動画メモリーモードを解除するには、「動画メモリー」ボタンを押す

- 静止画の撮影モードに戻ります。

テープの映像をメモリーカードに記録する

❶ カセットテープを再生する

- 再生するには（☞78ページ）

❷ 「動画メモリー」ボタンを押す

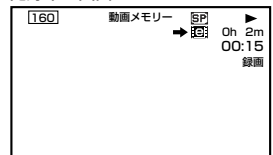
- 画面に「動画メモリー」が表示され、動画メモリーモードになります。
- 動画メモリーモードを中止するには、再度動画メモリーボタンを押すか、停止ボタン（停止）を押します。

❸ 記録を開始したい場面が表示されたら、撮影ボタンを押す

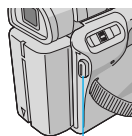
- 記録がはじまります。
  記録中は「→」表示が点滅します。
- 1回の最大記録時間は約3分です。

撮影ボタン

記録中の画面

次ページへつづく

メモリーカードに動画を撮る（動画メモリー）

4 記録をやめるには、再度撮影ボタンを押す

● 画面に「保存中」と表示され、手順 2 の画面状態に戻ります。

5 動画メモリーモードを解除するには、「動画メモリー」ボタンまたは停止ボタン (停止) を押す

● ビデオの再生モードに戻ります。

● 動画撮影（記録）可能時間の目安

動画サイズ	SDメモリーカード	
	8MB（付属）	16MB（別売）
160×120ドット	約7分	約15分

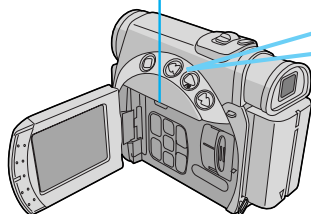
１回の最大記録可能時間は約3分です。

● 動画圧縮形式はMPEG4に対応しており、Windows　Media™ Player（Windows　版、Macintosh版ともにVer6.4以降)を使用して再生できます。詳しくは別冊のソフトウェア取扱説明書をご覧ください。
Windows　Media™ は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標です。
● メモリーカードには、タイムコードや日時表示などのメッセージ類は記録されません。
● テープの映像を記録するときに、映像を白黒やセピア色に変化させることもできます。
リモコンを使って演出効果を加えてください。（☞83ページ）

● 動画を再生したいときは（☞107ページ）
● 記録した動画をパソコンに取り込みたいときは（☞164ページ）
● １回の記録が3分を越えたときは
自動的に記録を終了します。
● メモリーカードの残り記録時間がなくなったときは
自動的に記録を終了します。
● カセットテープが終わりまでいったときは
自動的に記録を終了します。

動画を再生する

●パソコンに動画を取り込む前に確認したいときなど

メモリーカードに記録した動画を液晶画面またはファインダーで確認することができます。

1. 液晶画面を開き、ビデオ／メモリースイッチを「メモリー」に合わせる

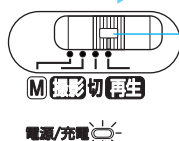
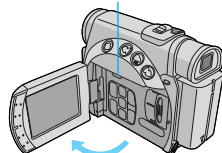
2. ロック解除ボタンを押しながら電源スイッチを「再生」に合わせる

3. 動画ファイルが表示されていないときは、メモリーセレクト画面で選択する

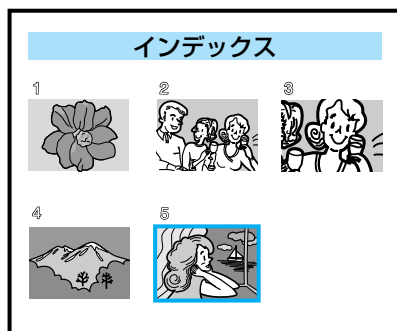
（☞103ページ）

4. 再生したい動画ファイルを選ぶ
   - 早送りボタン（早送り）を押すと、次のファイルが表示されます。巻戻しボタン（巻戻し）を押すと、前のファイルが表示されます。
   - インデックス画面で選ぶこともできます。（☞108ページ）

5. 再生/一時停止ボタン（再生）を押す

   - 動画ファイルが再生されます。途中で止めたいときには停止ボタン（停止）を押します。

メモリーカードの内容を一覧表示で見る（インデックス画面）

●見たい静止画／動画を探すとき

インデックス画面には「静止画」、「動画」の2つがあり、それぞれのファイルを一覧表示します。

1： ファイル番号

ファイル番号は記録された順に1、2、3‥‥というように付けられます。ファイルが1から10の10ファイルあるとき、2、4、6の3つのファイルを削除するとファイル番号は新しく付け直されて、1から7までの7つのファイルになります。

選択枠

ファイルを選ぶときは、「+」･「−」ボタンを押して、枠を選択したいファイルのところへ移動させます。
枠で囲まれたファイルが現在選択されているファイルです。

インデックス画面からファイルを選んで表示する（インデックス再生）

インデックス画面でファイルを選んでから「決定」ボタンを押せば、選んだファイルを表示することができます。

1 液晶画面を開き、ビデオ／メモリースイッチを「メモリー」に合わせる

2 電源スイッチを「再生」に合わせる

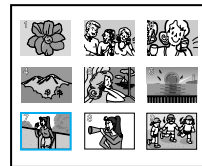
● 電源/充電ランプが点灯し、電源が入ります。

3 インデックス画面を表示したいファイルの種類を選ぶ

（☞103ページ）

4 「インデックス」ボタンを押す

● インデックス画面が表示されます。

● 巻戻しボタン（巻戻し）または早送りボタン（早送り）を押すと、ページ単位で表示を切り替えることができます。

5 「＋」・「－」ボタンで表示したいファイルを選び、「決定」ボタンを押す

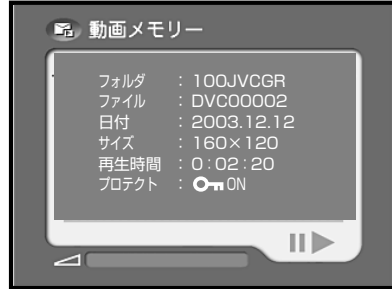
● 選択したファイルが表示されます。

ファイル情報を見る

●撮影した日付や画像サイズなどを確認したいとき

静止画または動画を表示しているときに、ファイル情報（日付や画像サイズなど）を確認することができます。

静止画のファイル情報

動画のファイル情報

フォルダ	：	メモリーカード内のフォルダ名が表示されます。
ファイル	：	ファイル名が表示されます
日付	：	撮影した日付、またはファイルを作成した日付が表示されます。
サイズ	：	画像サイズが表示されます。（☞66ページ）
画質（静止画のみ）	：	記録した静止画の画質が表示されます。（☞66ページ）
再生時間（動画のみ）	：	ファイルを再生したときの再生時間が表示されます。
プロテクト	：	ファイルにプロテクトをかける（間違って削除しないようにする）と、「ON」が表示されます（☞112ページ）

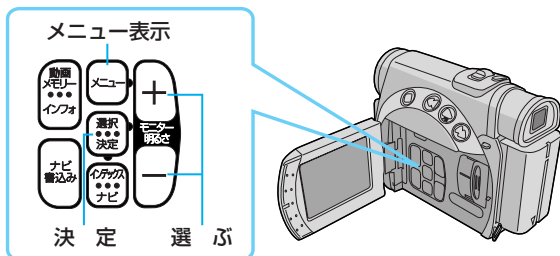
●他の機器で撮影された静止画などの画質は「－－－」と表示されることがあります。

ファイル情報を表示する

静止画、動画、またはインデックス画面が表示されているときに「インフォ」ボタンを押す

● ファイル情報が表示されます。
● 表示を消すには、再度、「インフォ」ボタンを押します。

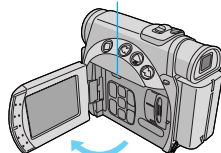
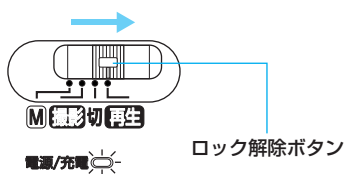
静止画の再生画面表示を変更する

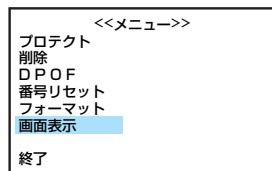
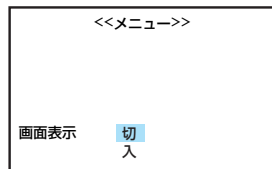
静止画の再生時に表示されるモード表示（ ）やバッテリー表示（ ）を消すことができます。

1 液晶画面を開き、ビデオ／メモリースイッチを「メモリー」に合わせる

ビデオ/メモリースイッチ

2 電源スイッチを「再生」に合わせる

● 静止画が表示されていないときは、静止画を表示させてください。（☞103ページ）

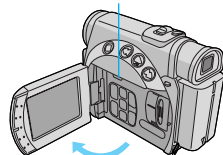
M 撮影 切 再生
電源/充電
ロック解除ボタン

3 「メニュー」ボタンを押す

4 「＋」・「－」ボタンで「画面表示」を選び、「決定」ボタンを押す

5 「＋」・「－」ボタンで「切」を選び、「決定」ボタンを押す

ファイルを削除できないようにする（プロテクト）

●大切なファイルを削除したくないとき

間違えて削除しないように、大切なファイルにはプロテクトをかけることをおすすめします。プロテクトをかけたファイルは削除されません。メモリーカードに保存されている静止画、動画のそれぞれにプロテクトをかけることができます。ここでは、静止画にプロテクトをかける方法を例にとって説明します。

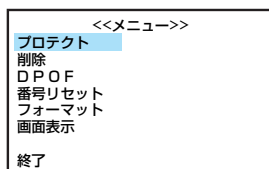
ファイルにプロテクトをかける

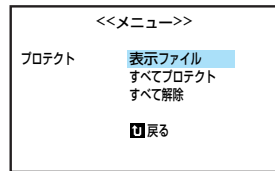
1 液晶画面を開き、ビデオ／メモリースイッチを「メモリー」に合わせる

2 電源スイッチを「再生」に合わせる

- 静止画が表示されていないときは、静止画を表示させてください。（☞103ページ）
- 動画にプロテクトをかけたいときは、動画を表示させてください。（☞103ページ）

3 「メニュー」ボタンを押す

4 「＋」・「－」ボタンで「プロテクト」を選び、「決定」ボタンを押す

- 「表示ファイル」「すべてプロテクト」「すべて解除」が表示されます。

5 「＋」・「－」ボタンで「表示ファイル」を選び、「決定」ボタンを押す

● プロテクト画面が表示されます。

6 「巻戻し」または「早送り」を押してプロテクトをかけるファイルを選ぶ

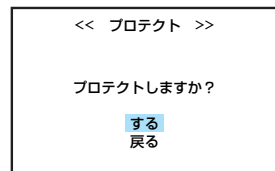
7 「＋」・「－」ボタンで「する」を選び、「決定」ボタンを押す

● ファイルがプロテクトされ、画面中央に「O┳」マークが表示されます。

● 他のファイルもプロテクトをかけたいときは、手順 6 ～ 7 を繰り返します。

<< プロテクト >>

プロテクトしますか？

する
戻る

8 「決定」ボタンを3回押す

● 再生画面に戻ります。

すべてのファイルをプロテクトしたいときは

手順 5 で「すべてプロテクト」を選び、「決定」ボタンを押します。表示された画面で「する」を選び、「決定」ボタンを押すと、すべてのファイルがプロテクトされます。

ご注意

● SDカードのライトプロテクトスイッチを「LOCK」の位置に合わせていると、ファイルのプロテクトをはずすことはできません。

● ファイルにプロテクトをかけていても、フォーマットした場合は削除されます。必要なファイルはパソコンに転送して保存してください。

ファイルを削除できないようにする（プロテクト）

ファイルのプロテクトをはずす

1 112ページの手順1〜5を行う

● プロテクト画面が表示されます。

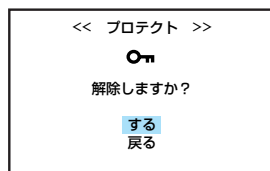
2 プロテクトをはずしたいファイルを選んでから、「＋」・「－」ボタンで「する」を選び、「決定」ボタンを押す

● 画面中央の「 」マークが消えます。

● 他のファイルもプロテクトをはずしたいときは、手順2を繰り返します。

<< プロテクト >>

解除しますか？

する
戻る

3 「決定」ボタンを3回押す

● 再生画面に戻ります。

すべてのファイルのプロテクトをはずしたいときは

113ページの手順5で「すべて解除」を選び、「決定」ボタンを押します。表示された画面で「する」を選び、「決定」ボタンを押すと、すべてのファイルのプロテクトがはずれます。

ご注意

● SDカードのライトプロテクトスイッチを「LOCK」の位置に合わせていると、ファイルのプロテクトをはずすことはできません。

ファイルを削除する

●不要なファイルを削除したいとき

メモリーカードに空きがなくなると静止画や動画を撮れなくなります。不要なファイルを削除してください。メモリーカードに保存されている静止画、動画のそれぞれを削除することができます。ここでは、静止画を削除する方法を例にとって説明します。

ファイルを選択して削除する

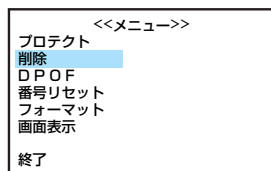
1 液晶画面を開き、ビデオ／メモリースイッチを「メモリー」に合わせる

2 電源スイッチを「再生」に合わせる

- 静止画が表示されていないときは、静止画を表示させてください。（☞103ページ）
- 動画を削除したいときは、動画を表示させてください。（☞103ページ）

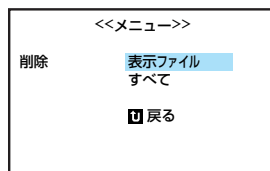
3 「メニュー」ボタンを押す

4 「＋」・「－」ボタンで「削除」を選び、「決定」ボタンを押す

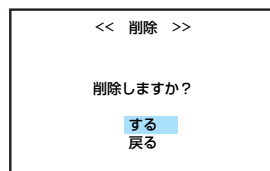
- 「表示ファイル」「すべて」が表示されます。

次ページへつづく

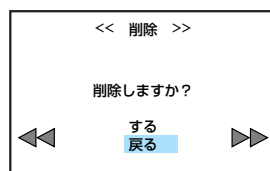
ファイルを削除する

5 **「＋」・「－」ボタンで「表示ファイル」を選び、「決定」ボタンを押す**

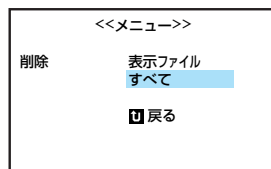
● 削除画面が表示されます。

6 **「巻戻し」または「早送り」を押して削除したいファイルを表示する**

7 **「＋」・「－」ボタンで「する」を選び、「決定」ボタンを押す**

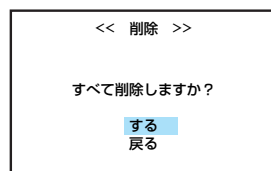
● 表示されているファイルが削除されます。
● 他のファイルも削除したいときは、 手順6～7を繰り返します。

8 **ファイルの削除を終了するときは、「戻る」が選ばれていることを確認して、「決定」ボタンを3回押す**

● 再生画面に戻ります。

すべてのファイルを削除する

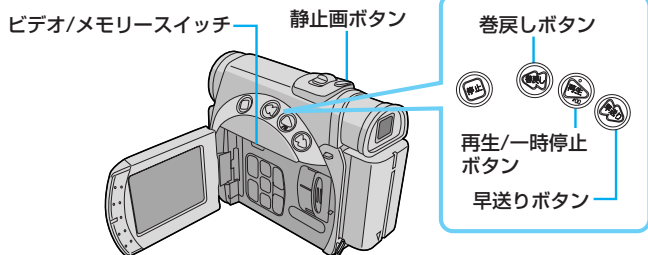
1 「ファイルを選択して削除する」（☞116ページ）の手順 5 で「すべて」を選び、「決定」ボタンを押す

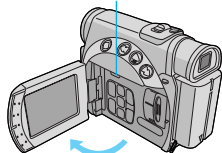
● 削除画面が表示されます。

2 「＋」・「－」ボタンで「する」を選び、「決定」ボタンを押す

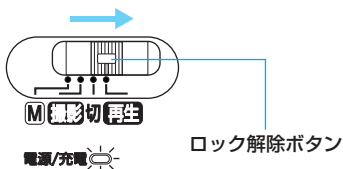
● 削除をやめるには「戻る」を選びます。
● ファイルがすべて削除されます。

ご注意

● SDカードのライトプロテクトスイッチを「LOCK」の位置に合わせていると、ファイルは削除できません。
● プロテクトしたファイルは、上記の操作で削除されません（☞112ページ）。
プロテクトしたファイルを削除するには、あらかじめプロテクトを解除しておきます（☞114ページ）。
● 削除中はメモリーカードを取り出したり、電源を切らないでください。故障などの原因となることがあります。
また、ACアダプターをお使いください。途中でバッテリーがなくなると、故障の原因となります。
● 削除したファイルは元に戻せません。削除する前に内容を確認してください。

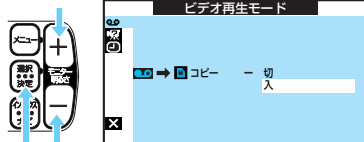
テープからメモリーカードへコピーする

●テープに撮った映像を静止画としてパソコンへ取り込みたいとき

1 液晶画面を開き、ビデオ／メモリースイッチを「ビデオ」に合わせる

ビデオ/メモリースイッチ

2 電源スイッチを「再生」に合わせる

● 電源/充電ランプが点灯し、電源が入ります。

3 「メニュー」ボタンを押してメニューを表示させ、「決定」ボタンを押す

4 「＋」・「−」ボタンで「📼➡Ⓜコピー」を選び、「決定」ボタンを押す

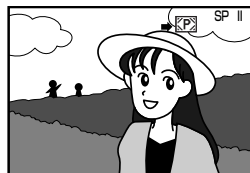
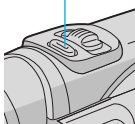
5 「＋」・「－」ボタンで「入」を選び、「決定」ボタンを押す

6 「決定」ボタンを2回押す

● 再生画面に戻ります。

7 「再生」、「早送り」、「巻戻し」でコピーしたい画像を探す

8 コピーする画像が見つかったら「再生」を押して再生一時停止にする

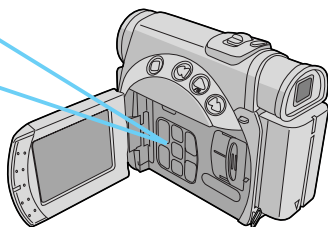
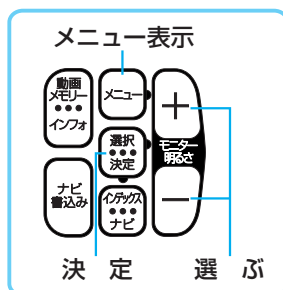
9 静止画ボタンを押す

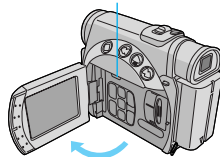
● 選んだ画像がメモリーカードに640×480ドットでコピーされます。
● コピー中は「➡」表示が点滅します。

● 「メモリーカードへ記録できません」と表示されたときは（☞54ページ）

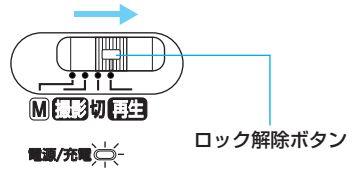
● コピーをするときの静止画（記念写真）モードを選ぶことができます。記念写真モードについては（☞168ページ）

プリント情報を設定する（DPOF設定）

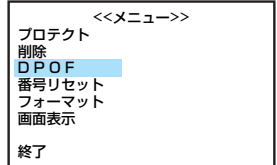
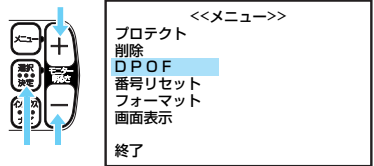
●静止画を自動プリントしたいとき

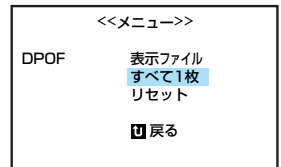
自動プリントするための情報を記録するDPOF（Digital Print Order Format）規格に対応しています。
DPOF設定で自動プリントの指定ができるのは、メモリーカードに記録された静止画のみです。ビデオの映像をDPOF設定によってプリントしたいときは、プリントしたい場面をあらかじめ静止画としてメモリーカードにコピーしておきます（☞118ページ）。

すべての静止画を1枚ずつプリントするよう設定する

1 液晶画面を開き、ビデオ／メモリースイッチを「メモリー」に合わせる

電源スイッチを「再生」に合わせる

- 静止画が表示されていないときは、静止画を表示させてください。(☞103ページ)

3 「メニュー」ボタンを押す

4 「+」・「−」ボタンで「DPOF」を選び、「決定」ボタンを押す

- 「表示ファイル」「すべて1枚」「リセット」などが表示されます。

5 「+」・「−」ボタンで「すべて1枚」を選び、「決定」ボタンを押す

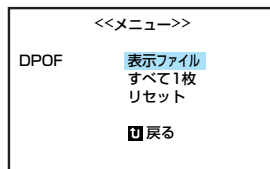
- DPOF画面が表示されます。

6 「+」・「−」ボタンで「する」を選び、「決定」ボタンを押す

- 再生画面に戻ります。

プリント情報を設定する（DPOF設定）

静止画とプリント枚数を選んで設定する

1 「すべての静止画を1枚ずつプリントするよう設定する」（☞121ページ）の手順5で「表示ファイル」を選び、「決定」ボタンを押す

- DPOF画面が表示されます。

2 「巻戻し」または「早送り」ボタンを押して、プリントしたい静止画を選ぶ

3 「＋」・「－」ボタンで「00」を選び、「決定」ボタンを押す

- 枚数設定を変更できるようになります。
- すでに枚数が設定されている場合は、「00」のかわりに設定されている枚数が表示されています。

4 「＋」・「－」ボタンで枚数を設定し、「決定」ボタンを押す

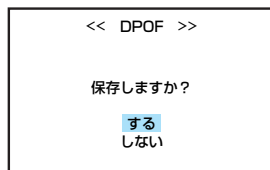
- 最大15枚まで設定できます。

5 他の静止画も設定したいときは、手順2～4を繰り返す

「戻る」が選ばれていることを確認して、「決定」ボタンを押す

- 設定の保存を確認する画面が表示されます。

「＋」・「－」ボタンで「する」を選び、「決定」ボタンを押す

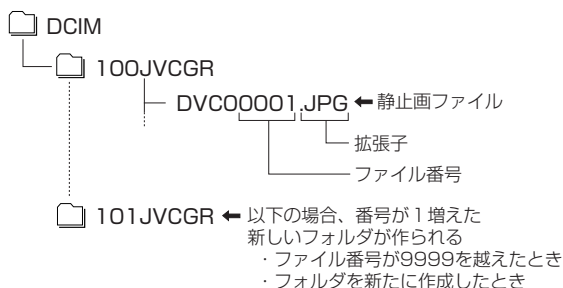
- 設定が保存され、再生画面に戻ります。

枚数をすべて0枚に戻すには

「すべての静止画を１枚ずつプリントするよう設定する」の手順 5 で「リセット」を選んでください。すべての静止画が0枚に設定されます。

ご注意

- 操作中は電源を抜かないでください。静止画像ファイルが壊れます。安全のため、DPOF設定の実行中は電源スイッチを含むすべてのボタンが働きません。
- SDカードのライトプロテクトスイッチを「LOCK」の位置に合わせていると、DPOF設定を実行することはできません。
- DPOF対応プリンターを使用する場合、上記の操作をしたメモリーカードを入れると選択した静止画だけを自動的に印刷できます。
- テープの映像を印刷するには、あらかじめメモリーカードへコピーしてください（☞118ページ）。

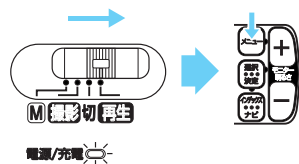
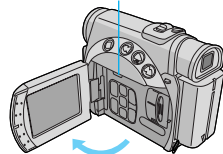
静止画や動画のファイル名をリセットする

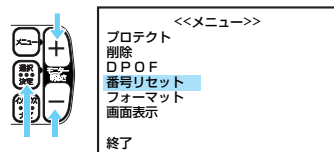
静止画や動画は、撮影した順に「0001」から「9999」までの番号を持ったファイル名がつけられます。リセットを行うと、新たにフォルダを作成し、その中に「0001」から始まるファイル名をつけて保存するようになります。例えば、これまでの静止画とこれから撮影する静止画の区別をつけやすくしたいときに便利です。

- 動画は「DCVI」フォルダの「100JVCGR」フォルダに「.ASF」という拡張子で保存されます。ファイル名やフォルダ名やのつけかたは静止画と同じです。
- 途中の番号の静止画や動画を削除したときは、その番号は使用されません。
  撮影した最新の静止画や動画は、つねにフォルダ内で一番大きな番号を持ったファイル名がつけられます。

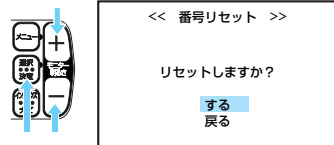
1 液晶画面を開き、ビデオ／メモリースイッチを「メモリー」に合わせる

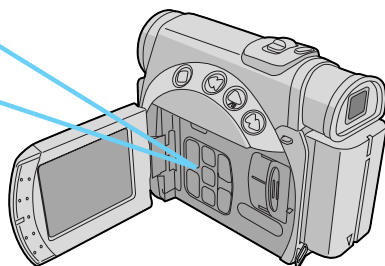
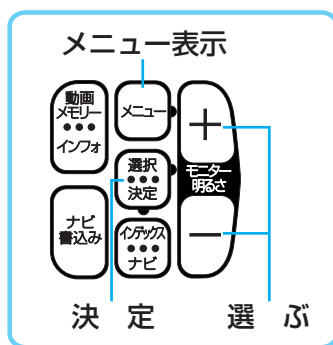
2 電源スイッチを「再生」に合わせ、「メニュー」ボタンを押す

- 静止画のファイル名をリセットしたいときは静止画を、動画の場合は動画を表示させてください。

（☞ 103ページ）

3 「＋」・「－」ボタンで「番号リセット」を選び、「決定」ボタンを押す

- 番号リセット画面が表示されます。

4 「＋」・「－」ボタンで「する」を選び、「決定」ボタンを押す

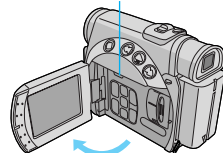
- 再生画面に戻ります。

メモリーカードを初期化する（フォーマット）

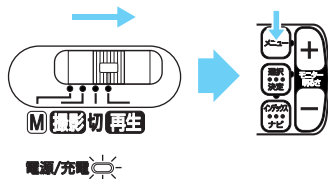
万一、一部のファイルが読み書きできなくなったなどの不具合が生じた場合は、メモリーカードをフォーマットすることで機能を回復できることがあります。通常、メモリーカードのフォーマットは不要ですが、どうしてもフォーマットする必要が生じた場合や新たに購入したメモリーカードを使用する場合は、下記の手順で行ってください。
フォーマットするとメモリーカード内のファイルはすべて消去されます。

1 ACアダプターを取り付ける

● ACアダプターを取り付けるには（☞60ページ）

2 保存したいファイルがあればコピーする

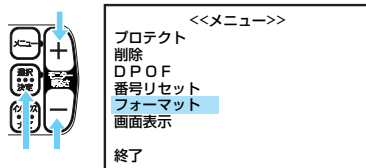
● パソコンにファイルを取り込むには（☞164ページ）
● ファイルが壊れているときは、コピーできないこともあります。

3 液晶画面を開き、ビデオ／メモリースイッチを「メモリー」に合わせる

次ページへつづく

4 電源スイッチを「再生」に合わせ、「メニュー」ボタンを押す

5 「＋」・「－」ボタンで「フォーマット」を選び、「決定」ボタンを押す

● フォーマット画面が表示されます。

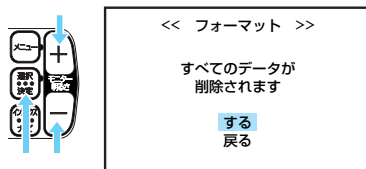
<<メニュー>>
プロテクト
削除
DPOF
番号リセット
フォーマット
画面表示

終了

6 「＋」・「－」ボタンで「する」を選び、「決定」ボタンを押す

● メモリーカードがフォーマットされます。フォーマットが終了すると、再生画面に戻ります。
● フォーマットをやめるには「戻る」を選びます。

<<　フォーマット　>>

すべてのデータが
削除されます

する
戻る

ご注意

● フォーマット中は電源を切ったり、ほかの操作をしないでください。故障の原因となります。
● ファイルにプロテクトをかけていても、フォーマットした場合は消去されます。必要なファイルはパソコンに転送して保存してください。
● SDカードのライトプロテクトスイッチを「LOCK」の位置に合わせていると、フォーマットすることはできません

● メモリーカードは精密機器です（☞183ページ）。フォーマットしても、メモリーカードの機能が回復しない場合は、新しいメモリーカードを購入してください。

手動（マニュアル）

電源スイッチを「Ⓜ（マニュアル）」に設定すると、マニュアル撮影ができます。手動でピントを合わせたり、明るさや白バランスの調整をしたいときに便利です。
また、映像に変化をつける「場面切替」や「演出効果（プログラムAE）」など、ワンランク上のテクニックが楽しめます。

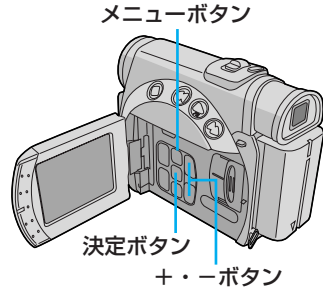
5

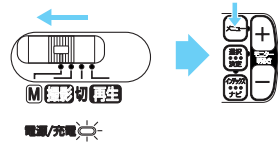
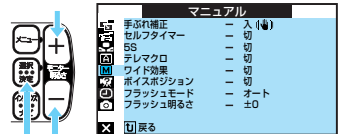
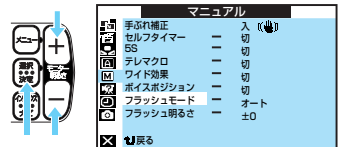
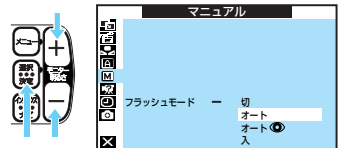
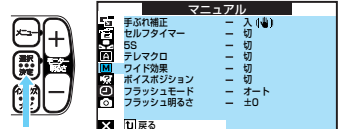
ページ

フラッシュの設定を変更する

●静止画撮影時にフラッシュを必ず発光させたいときなど

フラッシュの設定には、4 種類のモードがあります。

切　　　　：フラッシュが発光しません。
オート　　：周りが暗いときに自動的に発光します。通常はこのモードに設定します。
オート👁　：被写体の目が赤く撮影されるのを抑えます。（赤目軽減）
入　　　　：フラッシュが必ず発光します。

電源スイッチを「撮影」に合わせたときは、自動的に「オート」の設定になります。電源スイッチを「M」に合わせたときは、4種類のモードから選択することができます。フラッシュを必ず発光させたいとき、または発光させたくないときなど、必要に応じて設定を変更してください。

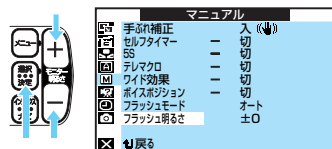
1 電源スイッチを「M」に合わせ、「メニュー」ボタンを押す

2 「＋」・「－」ボタンで「M」を選び、「決定」ボタンを押す

3 「＋」・「－」ボタンで「フラッシュモード」を選び、「決定」ボタンを押す

4 「＋」・「－」ボタンでお好みのモードを選び、「決定」ボタンを押す

5 「決定」ボタンを2回押す

● 撮影画面に戻ります。

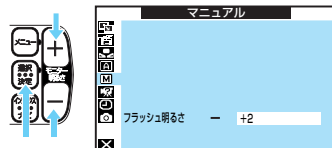
フラッシュの明るさを調整する

静止画を撮影していて、フラッシュが明るすぎたり暗すぎたときは、次の手順で明るさを調整してください。

1 128ページの手順1～2を行う

128ページの手順1～2を行う

2 「＋」・「－」ボタンで「フラッシュ明るさ」を選び、「決定」ボタンを押す

3 「＋」・「－」ボタンで数値を選び、「決定」ボタンを押す

- ＋3（明るさ最大）～－3（明るさ最小）まで変更できます。

4 「決定」ボタンを2回押す

- 撮影画面に戻ります。

ご注意

- 至近距離では、フラッシュを人に向けて発光させないでください。

● 離れた被写体を撮影するときは

フラッシュの光で映像が白っぽくなるのを防ぐため、フラッシュ発光時にビデオカメラは自動的に画面を暗くして撮影します。そのため、フラッシュの光が届かないときは、静止画が逆に暗くなります。約2m以上離れた被写体を撮影するときは、フラッシュを「切」にしてください。

● ϟ が点滅しているときは

フラッシュの充電中です。このとき、画面にノイズがでることがありますが故障ではありません。充電には10秒ほどかかることがあります。

● フラッシュが発光しないときは

ナイトアイ設定中（☞ 141ページ）、ビデオ撮影中には、フラッシュは発光しません。

● オート👁 を設定しているときは

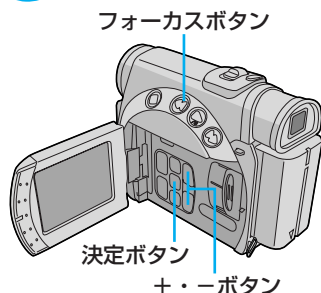
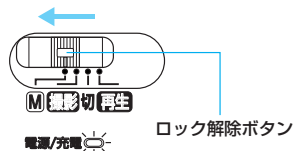
フラッシュが2度発光します。1度目は赤目軽減のため、2度目は撮影のために発光します。

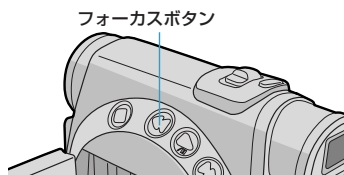
● 被写体や撮影場所が変わったときは

フラッシュの明るさを「±0」に設定し、フラッシュの明るさを確認してください。

ピントを手動で合わせる（マニュアルフォーカス）

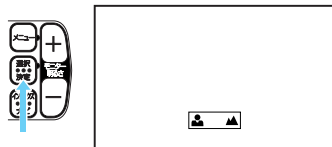
●ピントが合いにくいとき

オートフォーカスでは、約5センチから無限遠まで自動的にピントが合います。しかし、ピントが合いにくいときや被写体が画面中央にないときは、手動でピントを合わせてください。

1 電源スイッチを「Ⓜ」に合わせる

2 「フォーカス」ボタンを押す

3 「＋」・「－」ボタンを押してピントを合わせる

- ピントの調整モードになります。

4 「決定」ボタンを押す

- フォーカスが固定します。固定したピントを合わせ直したいときは、手順2からくり返します。

ピントをオートフォーカスに戻すには

- 手順2で「フォーカス」ボタンを2回押します。
- 電源スイッチを「撮影」に合わせてもオートフォーカスに切り替えることができます。

● こんなときに手動でピントを合わせます

・平らな壁や青空など、コントラスト（明暗差）のほとんどない被写体を撮るとき

・金網などの障害物が被写体との間にあるとき

・細かい模様や同じ模様が規則正しく並んでいる被写体を撮るとき

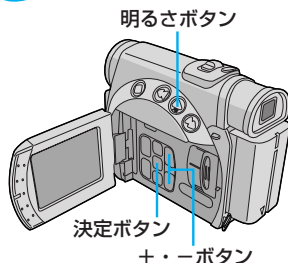
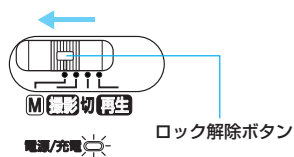
・蛍光灯などのちらつきのある光源の下で撮影するとき

画像の明るさを調整する（明るさ補正）

●逆光補正ボタン（☞76ページ）で補正できないとき
●スポットライト機能（☞138ページ）で補正できないとき

太陽が背景にあって被写体が暗くなったり、スポットライトなどがあたって被写体が明るくなりすぎるとき、逆光補正ボタンやスポットライト機能では補正しきれないことがあります。このようなときは、手動で明るさを調節してください。

❶ 電源スイッチを「M」に合わせる

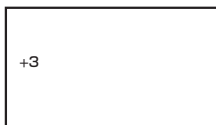
M 撮影 切 再生
電源/充電
ロック解除ボタン

❷ 「明るさ」ボタンを押す

❸ 「＋」・「－」ボタンで明るさを調節する

- 被写体を程よい明るさに調整します。
- 「＋3」は逆光補正ボタンと同じ効果です。
- 「－3」はスポットライト機能と同じ効果です。

＋ボタン：明るくする（＋6まで）
－ボタン：暗くする（－6まで）
+3

❹ 「決定」ボタンを押す

- 明るさの補正が固定されます。
  固定した明るさを合わせ直したいときは、手順❷からくり返します。

明るさを自動調節に戻すには

- 手順❷で「明るさ」ボタンを2回押します。
- 電源スイッチを「撮影」に合わせても自動調節に切り替えることができます。

● 一定の明るさで撮影するには

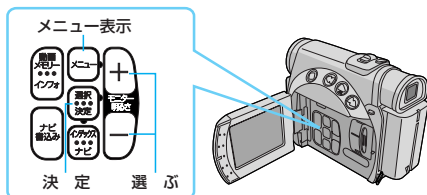
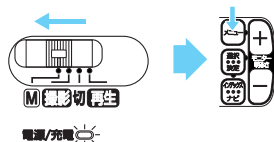
・手順❸のあと、「決定」ボタンを2秒以上押す。
明るさ調節表示の数字の横に L が表示されます。
・再度「決定」ボタンを押す。
明るさが固定されます。動きのある被写体や、ズーム操作を行うときなど画面上の被写体を一定の明るさにすることができます。

● 明るさ補正機能は

・逆光補正ボタン（☞76ページ）、スポットライト機能（☞138ページ）、スノー機能（☞138ページ）などとの併用はできません。

画像の色合いを調節する（白バランス）

●画像の色合いが不自然なとき

ビデオカメラは、通常、色のバランスを自動的に調節し、最も自然な色合いを再現します。ただし、天候やビデオライトなど光源の状態によって、自然な色合いを再現できないときは、手動で白バランスを設定してください。

❶ 電源スイッチを「M」に合わせ、「メニュー」ボタンを押す

❷ 「＋」・「－」ボタンで「 」を選び、「決定」ボタンを押す

● 白バランスメニューが表示されます。

❸ 「＋」・「－」ボタンでモードを選択し、「決定」ボタンを押す

次の5つのモードから選択できます。

- オート ……………… 自動的に色のバランスを調節します。フルオートモードでは「オート」に設定されています。
- ワンタッチ ……… あらかじめ被写体に合わせて設定しておいた色のバランスで撮影したいときに選択します。(☞133ページ)
- はれ ……………… 晴れた日に屋外で撮影するときに選択します。
- くもり …………… 曇りの日や日陰で撮影するときに選択します。
- ハロゲン ………… ビデオライトなどの照明を使用して撮影するときに選択します。

❹ 「決定」ボタンを押す

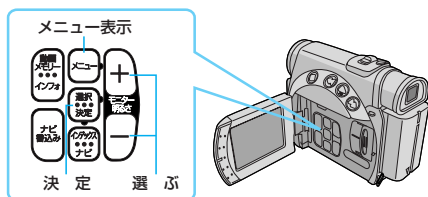
● 白バランスが固定されます。

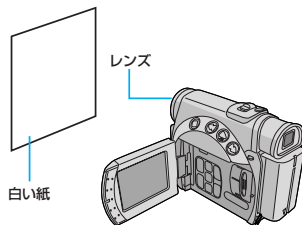
白バランスを自動調節に戻すには

● 手順❸で「オート」を選択します。

白バランスを正確に設定する

●自然な色で撮影したいとき

ビデオカメラに設定されている白バランスモードで撮影するより正しい色で撮影することができます。

❶ レンズの前に白い紙を置き、画面いっぱいに白い紙を映す

- ピントが合いにくいときは、マニュアルフォーカス（☞130ページ）であわせてください。
- 裏の透けない紙（コピー用紙など）をお使いください。

❷ 前ページ（☞132ページ）の手順❸で「ワンタッチ」を選ぶ

❸ 「」が点滅するまで「決定」ボタンを押し続ける

- 「」の点滅が止まったところの色のバランスが、ビデオカメラに記憶されます。

❹ 「決定」ボタンを2回押す

- 「」が表示されます。

● 設定した白バランスは

「ワンタッチ」に別の白バランスを設定するまで記憶されています。

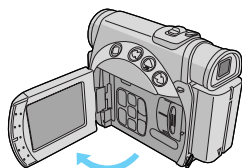
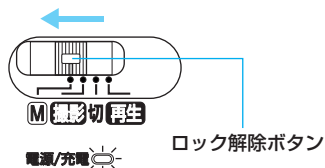
● 室内で撮影するときは

外光、蛍光灯、ロウソクの光など、いろいろな光源が被写体にあたります。自然な色合いで撮影したいときは白バランスを調節してください。

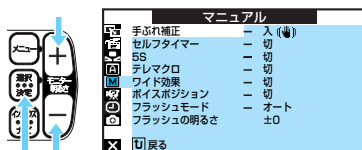
15秒後に撮影をスタートする（セルフタイマー）

撮影者も一緒に写りたいとき

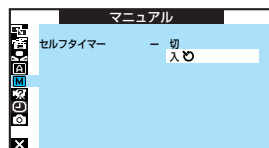
1 三脚などでビデオカメラを固定する

2 液晶画面を開く

3 電源スイッチを「M」の位置に合わせる

4 「メニュー」ボタンを押す

5 「＋」・「－」ボタンで「M」を選び、「決定」ボタンを押す

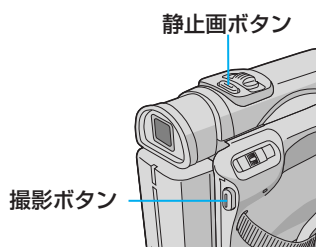
- マニュアルメニューが表示されます。

6 「＋」・「－」ボタンで「セルフタイマー」を選び、「決定」ボタンを押す

- 「切」と「入」が表示されます。

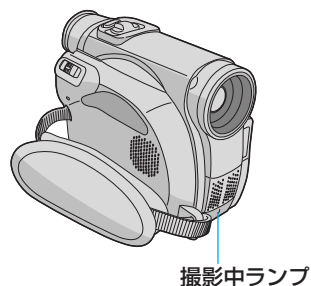
❼ 「＋」・「－」ボタンで「入」を選び、「決定」ボタンを押す

❽ 「決定」ボタンを2回押して撮影画面に戻る

- 画面にセルフタイマーマーク（ ）が表示されます。

❾ ボタンを押して、セルフタイマー撮影を開始する

- ビデオ → 撮影ボタン
- 静止画 → 「静止画」ボタン
- 撮影中ランプが点滅します。
- 撮影中ランプの点滅が速くなると、撮影がもうすぐ始まります。
- ランプ点灯 → ビデオの撮影開始
  → 静止画の撮影

❿ セルフタイマーを解除するには、手順❼で「切」を選ぶ

- 一時的に通常のフルオート撮影をするには、セルフタイマーを解除せずに電源スイッチを「撮影」に合わせます。この場合、電源スイッチを「M」に合わせると、ふたたびセルフタイマー撮影になります。

5 手動 セルフタイマー

撮影が始まるまでにセルフタイマーを止めるには

手順❾でボタンを押したあとでもう一度ボタンを押すと、撮影が開始される前にセルフタイマーが止まります。

- ビデオ → 撮影ボタン
- 静止画 → 「静止画」ボタン

- セルフタイマーで撮影ボタンまたは「静止画」ボタンを押してから撮影が始まるまでの時間は、約15秒間です。
- 撮影中ランプはシステムメニューの「タリー」が「切」になっていると点灯しません（☞ 172ページ）
- リモコンを使用すれば、撮影開始や停止の操作が、より手軽に行えます（☞ 56ページ）。
- 液晶画面を180度回転させると、撮影中の被写体を確認しながら撮影できて便利です。

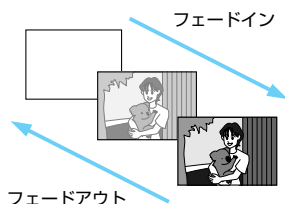
変化をつけて映像をつなぐ（場面切替）

●場面と場面のつなぎ目に変化をつけたいとき

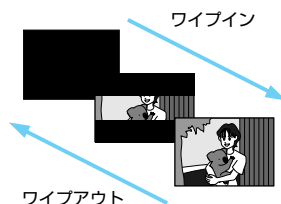
「白・黒画面で切替」を使ったときの効果

1）フェーダー効果

ビデオの撮り始めと撮り終わりをフェードイン、フェードアウトでつなぎます。

（例）白 白フェーダー

2）ワイプ効果

ビデオの撮り始めと撮り終わりをワイプイン、ワイプアウトでつなぎます。

（例）シャッターワイプ

場面切替には9種類の効果があります。

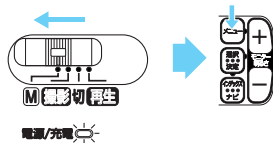
■白・黒画面で切替

アイコン	効　果
白 フェーダー：白	白い画面でフェードイン、フェードアウトします。
黒 フェーダー：黒	黒い画面でフェードイン、フェードアウトします。
白黒 フェーダー：白黒	白黒画面からカラー画面にフェードインし、カラー画面から白黒画面にフェードアウトします。
ワイプ：コーナー	黒い画面の右上から左下へ映像が徐々にワイプインし、左下から右上へワイプアウトします。
ワイプ：ウィンドウ	黒い画面の中心から映像が徐々にワイプインし、画面の中心へワイプアウトします。
ワイプ：スライド	黒い画面の右から左へ映像が徐々にワイプインし、左から右へワイプアウトします。
ワイプ：ドア	黒い画面の中央から映像が左右にドアを開けていくように徐々にワイプインし、閉めていくようにワイプアウトします。
ワイプ：スクロール	黒い画面から映像が下から上へ徐々にワイプインし、上から下へワイプアウトします。
ワイプ：シャッター	黒い画面の中央から映像が上下に徐々にワイプインし、上下から中央にワイプアウトします。

● アイコンが点滅しているとき、またはアイコンが表示されないときは、その機能は動作しません。（☞137ページ）

場面切替を設定する

1 電源スイッチを「M」に合わせ、「メニュー」ボタンを押す

● メニューが画面が表示されます。

2 「+」・「−」ボタンで「▣」を選び、「決定」ボタンを押す

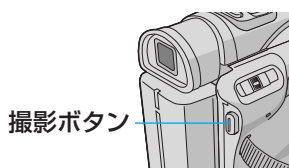
● 場面切替メニューが表示されます。

3 「+」・「−」ボタンでお好みの場面切替を選ぶ

4 「決定」ボタンを2回押す

● 選択した場面切替が設定され、画面に選択した場面切替のアイコンが表示されます。

5 撮影ボタンを押す

● 選択した場面切替でビデオを撮り始めます。
● もう一度撮影ボタンを押すと選択した場面切替でビデオを撮り終えます。

場面切替をやめたいときは

● 手順**3**で「切」を選択します。

● 場面切替設定とプログラムAE設定（☞138ページ）を一緒に使うと

さらに効果的なビデオ撮影をお楽しみいただけます。ただし、プログラムAE設定と一緒に使えない場面切替があります。
場面切替設定アイコンが点滅して、使えない機能であることをお知らせします。

映像に変化をつける（プログラムAE）

●映像そのものに変化をつけたいとき

プログラムAEの種類

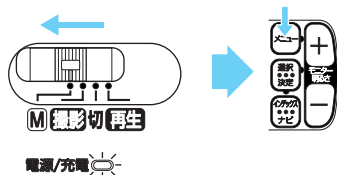
次にあげる11種類のプログラムAEを使って、映像に変化をつけて撮影できます。
設定のしたかは140ページをご覧ください。

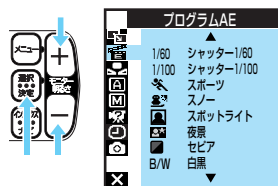
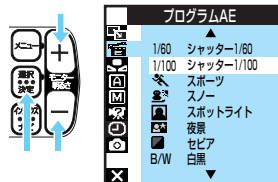
アイコン	機能名称	効　果
—	切	「プログラムAE」を使用しないときに選択します。
1/60	シャッター1/60	シャッタースピードを1/60に固定します。テレビ画面などを撮影するときに出る黒い帯は細くなります。
1/100	シャッター1/100	シャッタースピードを1/100に固定します。蛍光灯や水銀灯の光で撮影するときに出るちらつきは少なくなります。(50Hz地域のみ)
	スポーツ	被写体の明るさに合わせてシャッタースピードを1/250から1/4000まで自動的に調節して撮影します。スポーツをしている人物やモータースポーツなど、動きの速い被写体を1コマ1コマ鮮明に撮ることができます。
	スノー	晴れた日の雪原など周囲が明るい場所で撮影するときに、被写体を明るく補正することができます。効果としては「逆光補正」（☞76ページ）と同じですが、こちらの方がやや弱い効果になるので「逆光補正」では効果が強すぎる場合に便利です。
	スポットライト	スポットライトなどがあたって被写体（人物）が明るく写りすぎるときに、被写体を暗く補正することができます。
	夜景	夜景などを撮るとき、映像がザラザラせず、自然な感じで記録することができます。「白バランス」は ☀ になりますが、お好みの設定に変えることができます（☞ 132ページ）。ピントは、10m〜無限遠の間では自動的に合います。10m以内の間では手動で合わせてください。

アイコン	機能名称	効　果
	セピア	古い写真のようなセピア色で映像を記録します。「ワイド効果」の「ワイド」や「シネマ」（☞ 170ページ）と合わせて使うと、古い白黒映画のような雰囲気をお楽しみいただけます。
B/W	**白黒**	映像を白黒で記録します。「ワイド効果」の「ワイド」や「シネマ」と合わせて使うと、白黒映画のような雰囲気をお楽しみいただけます。
	映画効果	速いコマ落とし効果をつけて映像を記録します。 （ビデオモードのみ）
	ストロボ	コマ落としの効果で、連続写真のように記録します。 （ビデオモードのみ）
	ミラー	画面の左半分に通常の被写体が撮影され、右半分には左右反転した被写体が撮影されます。（ビデオモードのみ） 撮影時のビデオカメラの傾きに対応して、下図のように画像が傾きます。画像を平行にするには液晶画面、またはファインダーを確認しながら調整してください。 **ビデオカメラが傾いていないときの画像** **ビデオカメラが右に傾いているときの画像**

プログラムAEを設定する

1 電源スイッチを「Ⓜ」に合わせ、「メニュー」ボタンを押す

● メニューが画面が表示されます。

2 「＋」・「－」ボタンで「🎬」を選び、「決定」ボタンを押す

● プログラムAEメニューが表示されます。

3 「＋」・「－」ボタンでお好みのプログラムAEを選ぶ

4 「決定」ボタンを2回押す

● メニューを終了し、通常の撮影画面に戻ります。

プログラムAEをやめたいときは

手順**3**で「切」を選択します。

- 「切」が表示されるまで「+」・「－」ボタンを押してください。

● シャッターモードまたはスポーツモードを使うときは

シャッタースピードが速くなればなるほど画面が暗くなります。できるだけ明るい場所で撮影してください。

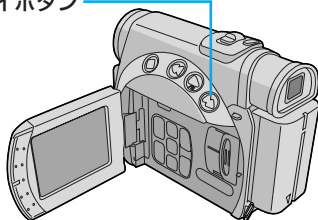
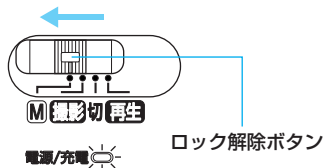
● プログラムAE設定と場面切替設定（☞ 136ページ）を一緒に使うと

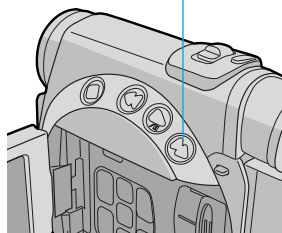
さらに効果的なビデオ撮影をお楽しみいただけます。ただし、場面切替設定と一緒に使えない演出効果があります。プログラムAE設定アイコンが点滅して、使えない機能であることをお知らせします。

暗い場所で撮影する（ナイトアイ）

●暗い場所の写りにくい被写体を撮影するとき

被写体の明るさに応じてビデオカメラがシャッタースピードを自動調節して、被写体を最大約30倍まで明るくさせて撮影することができます。照明を点灯させたくないときなどにお使いください。

操作はココ！

1 電源スイッチを「M」に合わせる

2 ナイトアイボタンを押す

- 「 」マークが表示されます。
- ナイトアイが働いているときは、「 」マークの横に「A」マークが表示されます。

ご注意

- ナイトアイ設定中は、働かない機能があります。この場合、その機能のアイコンが点滅、または表示されません。〔プログラムAEの一部（☞138ページ）、感度アップ（☞168ページ）、手振れ補正（☞170ページ）、フラッシュ（☞128ページ）〕
- 撮影した映像は、コマ落としの効果がついたようになります。
- ナイトアイが働いているときは、ピントが合いにくくなりますので三脚を使用することをおすすめします。
- ナイトアイ設定中でも被写体が明るいときは、「A」マークが表示されずナイトアイは働きません。

編集

撮影した映像をVHSテープにダビングして友人などに送ったり、ビデオカメラから他のDV機器にデジタルダビングすることもできます。
また、付属のリモコンを使えば、後からナレーションやBGMなどを入れるアフレコ編集や、タイトルなどを挿入するインサート編集などが楽しめます。

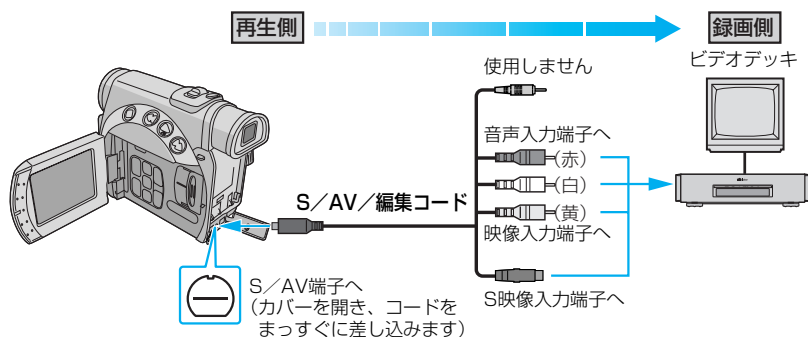
6

ページ

ダビングする

本機を再生側として使う

●ビデオデッキを使ってダビングしたいとき

S映像端子付きのビデオデッキを使ってダビングすると、より高画質の映像をダビングできます。

1 電源を入れない状態で

本機のS／AV端子とビデオデッキの映像／音声入力端子をS／AV編集コードで接続する

● ビデオデッキにS映像入力端子があるときは、この端子にも接続します。より高画質にダビングできます。

2 本機を再生し、ダビングしたいところで

ビデオデッキの録画ボタンを押す

● ダビングをやめるときは、ビデオデッキの停止ボタンを押してください。

● 画面の文字や表示を消すには

再生日時／表示メニューで、次のように設定してください。(☞173ページ)

・ 画面表示切替→「モニター」または「切」
・ 日時表示→「切」
・ タイムコード→「切」

● ご使用になるビデオデッキの取扱説明書もご覧ください。

本機を録画側として使う

●VHSテープなどからDVテープへダビングしたいとき

ビデオデッキなど、DV端子を持たないビデオ機器からビデオカメラへダビングできます。

1 電源を入れない状態で
本機のS／AV端子とビデオ機器の映像／音声出力端子をS／AV／編集コードで接続する
- ビデオ機器にS映像出力端子があるときは、この端子にも接続します。より高画質にダビングできます。

2 **テープへ記録する録画モード(SPまたはLP)を選ぶ（****☞64ページ）**

3 **ビデオ機器の電源を入れる**

4 **ビデオ/メモリースイッチを「ビデオ」に合わせ、電源スイッチを「再生」に合わせる**

5 **「メニュー」ボタンを押して、「決定」ボタンを押す**
- ビデオ再生モードメニューが表示されます

6 **「＋」・「－」ボタンで「アナログ入力」を選び、「決定」ボタンを押す**

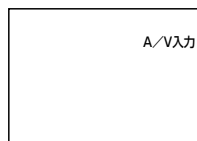
7 **「＋」・「－」ボタンで「A/V入力」または「S入力」を選び、「決定」ボタンを押す**
- ビデオ機器のS映像出力端子に接続したときは「S入力」、映像出力端子のときは「A／V入力」を選んでください

8 **「決定」ボタンを2回押す**
- 通常の画面に戻ります。

A／V入力

9 **撮影ボタンを押す**
- 録画一時停止状態になり、画面に「A／V入力」または「S入力」と表示されます。

10 ビデオ機器を再生し、ダビングしたいところで
撮影ボタンを押す
- 録画を開始し、表示が回転します。

11 **録画を止めたいときは、再度撮影ボタンを押す**
- 録画一時停止状態に戻り、表示の回転が停止します。

撮影ボタン

ご注意
- ダビング終了後は、手順7で「アナログ入力」の設定を「切」に戻してください。
「A／V入力」または「S入力」のまま再生すると、ご使用のビデオ機器やテープにより映像が乱れることがあります。また、画面に映像が表示されないことがあります。

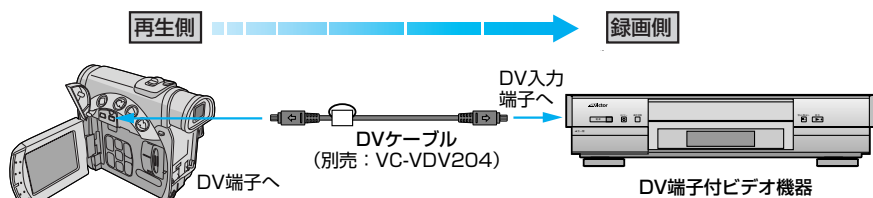
- アナログ信号がデジタル信号に変換されてテープに記録されます。
- 他のビデオカメラから本機へダビングすることもできます。

デジタルダビングする

本機を再生側として使う

●DV端子付きのビデオ機器へダビングしたいとき

デジタル信号でダビングするために画質や音質の劣化がほとんどありません。

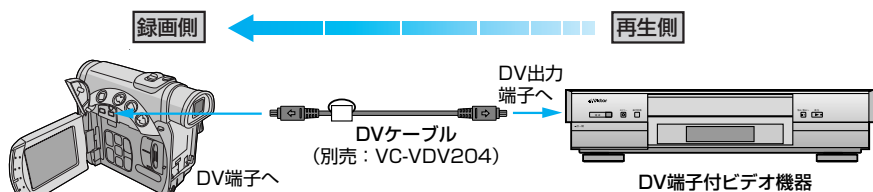
ご注意
- 本機の電源には,ACアダプターをお使いになることをおすすめいたします。

1 電源を入れない状態で
本機とDV端子付ビデオ機器を接続する
- DVケーブル（別売）で、本機のDV端子とDV端子付ビデオ機器のDV入力端子を接続してください。

2 本機を再生し、ダビングしたいところで
DV端子付ビデオ機器の録画ボタンを押す

- **再生側が映像の乱れた部分や無記録部分を再生すると**
  異常な映像が記録されたりダビングが停止することがあります。
- **日時表示は**
  撮影時に記録された日時表示が、本機から出力されます。
- **タイムコードは**
  録画側で新しく記録されます。本機からは出力されません。
- **再生時に「場面切替」「再生演出効果」「再生ズーム」「記念写真」を設定していても**
  DV出力端子からは、テープの通常再生映像（撮影時に記録された映像）のみ出力されます。

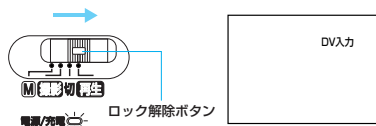
本機を録画側として使う

●DV端子付きのビデオ機器からダビングしたいとき

デジタル信号でダビングするために画質や音質の劣化がほとんどありません。

ご注意 ● 本機の電源には,ACアダプターをお使いになることをおすすめいたします。

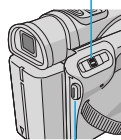
1 電源を入れない状態で
本機とDV端子付きのビデオ機器を接続する
● DVケーブル（別売）で本機のDV端子とDV端子付きビデオ機器のDV出力端子を接続してください。

2 **テープへ記録する録画モード(SPまたはLP)を選ぶ(☞64ページ)**

3 **ビデオ／メモリースイッチを「ビデオ」に合わせ、電源スイッチを「再生」に合わせる**

4 **ビデオ機器の電源を入れる**

5 **撮影ボタンを押す**
● 録画一時停止状態になり、画面に「DV入力」と表示されます。

6 DV端子付きビデオ機器を再生し、ダビングしたいところで
撮影ボタンを押す
● 録画を開始し、 表示が回転します。

7 **録画を止めたいときは、再度撮影ボタンを押す**
● 録画一時停止状態に戻り、 表示の回転が停止します。

● **再生側が映像の乱れた部分や無記録部分を再生すると**
異常な映像が記録されたり、ダビングが停止することがあります。

ビデオを自動で編集する（自動編集）

●好きな場面を選んでビデオデッキに自動でダビングしたいとき

撮影済みのビデオの中からお好きな場面を8場面まで選んで、ビデオデッキのテープに自動的にダビングすることができます。あらかじめアフレコ編集（☞158ページ）してあるビデオを編集すると、テレビドラマや映画のようなビデオを作成することができます。編集する場面と場面の間に場面切替効果（☞136ページ）を挿入したり、プログラムAE（☞138ページ）を使って映像そのものに変化をつけることもできます。自動編集は、ビデオカメラ、および付属のリモコン（☞56ページ）とご家庭のビデオデッキを接続して行います。

ビデオデッキのメーカーをリモコンに登録する

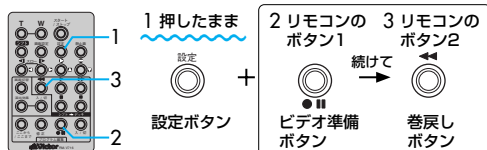
自動編集では、付属のリモコンを使用してご家庭のビデオデッキを操作します。ここでは、自動編集を行う前に、ご家庭のビデオデッキのメーカーをリモコンに登録する方法を説明します。ビデオデッキをリモコンに登録しておくと、自動編集以外でもリモコンでご家庭のビデオを操作できるようになります。

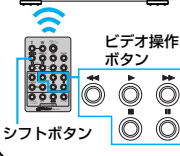
1 ビデオデッキの電源を切る

2 ご使用のビデオデッキの
メーカー名を確認する

3 設定ボタンを押したまま「メーカー別リモコン設定表」（次ページ）に対応したボタンを順番に押す

- ビデオデッキの電源が入れば設定終了です。
- 同じメーカーでも信号の種類は複数あります。
- 「リモコン信号①」でビデオデッキが反応しないときは、「リモコン信号②」「リモコン信号③」...の順でボタンを押してください。

例：ビクター（リモコン信号①）の場合

リモコン登録後のビデオの操作方法

シフトボタンを押したまま、ビデオ操作ボタンを押します。

リモコンメーカー設定表

メーカー名	リモコン信号	リモコンのボタン1	リモコンのボタン2
ビクター	①	●II（ビデオ準備）	◀◀（巻戻し）
	②	●II（ビデオ準備）	■（停止）
	③	●II（ビデオ準備）	（シフト）
アカイ	①	■（停止）	▶▶（早送り）
	②	■（停止）	▶（再生）
	③	（ここから/ここまで）	（ここから/ここまで）
サンヨー	①	■（停止）	▶（再生）
	②	（シフト）	II（一時停止）
	③	（シフト）	（プログラム編集入/切）
	④	（ここから/ここまで）	●II（ビデオ準備）
シャープ	①	◀◀（巻戻し）	II（一時停止）
	②	◀◀（巻戻し）	（プログラム編集入/切）
ソニー	①	■（停止）	II（一時停止）
	②	■（停止）	（プログラム編集入/切）
	③	（シフト）	●II（ビデオ準備）
	④	（シフト）	◀◀（巻戻し）
東芝	①	■（停止）	●II（ビデオ準備）
	②	■（停止）	◀◀（巻戻し）
NEC	①	（シフト）	（ここから/ここまで）
	②	（シフト）	（修正）
日立	①	■（停止）	■（停止）
	②	■（停止）	（シフト）
フナイ	①	（ここから/ここまで）	（シフト）
松下	①	◀◀（巻戻し）	（シフト）
	②	◀◀（巻戻し）	（ここから/ここまで）
	③	◀◀（巻戻し）	◀◀（巻戻し）
	④	●II（ビデオ準備）	▶（再生）
	⑤	◀◀（巻戻し）	（修正）
三菱	①	■（停止）	（ここから/ここまで）
	②	■（停止）	（修正）
LG	①	◀◀（巻戻し）	◀◀（巻戻し）
SAMSUNG	①	●II（ビデオ準備）	▶（再生）

● 乾電池の容量がなくなったときは
設定したビデオデッキのメーカー設定も消えてしまいます。乾電池を交換してメーカー設定をやり直してください。

● リモコンでビデオデッキを操作できないときは
機種によってはリモコンでのビデオデッキのメーカー設定ができないものや、特定のボタンだけ操作できないものもあります。ご了承ください。

ビデオを自動で編集する（自動編集）

好きな場面を選んでダビングする

操作はココ！

S／AV／
編集コード

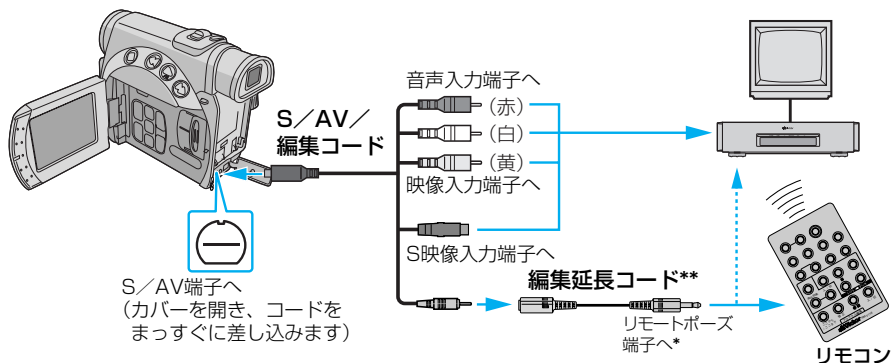
音声入力端子へ
（赤）
（白）
（黄）
映像入力端子へ

S映像入力端子へ

編集延長コード**

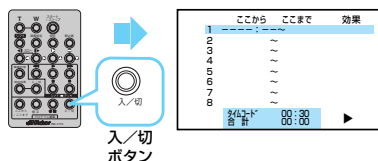
リモートポーズ
端子へ*

リモコン

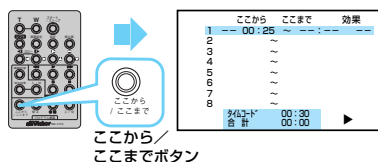
S／AV端子へ
（カバーを開き、コードを
まっすぐに差し込みます）

* ビクターのリモートポーズ端子付ビデオデッキをお使いのときは、編集（延長）コードをビデオデッキのリモートポーズ端子に接続します。このときリモコンは使用しません。それ以外の場合は、リモコンのリモートポーズ端子に接続します。
** 編集コードを延長したいときのみ編集延長コードを使用します。

1 リモコンをビデオカメラのリモコン受光部に向けてビデオカメラを再生し

自動編集の「入/切」ボタンを押す

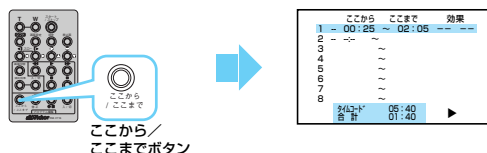
● 液晶画面に自動編集表示画面が表示されます。

2 編集を開始したい場面で

リモコンの「ここから/ここまで」ボタンを押す

● ビデオカメラの液晶画面やテレビに編集開始場面のタイムコードが表示されます。

● 場面の撮り始めに変化を付けたいときは（☞ 136ページ）

リモコンの場面切替ボタンを押します。ボタンを押すたびにカウンターの左側に表示される場面切替アイコンが変わります。利用したい場面切替アイコンが表示されるまでボタンを押してください。場面切替が設定されていないときは「－－」が表示されます。また、自動編集のみで使える場面切替もあります。154ページをご覧ください。

3 編集を終了したい場面で リモコンの「ここから/ここまで」ボタンを押す

● ビデオカメラの液晶画面やテレビに編集終了場面のタイムコードが表示されます。

● 場面の録り終わりに変化を付けたいときは（☞ 136ページ）

リモコンの場面切替ボタンを押します。ボタンを押すたびにカウンターの右側に表示される場面切替アイコンが変わります。利用したい場面切替アイコンが表示されるまでボタンをくり返し押してください。録り終わりの場面切替効果を決めると、次の編集開始映像が自動的に録り終わりの場面切替効果で始まります。また、場面の録り終わりで場面切替効果を使用すると、編集終了時点からフェードアウトやワイプアウトを行うため、その時間がビデオの編集時間に加算されます。ただし、デジタルダビングでは変化を付けることはできません。場面切替が設定されていないときは「－－」が表示されます。また、自動編集のみで使える場面切替もあります。154ページをご覧ください。

● 映像そのものに変化を付けたいときは（☞ 138ページ）

リモコンの演出効果ボタンを押します。ボタンを押すたびに「効果」の下に表示される演出効果アイコンが変わります。ただし、デジタルダビングでは変化を付けることはできません。また、「セピア」、「白黒」と「白黒フェーダー」の併用はできません。演出効果が設定されていないときは「－－」が表示されます。

4 手順2、3を繰り返して自動編集したい場面を登録する

6 編集 自動編集

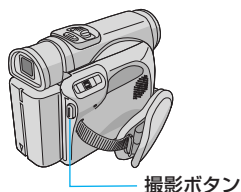
ビデオを自動で編集する（自動編集）

5 最初に登録した場面1の編集開始点の前までビデオカメラのテープを巻き戻し、ビデオカメラを再生一時停止する

6 ビデオデッキのリモコン受光部に向けて リモコンのビデオ準備ボタン（●II）を押す

- ビデオデッキが録画一時停止になります。一時停止にならないときは、手動でビデオデッキを操作して録画一時停止にしてください。

7 ビデオカメラの撮影ボタンを押す

- 自動編集が始まり、指定した場面を最後まで自動的にダビングします。ダビングが終了するとビデオカメラが一時停止し、ビデオデッキは録画一時停止状態になります。

8 ビデオカメラとビデオデッキを停止させ、編集を終了する

- **画面に表示されるメッセージを消して自動編集してください**
  テレビの画面に表示されるメッセージは、自動編集でもそのまま記録されます。メッセージを消してから自動編集してください。
  （☞86、88、173ページ）
  （自動編集表示は自動編集をスタートすると消え、ビデオには記録されません）。
- **各場面のタイムコードとタイムコードの合計時間は**
  編集開始場面と終了場面のタイムコードには1秒以下の数値（フレーム）が表示されないため、各場面のタイムコードの時間と合計時間が合わないことがあります。
- **ダビング中のリモコンの位置は**
  ビデオデッキのリモコン受光部に向けてください。障害物があるとうまくダビングできません。

● こんなときは自動編集できません

・同じタイムコード（☞89、83ページ）が2つ以上存在するテープでタイムコードを指定しても、どのタイムコードかわからないため誤動作することがあります。
・編集終了場面と開始場面までの早送り時間がビデオデッキの一時停止可能時間（当社の場合約5分以内）を超えるときは、自動編集できません
・リモコンのプログラム編集入/切ボタンを押して「切」にしたときは、自動編集に登録した内容すべてが消えてしまいます。
・編集開始場面や終了場面の前後に無記録部分があるときは、ブルーバック（青い画面）を記録してしまうことがあります。
・自動編集中にビデオカメラを操作すると、ビデオデッキが録画一時停止状態になり、自動編集を中止します。

● 自動編集の登録場面を修正したいときは

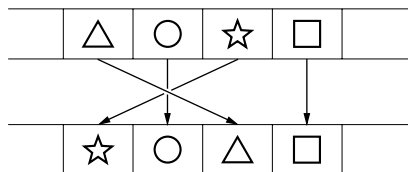
リモコンの「修正ボタン」を押します。ボタンを押すたびに最後から登録場面が消去されます。

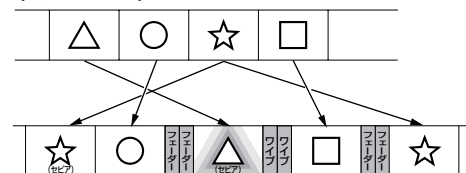
● 編集終了場面を決めずにダビングしたときは

ビデオの最後まで自動的にダビングします。

知っておきたい自動編集のしくみ

普通に自動編集したときは

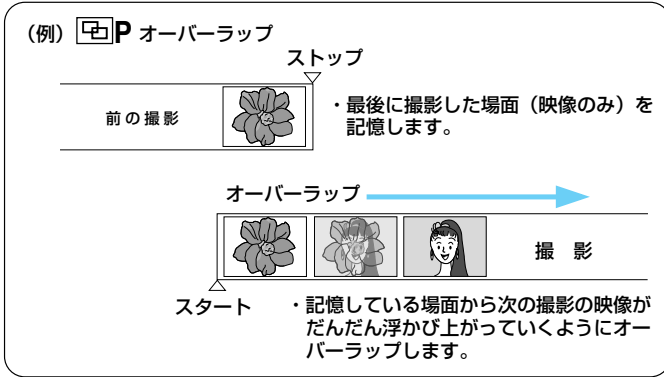
撮影済みのビデオの中から最大8つまでの場面を指定して、お好きな順番に並べ替えてダビングすることができます。普通に自動編集すると、ビデオは次のようにダビングされます。

場面切替や演出効果を入れて自動編集したときは

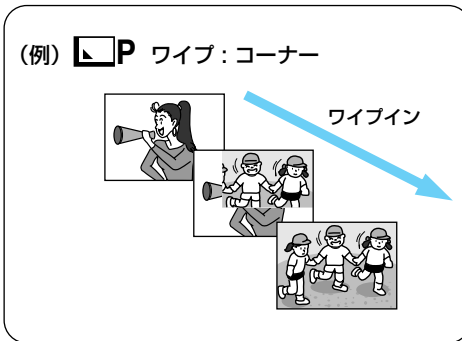
自動編集するビデオの最初と終わりに場面切替を入れたり、映像そのものに演出効果を付けてダビングすることができます。場面切替や演出効果を入れて自動編集すると、ビデオは次のようにダビングされます。

6 編集 自動編集

ビデオを自動で編集する（自動編集）

自動編集のみで使える場面切替

1）オーバーラップ

これから撮影する映像が、直前に撮影した映像から徐々に浮かび上がります。

2）Pの付いているワイプ効果

直前に撮影した映像に、これから撮影する映像をワイプインでつなぎます。

アイコン	機能名称	効　果
P	**オーバーラップ**	これから撮影する映像が、直前に撮影した映像から徐々に浮かび上がります。
P	**ワイプ：コーナー**	これから撮影する映像が、直前に撮影した映像の右上から左下に向かって徐々にワイプインします。
P	**ワイプ：ウィンドウ**	これから撮影する映像が、直前に撮影した映像の中央から外に向かって徐々にワイプインします。
P	**ワイプ：スライド**	これから撮影する映像が、直前に撮影した映像の右から左に向かって徐々にワイプインします。
P	**ワイプ：ドア**	これから撮影する映像が、直前に撮影した映像の中央から左右にドアを開けるように徐々にワイプインします。
P	**ワイプ：スクロール**	これから撮影する映像が、直前に撮影した映像の下から上に徐々にワイプインします。
P	**ワイプ：シャッター**	これから撮影する映像が、直前に撮影した映像の中央から上下に徐々にワイプインします。

● 自動編集する最初の場面と最後の場面では
上記の場面切替は使用できません。

より正確に自動編集する（シンクロ補正）

●録画タイミングの誤差を補正したいとき

ビデオデッキには録画タイミングの早いものと遅いものがあります。自動編集（☞148ページ）でビデオカメラとビデオデッキを同時にスタートさせてもそれぞれ動き出すタイミングが異なるため、余計な場面をダビングしてしまったり、必要な場面をダビングできなかったりすることがあります。そんなときはビデオカメラ側でビデオデッキの録画タイミングの誤差を補正してから再度自動編集を行ってください。

録画タイミングのズレを確認する

任意の場面を自動編集してみて、ビデオカメラのビデオ再生開始タイミングとビデオデッキの録画開始タイミングのズレを確認します。

1 適当な場面を1場面だけ自動編集する

● 録画タイミングのズレを確認するだけなので、自動編集の指定は1場面だけでかまいません。自動編集する場面は、録画タイミングのズレがわかりやすいように場面が切り替わっている場面を指定してください。

2 ダビングしたテープを巻き戻し、再生する

● 指定した編集開始場面よりも前の場面が録画されているときは、ビデオカメラのビデオ再生開始場面よりも先にビデオデッキが録画を開始しています。
● 指定した編集開始場面よりも後の場面から録画されているときは、ビデオカメラのビデオ再生開始時点よりも後にビデオデッキが録画を開始しています。

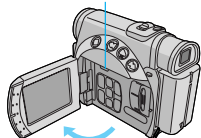
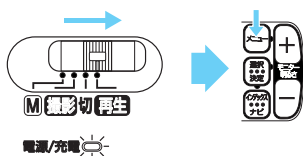
このようなときは録画タイミングのズレを補正する必要があります。

● **自動編集を行う前に**
数回自動編集のテストを行って補正値が適切であることを確認してから、最終的な自動編集を行ってください。

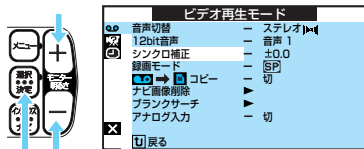
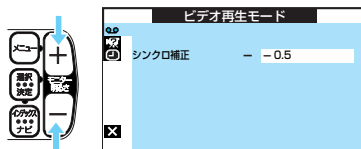
● **補正しても録画タイミングが合わないときは**
ビデオデッキによっては、録画タイミングのズレを補正しきれないことがあります。ご了承ください。

録画タイミングのズレを補正する

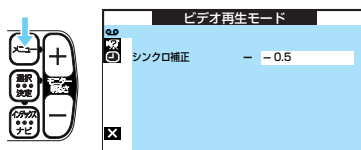
「録画タイミングのズレを確認する」（☞156ページ）でビデオカメラのビデオ再生開始タイミングとビデオデッキの録画開始タイミングのズレがあったときは、録画タイミングのズレを補正します。

1 ビデオ/メモリースイッチを「ビデオ」に合わせる

2 電源スイッチ「再生」で、「メニュー」ボタンを押す

3 「＋」・「－」ボタンで「📼」を選び、「決定」ボタンを押す

● ビデオ再生モードメニューが表示されます。

4 「＋」・「－」ボタンで「シンクロ補正」を選び、「決定」ボタンを押す

5 「＋」・「－」ボタンで「シンクロ補正」の数値を設定する

－1.3～＋1.3秒まで、0.1秒単位で補正値を設定することができます。

- ビデオカメラのビデオ再生開始場面よりも先にビデオデッキが録画を開始しているときは、マイナス（－）の値を設定します。
- ビデオカメラのビデオ再生開始場面よりも後にビデオデッキが録画を開始しているときは、プラス（＋）の値を設定します。

6 「決定」ボタンを押す

7 「決定」ボタンを2回押す

● メニューを終了し、通常の画面に戻ります。

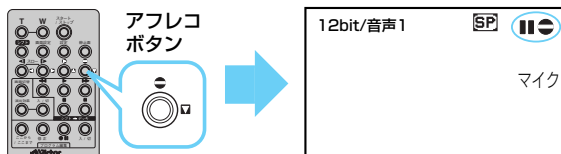
音声を加える（アフレコ編集）

●撮影したテープにナレーションを入れたいときなど

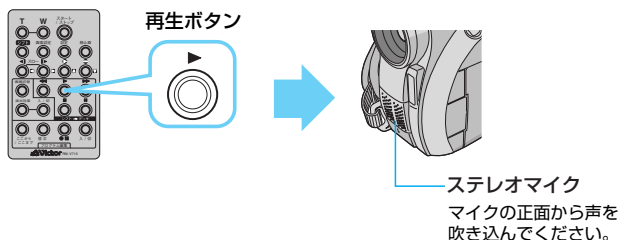
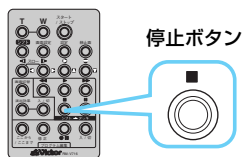
録画モードSPで、音声モードを12bitで撮影しておくと、後でオリジナルテープにナレーションなどを追加することができます。アフレコ編集は、付属のリモコン（☞56ページ）を使用して行います。

1 テープを再生し、アフレコ編集したい場面でビデオカメラを一時停止する

2 リモコンのアフレコボタンを押しながら一時停止ボタンを押す

● 画面にアフレコ編集アイコンが表示されます。

● **アフレコ編集で吹き込んだ音声は**
撮影時の音声とは別に、アフレコ編集した声がステレオ音声で記録されます。

3 再生ボタンを押し、ビデオカメラのマイクに向かってナレーションなどを吹き込む

● アフレコ編集が始まり、吹き込んだ声が記録されます。

4 停止ボタンを押して、アフレコ編集を終了する

● アフレコ編集した音声を聞きたいときは（☞84ページ）

● 別の場面からアフレコ編集を再開したいときは

リモコンの「一時停止ボタン」を押します。ビデオが静止画になります。リモコンの停止ボタンを押してアフレコ編集を終了し、アフレコ編集を再開したい場面を表示させてから再び編集を行ってください。

● テレビから「ピー」、「ウワーン」というノイズ音が出るときは

テレビからビデオカメラを離すか、テレビの音量を下げてください。

● 外部機器を使ってアフレコ編集したいときは

外部機器をS／AV端子に接続して、ビデオ再生モードメニューの「アナログ入力」を「A／V入力」または「S入力」にしてください。（☞194ページ）「マイク」表示が「AUX」に変わります。

● 画面に「音声アフレコできません」と表示されたときは（☞54ページ）

LPモードで撮影したテープ、16bitで音声を記録したテープ、誤消去防止用ツマミが「SAVE」側になっているテープ、およびテープの無記録部分ではアフレコ編集できません。

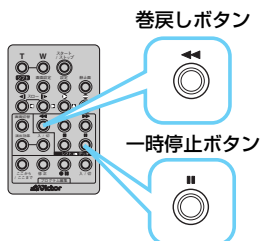
映像を入れかえる（インサート編集）

●撮影したテープにタイトルなどを入れたいとき

録画モードSPで撮影済みのテープに、後でタイトルなど別の場面を挿入することができます。タイトルを書いた紙などを用意してからインサート編集を行ってください。インサート編集は付属のリモコン（☞56ページ）を使用して行います。

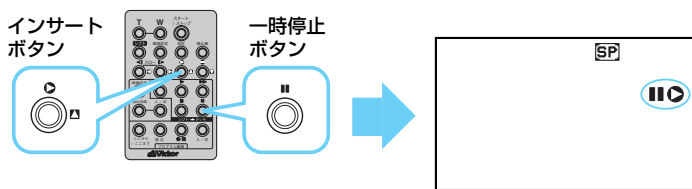
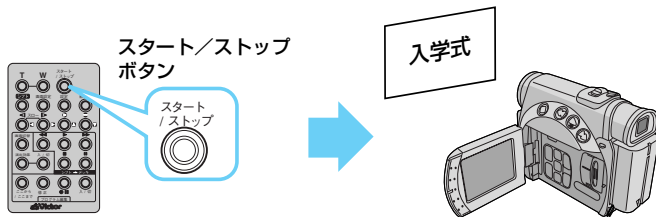
1 テープを再生し、インサート編集を終える場面でビデオカメラを一時停止する

● 終える場面のタイムコードを確認してください。タイムコード表示が出ていないときは（☞88ページ）

2 インサート編集を開始する場面までビデオカメラを巻き戻し、一時停止ボタンを押す

● インサート編集すると、オリジナルの映像は上書きされてなくなります。

● **インサート編集中、映像に変化をつけたいときは**（☞138ページ）

❸ リモコンのインサートボタンを押しながら一時停止ボタンを押す

● 画面にインサート編集アイコンが表示されます。

❹ インサートするタイトルなどをカメラに映るようにしてリモコンの「スタート／ストップ」ボタン（またはビデオカメラの撮影ボタン）を押す

❺ リモコンのスタート/ストップボタンを押して、手順❶で確認したタイムコードの位置でインサートを終了する

❻ リモコンの停止ボタン（■）を押して、インサート編集を終了する

● 画面に「インサート録画できません」と表示されたときは（☞54ページ）

LPモードで撮影したテープ、誤消去防止用ツマミが「SAVE」側になっているテープ、およびテープの無記録部分ではインサート編集できません。

パソコン

ビデオカメラとパソコンをUSBケーブルで接続すると、ビデオカメラにある映像をパソコンにコピーできます。
取り込んだ映像は、メールに添付したり、ホームページに活用して楽しめます。また、リアルタイムに映像を送ってインターネットTV電話を楽しむこともできます。

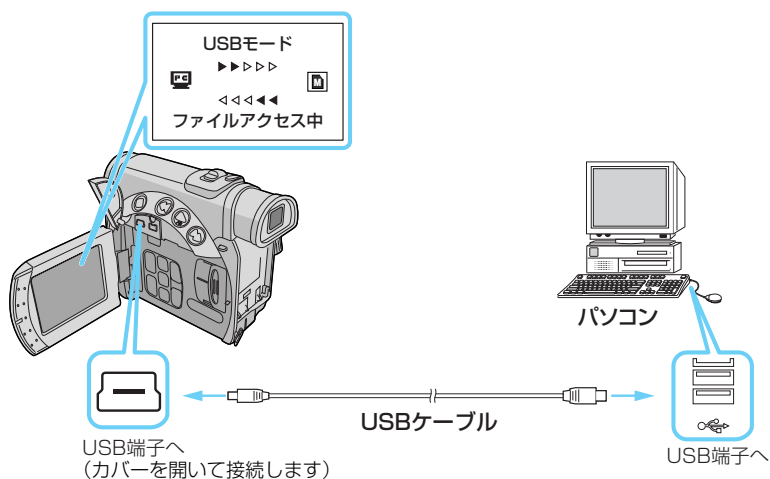
7

パソコンにつなぐ

USBケーブルで接続する

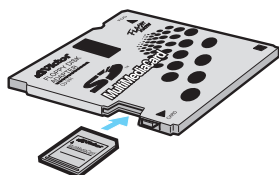
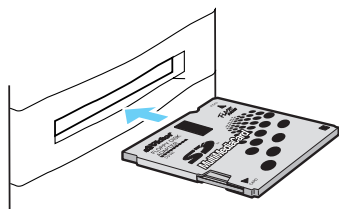
付属のCD-ROMからお使いのパソコンにソフトウェアをインストールすると、USBケーブルを使用して、メモリーカードに記録した静止画を取り込むことができます。また、テープに記録した映像やビデオカメラで映しているリアルタイムの映像を動画として取り込むこともできます。

・パソコンの操作については、パソコン付属の取扱説明書をご覧ください。
・ソフトウェア（CD-ROM）やUSBケーブルの取り扱い、および接続時の本機の操作については、別冊のソフトウェア取扱説明書をご覧ください。

ご注意

● 本機の電源には、ACアダプターをお使いになることをお勧めします。
● 画面に「ファイルアクセス中」と表示されている間はUSBケーブルを抜かないで下さい。
故障の原因になります。
● USBケーブルをUSBハブに接続して正常に動作しないときは、パソコン本体のUSB端子と接続してください。
● USBケーブルの延長ケーブルは使用しないでください。

フロッピーアダプターまたはPCカードアダプターを使う

別売のPCカードアダプター（CU-V51）、フロッピーディスクアダプター（CU-V41）、USBリーダー／ライター（CU-V70）を使うとメモリーカードに記録した静止画をパソコンに取り込むことができます。（3種類ともにSDメモリーカード・マルチメディアカードに対応しています）。
ここでは、フロッピーディスクアダプターを使ってパソコンに取り込む方法を説明します。

1 メモリーカードをフロッピーディスクアダプターに差し込む

2 パソコンのフロッピーディスクドライブに差し込む

3 パソコンで、フロッピーディスクからハードディスクへファイルをコピーする

- パソコンの操作については、パソコン付属の取扱説明書をご覧ください。
- PCカードアダプター、フロッピーディスクアダプター、USBリーダー／ライターの取り扱いについては、それぞれの取扱説明書をご覧ください。

メニュー設定

**メニューにはいろいろな設定があります。
ビデオカメラの操作に慣れてきたら、設定内容を変更してビデオカメラを使いこなしましょう。**

8

ページ

フルオートメニューについて

電源スイッチでⓂを選択しているときに「メニュー」ボタンを押して、ビデオカメラの撮影設定を変更する方法を説明します。
設定内容は、電源スイッチが「撮影」および「Ⓜ」の両方で働きます。

項　目	設定内容	機　能	参照ページ
録画モード テープの撮影時間が1.5倍になる	SP	アフレコ編集とインサート編集を可能にする	158 160 64
	LP	撮影時間をSPモードの1.5倍にする	
音声モード アフレコ可能なモードで録音する	12bit	アフレコ編集を可能にする	158
	16bit	高音質で録音する	
ズーム ズーム倍率の上限を設定する	10倍	光学ズーム(画質が劣化しない)	73
	40倍	デジタルズーム	
	200倍	デジタルズーム	
記念写真モード 静止画の演出方法を設定する	フル	全面に静止画を表示する	74
	ネガ	ネガフィルムのような効果をつける	
	ピンナップ	白フチと影をつける	
	フレーム	白フチをつける	
感度アップ 撮影の感度を設定する	切	自然のままの明るさにする	−
	AGC	電気的に感度を上げる	
	オート　A	シャッタースピードの調整で感度を上げる	
ナビ 頭出しデータを記録する	マニュアル	「ナビ書込み」ボタンを押したときに記録する	90 93
	5秒、15秒、30秒、60秒	設定した秒数がたつと自動的に記録する	

●お買い上げ時の設定は、　　　で表示してあります。

補足説明

録画モード

- 本機の「LP」モードで撮影したテープは本機で再生することをおすすめします。他のデジタルビデオではうまく再生できない場合があります。
- ビデオ再生モード設定メニューにある「録画モード」でも「SP」、「LP」の設定を切り替えることができます。

音声モード

- アフレコ編集をするには、あらかじめ「12bit」に設定して撮影してください。一方、「16bit」に設定すると、より高音質で録音できます。
- どちらのモードでも、ステレオで録音されます。

ズーム

- 10倍まではレンズの機能で映像をズームしますが、10倍以上は映像をデジタル処理してズームするため、映像品質が少し劣化します。

感度アップ

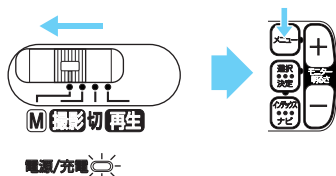
- 「AGC」で撮影した画面は、デジタル映像を処理して実際よりも明るい映像を記録します。ただし、映像がザラザラした感じになります。
- 「オート」で撮影した画面は、自動的にシャッタースピードを調整して、実際よりも明るい映像を記録します。ただし、被写体の動きは多少不自然になります。

ナビ

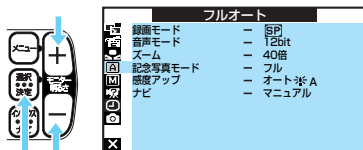
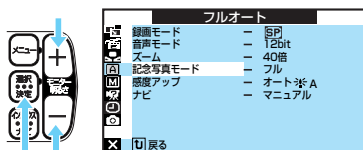
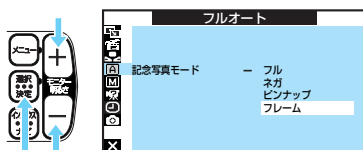
- メモリーカードに記録されるデータは、1件につき約4KBです。

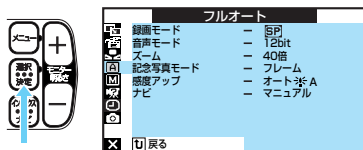
フルオートメニューの設定方法

例）「記念写真モード」を「フレーム」に変更する

1 電源スイッチを「M」に合わせ、「メニュー」ボタンを押す

● メニューが表示されます。

2 「＋」・「－」ボタンで「A」を選び、「決定」ボタンを押す

● フルオートメニューが表示されます。

3 「＋」・「－」ボタンで「記念写真モード」を選び、「決定」ボタンを押す

4 「＋」・「－」ボタンで「フレーム」を選び、「決定」ボタンを押す

5 「決定」ボタンを2回押す

● 撮影画面に戻ります。

マニュアルメニューについて

電源スイッチで「Ⓜ」を選択しているときに「メニュー」ボタンを押して、ビデオカメラの撮影設定を変更する方法を説明します。
設定内容は、電源スイッチが「Ⓜ」のときのみ働きます。

項　目	設定内容	機　能	参照ページ
手ぶれ補正 手ぶれ補正を設定する	切	—	171
	入	手ぶれによる映像のブレを低減する	
セルフタイマー セルフタイマーを設定する	切	セルフタイマーを動作させない	134
	入	15秒後に撮影する	
5S 5秒撮影のモードを設定する	切	—	171
	5S	5秒間だけ撮影する （スナップショットムービー）	
	アニメ	1/8秒間だけ撮影する （アニメーション制作）	
テレマクロ 接写を設定する	切	T側（望遠側）で1mまで接近可能	73
	入	T側（望遠側）で60cmまで接近可能	
ワイド効果 ワイドテレビに合わせた画面にする	切	—	171
	シネマ	映画風に上下に黒い帯が入る	
	ワイド	ワイドテレビと同じ横長の画面になる	
	デジタルワイド	撮影できる範囲が広がる	
ボイスポジション 録音される雑音を軽減する	切	自然な音声を録音する	—
	入	風による雑音を軽減して録音する	
フラッシュモード フラッシュを常に発光させたり、発光させないようにする	切	常に発光しない	128
	オート	暗いときは自動的に発光する	
	オート👁	赤目現象を防ぐ	
	入	常に発光する	
フラッシュ明るさ フラッシュの明るさを設定する	±0	フラッシュの明るさを増減できる	129
	−3〜+3		

●お買い上げ時の設定は、　　　で表示してあります。
●電源スイッチが「撮影」のときは　　　の設定で動作します。

補足説明

手ぶれ補正

- **デジタル処理するため、多少映像品質が劣化します。**
- **「フルオート」モードの手ぶれ補正は**
  「手ぶれ補正」を「切」に設定していても、自動的に「入」になります。
- **三脚などでビデオカメラを固定して撮影するときは**
  「手ぶれ補正」を「切」にしてください。「入」のままだと被写体の動きに合わせて必要のない補正を行い、不自然な映像になることがあります。
- **手ぶれが大きいときやコントラスト（明暗差）のほとんどない被写体を撮るときは**
  補正できないことがあります。
- **映像をデジタル処理する機能と同時に使えないものがあります。**
- **手ぶれ補正が働かないときは**
  「」表示が点滅、または表示が消えます。

5S

- 「5S」では、撮影ボタンを押してから5秒たつと自動的にテープが一時停止します。
  短いカットの連続したビデオを撮影したいときに便利です。
- 「アニメ」では、撮影ボタンを押すと1/8秒分だけ撮影されます。人形や切り絵などを少しずつ動かして1コマアニメーションを制作するときに使用します。

ワイド効果

- **普通のテレビ（画面比率4:3）やファインダー、液晶画面で見るときは**
  ワイド映像は、縦長の映像が映ります。シネマ映像は、上下に黒い帯が入った映像が映ります。
- **ワイドテレビで再生するときは**
  ワイドで撮った映像には、ワイド用の識別信号が記録されています。ビデオカメラのS／AV端子とワイドテレビを、S／AV／編集コードで接続してください。テレビのS2端子に接続すると、ワイド、シネマをテレビが自動判別します。テレビのS1端子に接続すると、ワイドを自動判別します。テレビ側にS2またはS1端子がないときは、S端子に接続してください。自動判別はできません。ワイドテレビで見やすい映像に調節してください。（詳細はお使いのワイドテレビの取扱説明書をご覧ください）。
- **ビデオデッキでダビングしたワイド映像を再生するときは**
  ワイド映像になるようにテレビ側でモードを切り替えてください（詳細はお使いのワイドテレビの取扱説明書をご覧ください）。
- **ワイド映像とシネマ映像を混在させて撮ったときは**
  早送り再生中、巻戻し再生中は、ワイド映像とシネマ映像を判別できません。
- **デジタルワイド**
  デジタルワイドに設定したあと、ズームスイッチを「W」側に動かしてください。
  ワイドコンバージョンレンズを使用しなくても広角側0.7倍のワイド撮影ができます。室内などの狭いところでも、撮影範囲が広がります。またズームが14倍（画面表示0.7～10まで）になり、シャッター速度が1/30秒になります。

設定方法は169ページを参照してください

システムメニューについて

電源スイッチでⓂを選択しているときに「メニュー」ボタンを押して、撮影設定を変更する方法を説明します。設定内容は、電源スイッチが「撮影」および「Ⓜ」の両方で働きます。

項　目	設定内容	機　能	参照ページ
ブザー 操作音を消す	切	操作音を消す	—
	ブザー	一部の操作のみ音を出す	
	メロディー	操作するごとにメロディー音を出す	
タリー 撮影中ランプを消す	切	ランプを消す	—
	入	撮影中にランプが点灯する	
リモコン リモコンの信号を受け付けないようにする	切	リモコン操作を無効にする	56
	入	リモコンで操作する	
デモモード 演出効果などを デモンストレーションで確認する	切	デモンストレーション表示をやめる	31
	入	カセットが入っていないときにデモンストレーションを表示する	
優先設定 ファインダーを優先に設定する	液晶モニター	液晶画面を優先的に表示	72
	ファインダー	ファインダーを優先的に表示	
プリセット メニューの設定をすべて最初に戻す	実行	メニューの設定をすべて最初に戻す	—
	戻る	—	

●お買い上げ時の設定は、　　　で表示してあります。

補足説明

タリー

・「入」のとき、撮影中は撮影中ランプが点灯します。
・「切」のとき、撮影中でも撮影中ランプは点灯しません。

デモモード

・カセットテープを入れずに電源を入れ、「デモモード」を「入」にすると、画面にビデオカメラの機能デモを表示します。（☞31ページ）
・デモモード表示中にズームスイッチを動かすなどの操作をすると、デモモードを一時的に中断します。その後約3分間、なんの操作もしないとデモモードが再開します。

優先設定

・液晶画面が開いていて、ファインダーを引き出したとき、どちらが優先して映像や記号、文字を表示するかを設定します。

設定方法は169ページを参照してください

日時／表示メニューについて

電源スイッチでⓂまたは 再生 を選択しているときに「メニュー」ボタンを押して、ビデオカメラの画面に表示されるメッセージの表示方法や日時を変更する方法を説明します。

項　目	設定内容	機　能	参照ページ
画面表示切替	切	画面、TV、ビデオデッキに表示を出力しない	–
	モニター	TVやビデオデッキに、画面の表示を出力しない	
	モニター/TV	TVやビデオデッキに、画面と常に同じ表示を出力する	
日時表示	切	表示しない	86
	オート	電源を入れたときや再生を始めたときなどに5秒間のみ表示する	
	入	常に表示する	
タイムコード	切	表示しない	88
	入	表示する	
年月日時計合わせ	年月日、時刻	日時を設定する(「Ⓜ」に設定したときのみ設定可能)	174

●お買い上げ時の設定は、　　　で表示してあります。
ただし「画面表示切替」と「日時表示」は撮影日時/表示メニューと再生日時/表示メニューで設定値が異なります。
撮影日時/表示メニュー:「画面表示切替→モニター/TV」、「日時表示→オート」
再生日時/表示メニュー:「画面表示切替→モニター」、「日時表示→切」
●「画面表示切替」、「日時表示」、「タイムコード」は、電源スイッチを「Ⓜ」に合わせたときと「再生」に合わせたときの内容が、別々に設定されます。(撮影日時/表示メニューと再生日時/表示メニューで別々に設定されます。)

補足説明

画面表示切替

- ダビングや編集を行うときに画面の文字などの余分な表示を消すために設定します。
- 日時表示とタイムコード表示については効果がありませんので、これらを消したいときは、「日時表示」、「タイムコード」の設定を変更してください。
- 撮影日時/表示メニューでは「切」の設定がありません

日時表示

- 「日時表示を「入/切」するときに設定します。(☞86ページ)
- 日時表示を表示すると記録した日時がわかるので便利です。

タイムコード

- タイムコード表示を「入/切」するときに設定します。(☞88ページ)

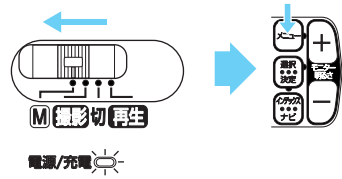
年月日時計合わせ

- ご購入時は、日時が設定されています。海外旅行、時刻がずれたときなどに設定しなおします。(☞174ページ)

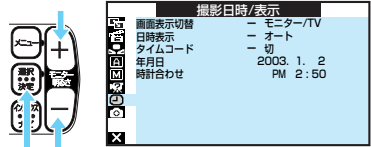
設定方法は169ページを参照してください
「年月日時計合わせ」については174ページをご覧ください

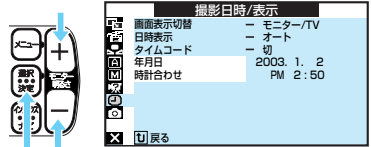
●「日時表示」の設定（入/切）はリモコンの「画面表示」ボタンでも切り替えることができます。

日時の設定方法

❶ 電源スイッチを「M」に合わせ、「メニュー」ボタンを押す

● メニューが表示されます。

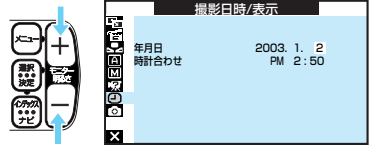
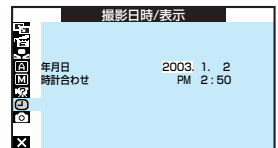
❷「＋」・「－」ボタンで「 」を選び、「決定」ボタンを押す

● 撮影日時／表示メニューが表示されます。
● 電源スイッチが「再生」のときは、「年月日時計合わせ」が表示されません。

❸「＋」・「－」ボタンで「年月日時計合わせ」を選び、「決定」ボタンを押す

● 年が変更できるようになります。

❹「＋」・「－」ボタンで正しい年に合わせる

● 数値を大きくする→「＋」ボタン
● 数値を小さくする→「－」ボタン

❺「決定」ボタンを押す

● 月が変更できます。

❻ 同様に❹～❺を繰り返して月日と時刻を合わせて「決定」ボタンを押す

❼「＋」・「－」ボタンで「戻る」を選び、「決定」ボタンを2回押す

● 通常画面に戻ります。

静止画撮影メニューについて

電源スイッチで「Ⓜ」を選択しているときに「メニュー」ボタンを押して、静止画の撮影設定を変更する方法を説明します。画像サイズを設定するときは、ビデオ／メモリースイッチを「メモリー」に合わせてください。

項　目	設定内容	機　能	参照
画質設定 静止画の画質を設定する	ファイン	高画質で撮影する	66
	スタンダード	標準画質で撮影する	
画像サイズ 静止画の画像サイズを設定する	640×480	数値が大きくなるほど画像サイズが大きくなる	66
	1024×768		
	1280×960		
	1600×1200		
記録選択 静止画の記録方法を設定する	➔📼	静止画（記念写真）撮影時、テープのみに記録する	74
	➔📼／➔Ⓜ	静止画（記念写真）撮影時、テープとメモリーカードの両方に記録する	

●お買い上げ時の設定は、　　　で表示してあります。

補足説明

画質設定

- モードによって撮影可能枚数が異なります。おおよその残り撮影枚数が画面右上に表示されます。（☞101ページ）
- 使用するメモリーカードや撮影した被写体の画像内容などによって、撮影可能枚数は変化します。
- ファインモードでは、画像の圧縮率が低いため、高画質になります。スタンダードよりもデータサイズが大きくなります。

画像サイズ

- 1600×1200ドットでは、1280×960ドットで撮影した画像をデータ変換して保存しています。

記録選択

- ビデオ／メモリースイッチが「ビデオ」で静止画（記念写真）を撮影するとき、静止画をメモリーカードにも記録するかどうかを選択します。ビデオカメラにテープが入っていないときには、メモリーカードにのみ記録されます。また、「➔📼／➔Ⓜ」を選択すると連写はできません。（☞75ページ）

設定方法は169ページを参照してください

他

9

安全上のご注意

⚠警告

■ **持ち運ぶときには、液晶画面やファインダーを持たない**
・液晶画面、またはファインダーを持って運ぶと、故障したり落として、 けがの原因となります。

■ **不安定な場所に置かない**
・落ちたり、倒れたりして、故障やけがの原因となります。

■ **指定の電源電圧以外で使用しない**
・火災や感電の原因となります。

■ **ACアダプターのコードを傷つけない**
・火災や感電の原因となります。
・次のようなことをすると、傷つく原因となります。ご注意ください。
加工する、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重いものをのせる、
熱器具に近づける。

■ **内部に物を入れない**
・カセットの出し入れ口などから、金属類や燃えやすいものなどを入れないでください。
・火災や感電の原因となります。
・特にお子様にご注意ください。

■ **内部の部品に触らない**
・カセットの出し入れ口から見える部品に触らないでください。
・感電や故障の原因となります。

■ **機器を接続するときは、電源を切る**
・電源を入れたまま接続すると、感電や故障の原因となります。

■ **分解や改造はしない**
・火災や感電の原因となります。
・お客様ご自身による点検、整備、修理は危険です。絶対おやめください。
・内部の点検・整備・修理は販売店に依頼してください。

■ **自動車などの運転中に使用しない**
・運転をしながら、撮影、再生をすることは絶対におやめください。
・交通事故の原因になります。

■ **レンズやファインダーを太陽や強い光源に向けない**
・レンズやファインダーを太陽に向けたまま放置しておくと、集光により内部部品が破損して発熱し、火災や故障の原因となります。

■ **ぬらさない**
・火災や感電の原因となります。
・風呂場では使用しないでください。
・雨天、降雪中、海岸、水辺で使用するときは、ご注意ください。
・水などの入った容器（花びん、植木鉢、コップ、化粧水、薬品など）は、こぼれたりしますので、機器の近くに置かないでください。

安全上のご注意

⚠警告

■ 雷が鳴り出したら、電源プラグにはふれない

・感電の原因となります。

■ 電源プラグが不完全な接続状態で使用しない

・接触不良で発熱し、火災や感電の原因となります。

・最後までしっかりと接続してください。

■ 電源プラグにほこりや金属物を付着させない

・ほこりや金属物を伝わって電気が流れ、ショートや絶縁不良で発熱し、火災や感電の原因となります。

・ほこりや金属物が付着しているときは、電源プラグを抜き、取り除いてください。

■ 上に乗らない

・倒れたり、こわれたりして、けがの原因になります。特に小さなお子様がいるご家庭ではご注意ください

⚠注意

■ ACアダプターのコードの部分を持って抜かない

・コードの部分を持って抜くと、コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。

・ACアダプター本体を持って抜いてください。

■ ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

・感電の原因となることがあります。

■ 次のような場所には置かない

・砂浜などの砂ぼこりのある所

・湿気やほこりの多い所

・調理台や加湿器のそばなど、油煙や湯気の当たる所

・熱器具の近くなど

・真夏の車内など高温になる所

・直射日光の強い所

火災や感電の原因となることがあります。

■ 上に重い物を置かない

・バランスがくずれて倒れたり落下して、けがの原因となることがあります。

■ カセットテープの出し入れ口に手を入れない

・手をはさまれてけがをする原因となります。

・特にお子様にご注意ください

■ 本体に衝撃を与えない

・けがをするおそれがあります。また、本機が故障する原因となります。

注意

■ 指定以外のアクセサリーを使わない

・性能や形状が異なると、火災や故障、感電の原因となることがあります。
・本機に指定されたものか確かめ、アクセサリーの取扱説明書もよくお読みください。

■ 照明用ライトなどを使うときはライト部に顔、素手、髪の毛などを近づけない

・高温のため、やけどや髪の毛が燃える原因となります。

■ 本機やアクセサリーなどを布などでおおった状態で使用しない

・熱がこもって変形したり、火災の原因となることがあります。

■ コード類は正しく配置する

・ACアダプターのコードや接続用コードなどは、足にひっかけると製品の落下や転倒などによりけがの原因となることがあります。
・十分注意して接続、配置してください。

■ 長期間使用しないときはバッテリーをはずす、または電源プラグを抜く

・電源が「切」でも本機に電気が流れていますので、安全のためにお守りください。

■ 別売の三脚を不安定な状態で使用しない

・足などの上に倒れる、けがをする原因となります。また、本機が故障する原因となります。
・足などを引っかけないようにご注意ください。強風にもご注意ください。

■ 移動するときは、電源プラグや接続コード類をはずす

・接続したまま移動すると、コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。
・カセットテープも取り出しておいてください。

■ バッテリーやショルダーストラップは正しく取り付ける

・正しく取り付けられていないと、落下によりけがや故障の原因となることがあります。

■ お手入れするときは、バッテリーをはずす、または電源プラグを抜く

・電源が「切」でも機器に電源が流れていますので感電の原因となることがあります。

■ 5年に一度は内部の点検を販売店に依頼する

・内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないで使用し続けると、火災や感電の原因となることがあります。
・湿気の多くなる梅雨期の前に点検すると、より効果的です。
・費用については、販売店にご相談ください。

■ 強い電波や磁気の発生する所、または雷が近いときは使用しない

・故障の原因となることがあります。
・テレビの上や近くでは使用しないでください。
・ACアダプターを使用しているときは、なるべく本機から遠ざけてご使用ください。

■ 飛行機内で使うときは、航空会社の指示に従う

・本機が出す電磁波などにより、飛行機の計器に影響を与える原因となります。

安全上のご注意

ACアダプター、バッテリーや乾電池について

⚠危険

■ACアダプターを指定の電源電圧以外で使用しない

・火災や感電の原因となります。

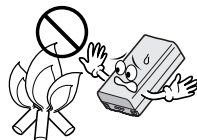
■ACアダプターは指定以外のビデオカメラには使わない

・性能や形状が異なると、火災や故障、感電の原因となることがあります。
・指定されたものか確かめ、取扱説明書もよくお読みください。

■ACアダプターを分解や改造はしない

・火災や感電の原因となります。
・お客様ご自身による点検・整備・修理は危険です。絶対におやめください。
・内部の点検・整備・修理は販売店に依頼してください。

■バッテリーは絶対に分解、加工（はんだ付けなど）、加熱、火中投入などをしない

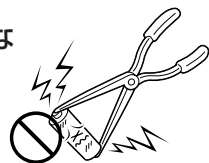
・液漏れ、発熱、破裂、発火し、火災やけがの原因となります。

■高温の場所（60℃以上）に置かない

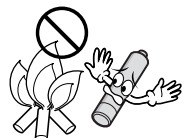
・発熱、破裂、発火の原因となります。

■バッテリーの端子部に金属物（ネックレスやヘアピンなど）を接触させない

・ショートして発熱し、火災やけがの原因となります。
・持ち運びの際にはキャップを取りつけて、金属物と端子が接触しないようにしてください。

■乾電池の端子部(⊕と⊖)に金属物(ネックレスやヘアピンなど)を接触させない

・液漏れ、発熱の原因となります。
・持ち運びの際にはビニール袋などに入れ、金属物と端子が接触しないようにしてください。

■乾電池は絶対に分解、加工（はんだ付けなど）、充電、加熱、火中投入などをしない

・液漏れ、破裂などの原因となります。

ACアダプター、バッテリーや乾電池について

⚠警告

■指定以外の乾電池は使わない、また液漏れを起こしたバッテリーや乾電池を使わない

・液漏れを起こした電池はショートによる発熱で、さわるとやけどをする原因となります。
・電池を入れる前に品番をよく確かめてください。
・電池の液が漏れたときは、電池取り付け部の液をよく拭き取ってから新しい電池を入れてください。
・電池の液が身体や衣服についたときには、水でよく洗い流してください。
万一、目などに液が入った場合はきれいな水で洗った後、ただちに医師に相談してください。

■乾電池は幼児の手の届かない所に置く

・万一、誤って飲み込んだときは、ただちに医師と相談してください。

■濡れたバッテリーは使わない

・故障、感電、発熱、発火の原因となります。

⚠注意

■乾電池を入れるときは、極性表示（⊕と⊖）の向きに注意する

・機器の指示通りに乾電池を入れてください。間違えると電池の破壊、液漏れにより、火災やけがや、周囲を汚す原因になることがあります。

■通電中のACアダプターや充電中のバッテリーに長時間触れない

・温度が上がり、長時間皮膚がふれたままになっていると、低温やけどの原因となることがあります。

使用上のご注意

ビデオカメラについて

■ **本機はDV方式のデジタルビデオカメラです。**

・従来式のビデオ、およびDV方式以外のデジタルビデオとは互換性がありません。
・MPEG2フォーマットで記録されたテープは再生できません。

■ **電源（バッテリーやACアダプター）をはずすときは、必ず電源が「切」になっていることを確認してください。**

・ビデオカメラの動作中に電源を外すと、テープを傷めたり誤動作の原因になります。

■ **長時間使用しないときは電源スイッチを「切」にしてください。**

・長時間電源を入れたままにしておくと、ビデオカメラの表面が温かくなります。
長時間使用しないときは電源を「切」にしてください。

■ **ビデオカメラを保管するときはカセットテープを出し、電源を切り、バッテリーをはずしてください。**

・機能に支障をきたす場合がありますので、ときどき電源を入れて動作を点検してください。

液晶画面について

■ **液晶画面の表面を強く押したり強い衝撃を与えないでください。**

・傷がついたり割れたりして故障の原因となることがあります。

■ **ファインダーや液晶画面に小さな光る点や黒い点が出ることがあります。**

・ファインダーや液晶画面には99.99%以上の有効画素がありますが、
0.01%以下の小さな光る点（赤、青、緑）や黒い点が出ることがあります。
（故障ではありません。）
これらはテープに記録されません。

時計用電池について

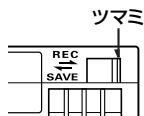
日時を記憶するために充電式の電池が内蔵されています。ビデオカメラに、バッテリーやACアダプターなどの電源を接続すると常に充電されますが、ご購入時や、約3ヵ月間使わずに保管していると電池が放電され、日時が消えてしまうことがあります。このようなときは、ACアダプターなどの電源を24時間以上接続してください。電源の入/切に関係なく電池が充電されますので、日時を合わせてビデオカメラをお使いください（☞174ページ）。日時を合わせなくても、ビデオカメラで撮影することはできます。

カセットテープおよびメモリーカードについて

■ 本機はDV方式のデジタルビデオカメラです。またデジタルスチルカメラとしても使用できます。

Mini DV マークの付いたデジタルビデオカセットテープをご使用ください。
MultiMediaCardマークまたは SD マークの付いたメモリーカード
（マルチメディアカードまたはSDメモリーカード）をご使用ください。

■ 大切な録画を消してしまわないように注意してください。

・保存しておきたい録画済みテープは、カセット背面にあるツマミを「SAVE」の矢印方向に引いてください（ツマミを「REC」の方向に引くと、再び録画できます）。

■ 事前に試し撮りをしてください。

・大切な録画をするときは、事前に試し撮りを行い、正常に録画、録音されていることをご確認ください。

■ 内容の補償についてはご容赦ください。

・万一、ビデオカメラ、カセットおよびメモリーカード等の不具合により正常に録画、録音や再生ができなかった場合の内容の補償についてはご容赦ください。

■ 権利者に無断で使用できません。

・あなたがビデオカメラで録画、録音したビデオは個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

■ 撮影を制限している場所があります。

・鑑賞や興行、展示物などのうちには、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場所がありますのでご注意ください。

■ モザイク状のノイズが出る場合があります。

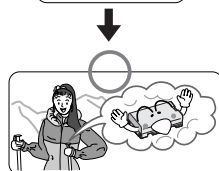
・LPモードで録画されたテープは、他のLPモードのついたデジタルビデオで再生した場合、モザイク状のノイズが出る場合があります。また、LPモードのないデジタルビデオでは正常に再生できません。
・LPモードでは、SPモードに比べ、音切れやノイズが出やすくなります。大切な撮影にはSPモードをご利用ください。

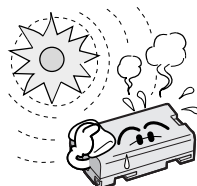
■ カセットテープおよびメモリーカードは湿気が少なく風通しのよい、カビの発生しない場所に保存してください。

■ メモリーカードは精密機器です。曲げたり、落としたり、強い力、衝撃、振動を与えないでください。

バッテリー（充電式電池）をご活用いただくために

■ リチウムイオンバッテリーの特性をご理解ください。

・リチウムイオンバッテリーは小型で高容量のバッテリーです。しかし、冬場の屋外などの低温（10℃以下）でバッテリーが冷えている場合、バッテリーの使用時間が短くなる特性があり、動作しないことがあります。このような時は、バッテリーをポケットに入れるなどして温かくし、撮影前にビデオカメラに取り付けてください。
バッテリー自体が冷えていなければ、ビデオカメラの動作上問題ありません（カイロなどをご使用になっている場合は、直接カイロがバッテリーに触れないようにご注意ください）。

■ リチウムイオンバッテリーの保管にご注意ください

・充電された状態で長期間保管すると特性が劣化することがあります。
・しばらく使わない場合は、使い切った状態で保管してください。
<残りの容量を使い切るには>
　①カセットテープを入れずに電源を入れる
　②ビデオカメラの電源が自動的に切れたらバッテリーを取り出す
・長期間保管する場合は、半年に一回程度充電した後、使い切ってから保管してください。
・使用しないときは必ずバッテリーをビデオカメラから取りはずしてください。
取り付けたままにしておくと、電源が切れていても微量の電流が流れていますので、バッテリー残量が少なくなります。
・涼しい所で保管してください。周囲の温度が15℃～25℃くらいの乾燥した所をおすすめします。暑い所や極端に寒い所は避けてください。
・ご使用にならないときはバッテリーキャップを取り付けて保管してください。

お願い　**リチウムイオンバッテリー（充電式電池）のリサイクルについて**

美しい環境維持にあなたも一役。リサイクルに協力しましょう。ご不要になった電池は廃棄しないで、充電式電池リサイクル協力店へご持参ください。
安全のため、充電式電池にはバッテリーキャップを取り付けるか、金属部にセロハンテープなどの絶縁テープを貼って充電式電池リサイクル協力店へご持参ください。

■ 充電式電池の収集・リサイクルおよびリサイクル協力店に関するお問い合わせ先

・小型二次電池再資源化推進センターホームページ　http://www.jbrc.com/
ホームページがご覧になれない場合は、裏表紙のお客様ご相談センターにお問い合わせください。

日常のお手入れ

本体の汚れを取る

■ バッテリーやACアダプターをはずして電源を切ってから、次のようにお手入れしてください。

・汚れを乾いた柔らかい布などで拭き取ってください。
・ひどい汚れは水で薄めた中性洗剤に布を浸して固く絞ってから汚れを拭き、乾いた布で水分を拭き取ってください。

● **ベンジンやシンナーは使用しないでください**
ボディの損傷や故障の原因になります。
● **化学ぞうきんや洗剤をご使用になるときはご使用になる製品の注意書きに従ってください。**

レンズや液晶画面のゴミ・汚れを取る

■ レンズの汚れを取るには

市販のレンズブロワ―でホコリを落とし、市販のクリーニングクロス、または市販のレンズクリーニングペーパーなどで汚れを落としてください。
汚れたまま放置しておくと、カビなどが発生することがあります。

■ 液晶画面の汚れを取るには

市販のレンズブロワ―でホコリを落とし、市販のクリーニングクロスなどで汚れを落としてください。

海外でお使いになるときは

付属のACアダプターは海外でも使用可能です。バッテリーをビデオカメラに取り付けて充電したりコンセントから直接電源を確保できます。ただし、コンセントの形状は国によって異なります。訪問国のコンセントに合った変換プラグをご用意ください。詳細は旅行代理店、またはビクターサービス窓口にご相談ください。

コンセントの形状と使用する変換プラグ

現地のテレビで再生する

NTSC方式の映像、音声入力端子付きテレビが必要です。NTSC方式を採用している国、および地域は以下の通りです。

- ●アメリカ合衆国
- ●プエルトリコ
- ●バルバドス
- ●キューバ
- ●フィリピン
- ●チリ
- ●コロンビア
- ●台湾
- ●バミューダ
- ●バハマ
- ●カナダ
- ●米領サモア
- ●韓国
- ●コスタリカ
- ●メキシコ
- ●ニカラグア
- ●パナマ
- ●エルサルバドル
- ●ペルー
- ●グアム
- ●グァテマラ
- ●ミクロネシア
- ●スリナム
- ●ハイチ
- ●エクアドル
- ●ベネズエラ
- ●ミャンマー
- ●ボリビア
- ●ホンジュラス
- ●ドミニカ
- ●トリニダード・トバコ

● 再生できるテープは

日本と同じNTSC方式で撮影したミニDVテープが再生できます。

● ビデオカメラが海外で故障したときは

・☞ 188ページ「ビクターサービス窓口案内」の「海外主要都市でのビデオムービーご相談窓口」にご相談ください。日本語での対応ができない窓口もあります。海外では日本の保証書は適用されません。

・その他の地域に関しては、日本にお持ち帰りになった後、お買い上げ販売店にご相談ください。

保証とアフターサービス

保証書（別途添付しています）

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受取っていただき、内容をよくお読みになってから大切に保管してください。
保証期間は、お買い上げ日から1年間です。

補修用性能部品の最低保有期間

当社は、デジタルビデオカメラの補修用性能部品を、製造打ち切り後、最低8年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

ご不明な点や修理に関するご相談は

お買い上げの販売店または最寄りの「ビクターサービス窓口」（☞188ページ）にお問い合わせください。

修理を依頼される場合（持込修理）

34〜40ページに従って調べていただき、なお異常のあるときは、電源を切り、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。
万一、本機およびデジタルビデオカセットなどの不具合により、正常に撮影や再生できなかった場合の内容の補償については、ご容赦ください。

ご連絡していただきたい内容

品　　名	デジタルビデオカメラ
型　　名	GR-D200
お買い上げ日	年　月　日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご　住　所	
お　名　前	
電話番号	（　　）　ー

保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規定に従って販売店にて修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により修理させていただきます。

愛情点検

● 長年ご使用のデジタルビデオカメラの点検をぜひ！

熱、湿気、ホコリなどの影響や、使用の度合により部品が劣化し、故障したり、時には安全性を損なって事故につながることもあります。

このような症状はありませんか	●再生しても映像が出ない。 ●異常な臭いや音がする。 ●水や異物が入った。 ●その他の異常な故障がある。	➡	ご使用を中止	故障や事故防止のため、電源を切り、必ず販売店に点検をご相談ください。

ビクターサービス窓口案内

"HIS MASTER'S VOICE" Victor

ビクターサービス窓口案内

ビクター製品のアフターサービスはお買い上げの販売店へご用命ください

ご贈答品等で保証書記載のお買い上げ販売店にアフターサービスをご依頼になれない場合は、機種名をご確認の上、最寄りの「ご相談窓口」にご相談ください。

●修理についてのご相談窓口

ビクターサービスエンジニアリング株式会社

●略号について　S.C.はサービスセンターの略称です。
S.S.はサービスステーションの略称です。
T.C.はテクニカルセンターの略称です。

都府県名	拠点名	TEL	〒	所在地
北海道				
北海道	札幌S.C.	(011)898-1180	004-0005	札幌市厚別区厚別東5条1丁目2-29
	旭川S.C.	(0166)61-3659	070-8012	旭川市神居二条3-2-15
	北見S.S.	(0157)25-8557	090-0037	北見市山下町4-7-19
	釧路S.S.	(0154)24-0797	085-0005	釧路市松浦町3-3
	帯広S.S.	(0155)24-4493	080-0806	帯広市東六条南12-11
	函館S.S.	(0138)52-5324	040-0001	函館市五稜郭町4-16函館五稜郭MFビル1F
東北				
青森	青森S.C.	(017)723-2261	030-0844	青森市桂木4-6-17
	八戸S.S.	(0178)44-4521	031-0803	八戸市諏訪2-2-36
	弘前S.S.	(0172)28-0165	036-8084	弘前市高田1-13-1
岩手	盛岡S.C.	(019)637-0121	020-0835	盛岡市津志田9地割24-1
	水沢S.S.	(0197)22-2773	023-0815	水沢市天文台通り3-12
秋田	秋田S.C.	(018)824-3189	010-0953	秋田市山王中園町4-1
	大館S.S.	(0186)43-0980	017-0874	大館市美園町5-6
	横手S.S.	(0182)32-8873	013-0064	横手市赤坂字大道向3-6
宮城	仙台S.C.	(022)287-0151	984-0011	仙台市若林区六丁の目西町7-13
	石巻S.S.	(0225)94-7711	986-0853	石巻市門脇字四番谷地8-18
山形	山形S.C.	(023)642-0279	990-2412	山形市松山3-12-18
	酒田S.S.	(0234)26-7145	998-0842	酒田市亀ヶ崎6-6-1
福島	郡山S.C.	(024)952-6331	963-0205	郡山市堤1-3
	いわきS.S.	(0246)27-7991	973-8409	いわき市内郷御台境町鶴巻6-1
	会津若松S.S.	(0242)38-1355	965-0831	会津若松市表町1-44ハイツシンフォニー101号
	福島S.S.	(024)553-9437	960-0103	福島市本内字南原26-1
関東・甲信越				
新潟	新潟S.C.	(025)242-3431	950-0084	新潟市明石1-2-19
	長岡S.S.	(0258)24-8391	940-0012	長岡市下下条2-1366-1
	上越S.S.	(025)545-1734	942-0081	上越市五智1-11
長野	長野S.C.	(026)221-6583	380-0913	長野市川合新田962-1
	松本S.S.	(0263)25-9165	390-0828	松本市庄内2-4-21
群馬	前橋S.C.	(027)255-5921	371-8543	前橋市大渡町1-10-1 日本ビクター㈱ 前橋工場第2棟
栃木	宇都宮S.C.	(028)638-1639	321-0953	宇都宮市東宿郷3-5-22
茨城	水戸S.C.	(029)246-1560	310-8528	水戸市元吉田町1030 日本ビクター㈱ 水戸工場技術棟1F
	土浦S.S.	(029)821-8756	300-0813	土浦市富士崎1丁目10-1
山梨	甲府S.S.	(055)237-4016	400-0864	甲府市湯田2-11-5
千葉				
千葉	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	**(03)5803-2888**	279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	千葉S.C.	(043)246-2588	261-0001	千葉市美浜区幸町2-1-1
	柏S.C.	(04)7175-4322	277-0863	柏市豊四季512-10-67
	浦安S.S.	(047)353-6189	279-0001	浦安市当代島2-13-27
東京				
東京	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	**(03)5803-2888**	279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	本郷S.C.	(03)5684-8254	113-0033	東京都文京区本郷3-14-7ビクター本郷ビル1F
	秋葉原S.S.	(03)3251-2128	101-0021	東京都千代田区外神田1-6-6
	練馬S.C.	(03)3993-7520	176-0014	東京都練馬区豊玉南1-19-1
	大田S.C.	(03)3727-9385	145-0062	東京都大田区北千束2-20-6
	八王子S.C.	(0426)46-6914	192-0045	東京都八王子市大和田町2-9-6
	【業務用機器専門】のご相談窓口			
	CSセンター	(03)3874-5231	110-0003	東京都台東区根岸5-4-3
埼玉				
埼玉	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	**(03)5803-2888**	279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	大宮S.C.	(048)654-5241	331-0814	さいたま市北区東大成町2-658-1
	熊谷S.S.	(048)553-5105	361-0057	行田市城西2-7-39ツインハイツ石山B
神奈川				
神奈川	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	**(03)5803-2888**	279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	横浜S.C.	(045)651-0403	231-0028	横浜市中区翁町1-3-1
	川崎S.C.	(044)975-1879	216-0024	川崎市宮前区南平台3-2（第2石原ビル）
	平塚S.C.	(0463)36-2160	254-0065	平塚市南原2-4-5
	相模原S.C.	(042)776-2052	229-0004	相模原市古淵3-7-4
	横浜T.C.	(046)234-4500	243-0401	海老名市東柏ヶ谷6-19-26
静岡				
静岡	静岡S.C.	(054)282-4141	422-8043	静岡市中田本町62-31 中田ビル1階
	沼津S.S.	(055)922-1557	410-0041	沼津市筒井町6-5
	浜松S.S.	(053)421-3441	435-0041	浜松市北島町785
東海・北陸				
愛知	名古屋S.C.	(0568)25-3235	481-0041	西春日井郡西春町九之坪鴨田121-1
	三河S.C.	(0564)51-5931	444-0833	岡崎市柱曙3-10-12
	豊橋S.S.	(0532)64-0815	440-0028	豊橋市多米東町１丁目1-1
岐阜	岐阜S.S.	(058)274-1947	500-8367	岐阜市宇佐南3-1-28
三重	三重S.S.	(0593)52-0841	510-0076	四日市市堀木2-15-2
	津 S.S.	(059)229-7780	514-0815	津市大字藤方485-18
富山	富山S.C.	(076)425-2397	939-8211	富山市二口町4丁目1-3
石川	金沢S.C.	(076)269-4821	921-8062	金沢市新保本4丁目65-17
福井	福井S.S.	(0776)53-6916	910-0843	福井市西開発3-211

所在地、電話番号が変更になる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

0304

都府県名	拠点名	TEL	〒	所在地
近畿				
滋賀	滋賀S.S.	(077)582-5812	524-0033	守山市浮気町268
京都	【出張修理専門】のご相談窓口			
	大阪S.C.	**(06)6304-5731**	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	京都S.C.	(075)644-0247	612-8401	京都市伏見区深草下川原町31番地の1
京都北部	福知山S.S.	(0773)22-8664	620-0059	福知山市厚東町145-2
奈良	【出張修理専門】のご相談窓口			
	大阪S.C.	**(06)6304-5731**	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	奈良S.C.	(0744)24-6271	634-0007	橿原市葛本町834-2
大阪	【出張修理専門】のご相談窓口			
	大阪S.C.	**(06)6304-5731**	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	大阪S.C.	(06)6304-5731	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
	堺S.C.	(072)254-2881	591-8032	堺市百舌鳥梅町3丁21-2 伊助ハイツ
	【業務用機器専門】のご相談窓口			
	大阪メンテナンスセンター	(06)6304-6715	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
和歌山	和歌山S.S.	(073)472-6799	640-8323	和歌山市太田430-8
	田辺S.S.	(0739)22-9976	646-0031	田辺市湊1581-12
兵庫中東部	【出張修理専門】のご相談窓口			
	大阪S.C.	**(06)6304-5731**	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	神戸S.C.	(078)252-0562	651-0086	神戸市中央区磯上通3-2-16
兵庫西部	姫路S.S.	(0792)34-3833	670-0975	姫路市中地南町11-1

都府県名	拠点名	TEL	〒	所在地
中国				
岡山	岡山S.C.	(086)243-1566	700-0926	岡山市西古松西町8-23
広島	広島S.C.	(082)243-9839	730-0825	広島市中区光南3-9-17
	福山S.S.	(084)931-6984	721-0973	福山市南蔵王町3-5-15
山口	山口S.C.	(083)973-3708	754-0022	吉敷郡小郡町花園町5-28
	徳山S.S.	(0834)27-1331	745-0042	徳山市野上町2-35
	下関S.S.	(0832)51-1040	751-0852	下関市熊野町2-14-23
四国				
香川	高松S.C.	(087)866-1200	761-8057	高松市田村町205-1
徳島	徳島S.C.	(088)622-7387	770-8052	徳島市沖浜2-37
高知	高知S.S.	(088)882-0546	780-8122	高知市高須新町4-143
愛媛	松山S.C.	(089)923-0372	791-8015	松山市中央1-4-12
	宇和島S.S.	(0895)20-1018	798-0087	宇和島市坂下津甲407-40
九州・沖縄				
福岡 佐賀	福岡S.C.	(092)431-1261	812-0011	福岡市博多区博多駅前4-16-1
	久留米S.S.	(0942)39-3495	830-0038	久留米市西町字神浦1-1192
	北九州S.C.	(093)921-3981	802-0064	北九州市小倉北区片野2-15-12
長崎	長崎S.C.	(095)862-5522	852-8021	長崎市城山町9-13
	佐世保S.S.	(0956)33-5568	857-1166	佐世保市木風町1467-2
大分	大分S.C.	(097)543-1422	870-0822	大分市大道町4-1-2
熊本	熊本S.C.	(096)353-4536	861-4101	熊本市近見8-1-10
宮崎	宮崎S.S.	(0985)24-5401	880-0032	宮崎市霧島町3-59
	延岡S.S.	(0982)35-7077	882-0857	延岡市惣領町24-3
鹿児島	鹿児島S.C.	(099)282-8818	890-0034	鹿児島市田上7丁目9-8
沖縄	沖縄S.C.	(098)898-3631	901-2224	沖縄県宜野湾市真志喜1-13-16
山陰				
山陰ビクター販売（株）				
島根	松江S.C.	(0852)31-8900	690-0825	松江市学園1丁目16-39
鳥取	鳥取S.S.	(0857)23-2151	680-0911	鳥取市千代水1丁目22-1

●海外主要都市でのビデオムービーご相談窓口

カナダ　JVC CANADA INC.
- ・トロント〔416-293-1311〕
  21 Finchdene Square, Scarborough, Ontario, M1X 1A7

アメリカ　JVC SERVICE & ENGINEERING COMPANY OF AMERICA
- ・ロサンゼルス〔714-229-8011〕
  5665 Corporate Avenue Cypress, CA 90630-0024
- ・ニュージャージー〔973-396-1000〕
  10 New Maple Avenue, Pine Brook, NJ 07058-9641
- ・ホノルル〔808-833-5828〕
  2969 Mapunapuna Place, SUITE 105, Honolulu, HI 96819-2040

イギリス　JVC（U.K.）LIMITED
- ・ロンドン〔020-8450-3282〕
  JVC House, JVC BUSINESS PARK, PRIESTLEY WAY, LONDON, NW2 7BA

フランス　JVC FRANCE S.A.
- ・パリ〔0825-800-811〕
  BP50, 78422 Carrieres Sur Seine Cedex

シンガポール　JVC ASIA PTE. LTD.
- ・シンガポール〔6255-8155〕
  31Kaki Bukit Roard 3, #06-18 Techlink, Singapore 417818

（注）・その他の地域に関しては、おでかけの前にお客様ご相談センターにご相談ください。・海外では日本の保証書は適用されません。
・日本語での対応はできないサービスセンターもございます。

主な仕様

[ビデオカメラ]

一般仕様

項　　目	仕　　様
電源	DC11.0 V（ACアダプター使用時）、DC 7.2 V（バッテリー使用時）
消費電力	4.0 W（ファインダー使用時）、4.9 W（液晶画面使用時）
外形寸法	62 mm × 94 mm × 122 mm（幅×高さ×奥行き）
質量	本体質量　約470 g 撮影時質量　約620 g （バッテリーBN-V416-H、カセットM-DV60ME含む）
許容動作温度	0 °C ～ 40 °C
許容相対湿度	35 % ～ 80 %
許容保存温度	–20 °C ～ 50 °C

カメラ部仕様

項　　目	仕　　様
撮像素子	1/4型 133万画素CCD　（撮像エリア　ビデオ撮影時：　69万画素 静止画撮影時：125万画素）
レンズ	F1.8～2.4、f=3.8 mm ～ 38 mm （35 mmカメラ換算　ビデオ撮影時：49.0 mm～490 mm 静止画撮影時：36.7 mm～367 mm）
フィルター径	27 mm（ネジピッチ 0.5 mm）
ズーム倍率	光学10倍、最大200倍（デジタル使用）
最低照度	10 ルクス（ナイトアイ使用時：約1 ルクス）

デジタルビデオカメラ部仕様

項　　目	仕　　様
録画／再生方式	DV方式（SD仕様） 映像：デジタルコンポーネント記録 音声：PCMデジタル記録、32 kHz 4チャンネル（12bit）、 48 kHz 2チャンネル（16bit）、44.1kHz（再生のみ）
信号方式	NTSC日米標準信号方式
使用カセット	ミニDVカセット
録画／再生時間	SPモード：80分、LPモード：120分（DVM80テープ使用時）
早送り／巻き戻し時間	約3分（DVM60テープ使用時）

デジタルカメラ部仕様

項　　目	仕　　様
記憶メディア	マルチメディアカード／SDメモリーカード
圧縮方式	静止画：JPEG準拠、動画：MPEG4準拠
画像サイズ	640 × 480ドット／1024 × 768ドット／1280 × 960ドット／1600 ×1200ドット
画質	2モード（ファイン/スタンダード）
静止画撮影可能枚数	☞101ページ
動画撮影可能時間	☞106ページ

液晶画面／ファインダー部仕様

項　　目	仕　　様
液晶画面	2.5型、11.2万画素　カラー液晶
ファインダー	0.24型、11.3万画素　カラー液晶

主な仕様

端子部仕様

項　目	仕　様
DV端子	4ピン（i.LINK／IEEE1394準拠）
S／AV／編集端子	S映像入力／出力 アナログ入力（Y:0.8 V (p-p)－1.2 V (p-p)、75 Ω C:0.2 V (p-p)－0.4 V (p-p)、75 Ω） アナログ出力（Y:1.0 V (p-p)、75 Ω　C:0.29 V (p-p)、75 Ω） 映像入力／出力 映像：アナログ入力（0.8 V (p-p)－1.2 V (p-p)、75 Ω） アナログ出力（1.0 V (p-p)、75 Ω） 音声入力／出力 音声：ステレオ／アナログ入力（300 mVrms、50 kΩ） ステレオ／アナログ出力（300 mVrms、1 kΩ） 編集Φ3.5mmミニジャック
USB端子	ミニUSB-Bタイプ

[ACアダプター（AP-V11またはAP-V13)]

項　目	仕　様
定格入力	AC 100 V ～ 240 V、50 Hz/60 Hz
入力容量	AP-V11：26 VA（100 V)、36 VA（240 V) AP-V13：23 VA（100 V)、31 VA（240 V)
定格出力	DC 11 V 、1 A
許容動作温度	0℃～40℃（充電時は10℃～35℃）

[バッテリー（BN-V416-H)]

項　目	仕　様
外形寸法	38 mm × 40 mm × 55 mm　（幅×高さ×奥行き）
質量	約120 g

●仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますのでご了承ください。

● 本機は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。本機は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。この取扱説明書に従って正しく取り扱いをしてください。

メニュー一覧

撮影時

電源スイッチを「M」に設定し、「メニュー」ボタンを押すと表示されます。

■は初期値

アイコン	メニュー
	場面切替 フェーダー：白 フェーダー：黒 フェーダー：白黒 ワイプ：コーナー ワイプ：ウィンドウ ワイプ：スライド ワイプ：ドア ワイプ：スクロール ワイプ：シャッター **切**
	プログラムAE 1/60　シャッター1/60 1/100 シャッター1/100 スポーツ スノー スポットライト 夜景 セピア B/W 白黒 映画効果 ストロボ ミラー **切**
	白バランス **オート** ワンタッチ はれ くもり ハロゲン

アイコン	メニュー	サブメニュー
A	**フルオート**	
	録画モード	**SP**　LP
	音声モード	**12bit**　16bit
	ズーム	10倍　**40倍**　200倍
	記念写真モード	**フル**　ネガ　ピンナップ　フレーム
	感度アップ	切　AGC　**オート**
	ナビ	**マニュアル**　5秒　15秒　30秒　60秒
M	**マニュアル**	
	手ぶれ補正	切　**入**
	セルフタイマー	**切**　入
	5S	**切**　5S　アニメ
	テレマクロ	**切**　入
	ワイド効果	**切**　シネマ　ワイド　デジタルワイド
	ボイスポジション	**切**　入
	フラッシュモード	切　**オート**　オート 👁　入
	フラッシュ明るさ	**±0**　(−3〜+3)
	システム	
	ブザー	切　ブザー　**メロディー**
	タリー	切　**入**
	リモコン	切　**入**
	デモモード	切　**入**
	優先設定	**液晶モニター**　ファインダー
	プリセット	実行　**戻る**

メニュー一覧

■は初期値

アイコン	メニュー	サブメニュー
	撮影日時／表示	
	画面表示切替	モニター　**モニター/TV**
	日時表示	切　**オート**　入
	タイムコード	**切**　入
	年月日時計合わせ	現在の年月日、時刻を設定する
	静止画撮影	
	画質設定	**ファイン**　スタンダード
	画像サイズ	640×480　1024×768　**1280×960**　1600×1200
	記録選択	**➡**　➡ / ➡ M

再生時

電源スイッチを「再生」に設定し、「メニュー」ボタンを押すと表示されます。

■は初期値

アイコン	メニュー	サブメニュー
	ビデオ再生モード	
	音声切替	**ステレオ**　音声L　音声R
	12bit音声	ミックス　**音声1**　音声2
	シンクロ補正	**±0**（−1.3～+1.3）
	録画モード	**SP**　LP
	➡ M コピー	**切**　入
	ナビ画像削除	画像選択　テープ選択　すべて　**戻る**
	ブランクサーチ	実行　**戻る**
	アナログ入力	**切**　A/V入力　S入力
	システム	
	ブザー	切　ブザー　**メロディー**
	タリー	切　**入**
	リモコン	切　**入**
	デモモード	切　**入**
	優先設定	**液晶モニター**　ファインダー
	プリセット	実行　**戻る**
	再生日時／表示	
	画面表示切替	切　**モニター**　モニター/TV
	日時表示	**切**　オート　入
	タイムコード	**切**　入

索引

索引

わ

アルファベット

製品についてのご相談や修理のご依頼は

お買い上げの販売店にご相談ください。

転居されたり、贈答品などでお困りの場合は、下記のご相談窓口にご相談ください。

修理などのアフターサービスに関するご相談 **ビクターサービスエンジニアリング**	本製品についての技術的なお問い合わせは **DVご相談窓口**
188〜189ページをご覧ください。	電話：(045)450-2770

お買い物情報や製品についての全般的なご相談
お客様ご相談センター

フリーダイヤル **0120-2828-17**

携帯電話・PHS・FAXなどからのご利用は

東京 電話：(03) 5684-9311
FAX：(03) 5684-9317
〒113-0033 東京都文京区本郷3-14-7 ビクター本郷ビル

大阪 電話：(06) 6765-4161
FAX：(06) 6765-4891
〒550-0013 大阪市西区新町3-1-31 新町レナウンビル

ビクターホームページ　http://www.jvc-victor.co.jp/

日本ビクター株式会社

AV＆マルチメディアカンパニー

〒221-8528 横浜市神奈川区守屋町3-12

M3D2 DSC　0503-HO-BS-VP